

地区番号:3 地区名:大津(千葉) 千葉山智満寺文書目録

近現代の部

分類: I -1 政治行政 -町村政

No.47									
通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量 DVD 番 号
593	1242	I 1	明治16年8月31日 (1883年)	号外	○志太益津郡長:近藤準平 ●各町村戸長	陸軍教導団生徒召募の件、以下同年12月19日までの通達17件。		綴・状	1
594	912	I 1	明治19年2月17日 (1886年)	治官外出寄留届	○尾張国名古屋区南沢町:吉田光富@ ●名古屋区堀訪町 他13ヶ町戸長	今度、5男の重光が駿河国志太郡千葉山口内に移住したく、その寄留届。		状	1
595	1086	I 1	明治24年 (1891年)	埋葬認許證	○記載なし ●記載なし	18枚の埋葬認許證。 平民農 水口連作甥水口文作 明治24年1月11日 午前10時病死、死因は驚風とある。	18枚	状	1
596	1033	I 1	(昭和)23年 (1948年)	歳出予算書	○記載なし ●記載なし	昭和23・24年度の予算書。万年筆にて数字入れ、大津村予算書か。		状	1
597	822	I 1	記載なし	領収証雛型	○記載なし ●記載なし	領収書の雛型。(関口隆吉県知事宛)		状	1

分類: I -2 政治行政 -戸口

598	730	I 2	明治7年3月 (1874年)	今般族籍の儀等につき	○宗務庁@ ●記載なし	比叡山宗務庁よりの通達。虫損甚大により、詳細不明。		状	1
599	926	I 2	明治9年9月29日 (1876年)	(死亡記録)	○記載なし ●記載なし	明治9年 天然死亡3人、明治10年 天然死亡2人・入水死亡1人、明治11年 天然死亡2人、以上、それぞれの住所・氏名等が記されている。		綴り	1
600	1184	I 2	明治18年5月11日 (1885年)	死亡届	○駿河国志太郡千葉山平民 農:清吉父 ●駿河国志太郡落合村外4ヶ村 戸長:広田保蔵	奥書付 略。	2頁	綴り	1
601	490	I 2	(明治)4月2日	(戸籍調付戻につき)	○11小区扱所@ ●東光寺扣:池沢寛啓	戸籍調につき、やりとり、依頼。		状	1

分類: I -3 政治行政 -国・県・郡政

602	836	I 3	明治元年8月 (1868年)・戊辰	太政官御布告之写	○記載なし ●駿河国天台宗 諸寺院	太政官御布告の写し5条や、三御室御令旨の写し等が記されている。 ・これ迄、朝廷や旧幕府に出していた訴状等、向後太政官代え願出事、等。		綴り	1
603	915	I 3	(明治4年)8月1日 (1871年)・未	(今般御改正官幣)	○静岡郡方御役所 (8月15日 落合村より通達) ●記載なし	太政官布告によって、近代国家の誕生の為、旧来の神社仏閣の禄制を改正する通達。元高5,000石は1,250石、3,000石は750石などの事例が記されている。さらに神仏混淆を禁止する通達もある。(廃仏毀釈)		綴り	1
604	824	I 3	明治18年3月 (1885年)	社寺上地官林委託の義に付通達	○法務所庶務課 ●記載なし	社寺上地官林委託等の事、委細は郡役所等へ問合すべき事。法務所より通達の写し。		状	1

分類: I－3 政治行政－国・県・郡政

通し番号	文書番号	分類	年号	年	月	日	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)		摘 要	備 考	形態	No.48 数量 DVD 番 号	
			西暦()											
605	1068	I 3	明治20年6月30日 (1887年)				(落合村4ヶ村通達文)	○静岡県志太益津郡役所 志太郡落合村外4ヶ村 戸長役場 ●智満寺住職:山村良映		寺、保存方の御達。具体的内容には触れていない。申請者との 往復文書。		状	1	
606	992	I 3	昭和22年 (1947年)				国有境内地譲與又は売払 に関する法令	○日本国大蔵省 ●記載なし		国有境内地の譲与又は、売払いに関する法令条文。	活字印刷	印刷 物	1	

分類: I－6 政治行政－租税

607	1014	I 6	明治10年 (1877年)				千葉山智満寺 明治十年第□ 月 貢租諸入費請取帳	○戸長役場(表紙) ●記載なし		「証 明治15年□半期 1、金15銭1厘 畑地租・山林地租・初納金 右の通り正に受取候也(千葉山戸長役場の印)」と3枚に記されて いる。智満寺からの貢租を戸長役場で領収した帳。村費地租割、 戸数割税、山林入用など記されている。	4頁	横 半 帳	1	
608	692	I 6	明治11年1月 (1878年)				拝借竹生地税上納簿 明治 11年1月 千葉山智満寺	○千葉山智満寺(表書) ●11小区事務所		智満寺より11小区事務所への拝借地料の上納簿。 ・11年2月15 日 一金8銭3厘 拝借歳税 但し10年9月より12月迄分 右正に受 取候也 11小区事務所等。	8頁	横 帳	1	
609	602	I 6	明治15年12月 (1882年)				明治15年12月 大草村分貢 租税記 千葉山智満寺	○大草村戸長役場 ●智満寺執事		千葉山智満寺の大草村分貢租税を大草村役場が請取した証 を、智満寺執事に出している。		横 半 帳	1	
610	783	I 6	明治17年4月 (1884年)				明治17年4月ヨリ 貢租諸入 用請取帳 志太郡千葉山戸 長役場	○千葉山人民惣代 ●志太郡千葉山戸長役場		記 17年7月25日寄 金1円14銭 村費 右正に受取候也 18年2 月13日 千葉山人民惣代等。		横 半 帳	1	
611	1182	I 6	明治19年1月19日 (1886年)				千葉山字堂山官林年季貸 下料	○落合村外4ヶ村戸長役場 ●千葉山納入:千葉昭如		18年下半年分、金12銭5厘、志太益津郡役所へ納入の事。		状	1	
612	1292	I 6	明治25年7月5日 (1892年)				(年季貸下料ノ上納ニ付)	○御料局静岡支庁 ●海老原順海		年季貸下料及払下代の25年度分を宛名の現金取扱方に納入 し、その預り証に上納証を添え、7月25日迄に当庁静岡出張所へ 上納すべし。		状	1	
613	886	I 6	(明治)				記	○記載なし ●(智満寺)		旧寺領土地の拝借料、払下げ等の金銭を記す。		状	2	
614	411	I 6	昭和25年8月31日 (1950年)				再評価は行わない法人の 再評価申告書	○島田税務署法人係㊤ ●管内各法人		天台宗惣持院、北川慈映の名、土地1,468円。以下関係書類の 綴り。		綴 ・ 状	1	

分類: I－7 政治行政－財政

615	1045	I 7	昭和20年7月30日 (1945年)				昭和19年度(旧)志太郡支 部歳入歳出決算	○旧静岡県仏教会志太郡支部長:伊藤哲遠 ●記載なし		昭和19年度志太郡支部歳入歳出決算 歳入 金1,959円93銭、 歳出 金1,756円56銭の決算報告書。ほかに、別途会計報告も付 す。		綴 り	1	
-----	------	--------	-----------------------	--	--	--	--------------------------	------------------------------	--	--	--	--------	---	--

分類: I－8 政治行政－土木・水利

616	320	I 8	明治11年9月17日 (1878年)				新道開拓勸進簿	○千葉山發起人 ●記載なし		智満寺住職千葉昭如㊤、他8名、米・木材・人夫・金銭の寄進を 記す。		豎 帳	1	
-----	-----	--------	-----------------------	--	--	--	---------	------------------	--	--------------------------------------	--	--------	---	--

通し番号	文書番号	分類	年号	年	月	日	標 題	○差出人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	No.15	
			西暦()	干支	●受取人(住所・役名・名前)	数量		DVD 番 号					
617	832	I 8	明治11年	11	月	11日 (1878年)	官林伐採跡苗木植附方願	○千葉山愉惣代:岡村勘兵衛㊤、同:岡村繁蔵 ㊤、同:桜井利平㊤ ●静岡県令:大迫貞清	官林伐採跡に苗木を植え付ける為の願書。千葉山官林の木は、 宇津ノ谷隧道並安倍川橋の修繕として、千数百本の払下げ伐木 とした、その跡地に苗木を植え付けたいので手配をお願い上げる。		状	1	
618	509	I 8	明治25年	12	月	5日 (1892年)	現境内伐木御願	○智満寺住職、同寺惣代:救護孝範、同寺世話人 惣代:寺田伝蔵、他2名 ●志太益津郡長:馬場晴利	境内の立木が風によって倒木の恐れがあるので、御見分の上伐 木をお願いしたいとの願書。		綴 り	1	

619	622	I 10	明治4年2月 (1871年)・辛未	口書一札			○間東谷 勝五郎弟:今吉(爪印)、組合惣代:米造㊤、親類:孫平次㊤ ●千葉山智満寺御役所		玄米1斗2升5合、以下、8品目を盗んだ事は間違いありません、罪に服する上は、どの様な罪科になろうとも、少しも上様を怨む事は決して御座いません、との口書。	包紙入り	状	1	
620	564	I 10	明治8年3月 (1875年)・亥	指出申一札之事			○南向長吉㊤、證人:青山林作㊤ ●智満寺		村内の事につき間違いが起こり、出訴に及ぶべきところ取扱下され、万端お任せする。		状	1	
621	840	I 10	明治19年6月19日 (1886年)	御届			○長尾宇作、智満寺住職:山村良快 ●島田分署		智満寺奥院の後ろや床下より、別紙の品々が見つかったので届出る。	2頁	綴り	1	
622	1015	I 10	昭和18年 (1943年)	智満寺刀剣供出書類			○大津村役場、大政翼賛会大津村支部長、将校軍刀鑑査委員会 ●智満寺:北川慈映		・昭和18年、大政翼賛会志太支部長が供出刀の預り證を、智満寺に与えた際の證書。供出済み代金50円とある。・昭和19年、「日本刀評価通牒」奥銘2尺3寸6分を返却、龍心子幸貞作2尺7寸、50円。・昭和20年10月23日付「保管証」21口の刀剣に付いて警察に届け出たもの。		状	5	

623	608	I 11	昭和18年 (1943年)	軍用飛行機献納金志納割当書			○天台宗第11教区宗務支所長 大僧都:傍島弘宣 ●安楽寺住職:岩井亮真		軍用飛行機を製する為の献納金を、9月10日迄に志納してほしい、一金63円30銭、一金8円等、合計237円30銭也。		状	1	
-----	-----	---------	------------------	---------------	--	--	--	--	---	--	---	---	--

624	1066	II 1	明治17年12月 (1884年)	地券証紛失御届			○志太郡千葉山 岩本管長㊤、同郡同山智満寺住職:山村良快㊤、同郡同山保証人:岡村繁秀㊤、倉橋久右衛門㊤ ●藤枝警察署島田分署		扣・字中谷、畑1畝20歩 持主岩本善七の地券、智満寺へ土地を寄附、地券渡し今回更正に付、10月2日紛失判明。		状	1	
625	1000	II 1	(明治)9月20日	社寺土地調査に付き			○11小区事務所 ●千葉山:岡村勘兵衛		8月下向の調査は、地租改正掛り猪飼正和。		状	1	
626	893	II 1	(明治)	(測量図)			○(智満寺) ●記載なし		地租改正に伴う測量図か。	虫損、破損甚大	絵図	1	
627	1174	II 1	記載なし	記			○戸長:勘兵衛 ●智満寺		地券、諸入用の「記」、申年の分 合計37貫995文、米5升2合4勺4才。他に酉年分がある。		状	2	

通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
628	1191	Ⅱ 2	昭和4年2月 (1929年)	土地官林取調御届書	○寺住職:海老順海、檀家惣代:寺岡伝蔵、岩本藤太郎、岡村平四郎 ●天台座主大僧正:三浦実源	往古から智満寺が維持管理して来た山林は、官有地に属しているところからの調査届書。	目録完成後に年号の違いを発見	状	1	
629	897	Ⅱ 2	明治5年12月 (1872年)・壬申	乍恐以書付奉願上候	○副戸長:岩本藤蔵、戸長:南向長吉 ●静岡県参事:南願廣矛、権参事:長澤常山	先般上地された、田畑・山林・立木共、何卒払下げ願いたい、その代永として相当の貢税を上納したいとの請願書、奥書。	4頁	綴り	1	
630	644	Ⅱ 2	明治7年5月4日 (1874年)	雛型(田畑反別取高簿)	○宗務局㊤ ●智満寺	諸寺院の田畑、山林を別紙雛型に準じて取調べ一宗毎に差出すこと。雛型、寺院名、元寺禄何程、寺院付田畑何程、同山林坪数何程、何県、何郡、何町、何寺、何誰㊤。		状	1	
631	1025	Ⅱ 2	明治8年 (1875年)	上地林置附之請願書 下書	○記載なし ●記載なし	千葉山899番地及び99番地について、往古より智満寺とその村民により維持管理してきたが、廃藩に伴い御朱印地と共に上地となるところから、従来村民により樹木苗木の植付等の労を御理解いただき、据え置き下さる様裁決されたい旨の願書。	下書 3頁	状	1	
632	609	Ⅱ 2	明治9年11月9日 (1876年)	(駿河国 各小区)	○静岡県令:大迫貞清 ●駿河国:各小区	社寺の所有する上地につき、開墾地等の取調べを内務省より指令された。来る12月25日を限りに遅れる事が無いように申出る事、同日以後は一切採用しないので注意する事。但し、處分済みはこの限りではない。		状	1	
633	905	Ⅱ 2	明治9年11月 (1876年)	上地之内自費開墾地無代御下之願	○千葉山智満寺住職:千葉昭如、惣代:岡村勘兵衛 ●記載なし	上地の内、畑2筆は自費開墾地につき、無代にお下げ願いたいとの請願書。		状	1	
634	1037	Ⅱ 2	明治10年6月27日 (1877年)	社寺上地の内下戻方手続きにつき	○静岡県第3課 ●第6・7大区区長	昨9年本県乙第96号により通達の、社寺上地の下戻し方の手続きにつき云々。		状	1	
635	995	Ⅱ 2	明治10年11月 (1877年)	智満寺近辺山地絵測量	○智満寺:千葉昭如 ●記載なし	士族の求めに応じて作成された測量図(士族、瀧氏)。 ・大藪地9反1畝24歩 ・道上茶園6畝歩 ・長尾瀬戸2反15歩 ・北谷6畝16歩 ・西谷4畝歩 ・後澤不詳 ・仲谷3畝16歩。	5頁	絵図	1	
636	1099	Ⅱ 2	明治11年2月6日 (1878年)	智満寺上地字堂山の地につき	○11小区事務所 ●岡村勘兵衛	智満寺願人千葉昭如により出願の反別1反5畝歩、立木数200本、1ヶ年料金25銭に付き、本月8日までに持参の事。		状	1	
637	917	Ⅱ 2	明治11年9月 (1878年)	合寺跡地御払下願	○千葉山智満寺住職:千葉昭如㊤、壇中惣代:岡村勘兵衛 ●記載なし	天台宗楞嚴院の智満寺合寺に伴う跡地5反8畝28歩について、本寺智満寺に払下げされたい旨の願書、外に同書3通。	4頁	綴り	1	
638	933	Ⅱ 2	明治11年11月7日 (1878年)・寅	書面願之趣事	○志太郡千葉山 村民惣代:岡村繁蔵㊤、戸長:石田武雄㊤ ●静岡県令:大迫貞清	千葉山に於ける元字堂山元54番 山 14町歩の内、字西谷99番山林反別3町3反5畝26歩、官有地に改正したいとする字換願書。	4頁	綴り	1	
639	865	Ⅱ 2	明治11年12月3日 (1878年)	上地官林立木御下願	○千葉山小前惣代:寺岡傳蔵㊤、岡村繁蔵㊤、櫻井利平㊤、長尾豊蔵㊤、南向長吉㊤、村用掛:岡村勘兵衛㊤、智満寺住職:千葉昭如㊤、同郡落合村県士族:清水綱義㊤ ●静岡県令:大迫貞清	千葉山上地官林については、もともと智満寺の御朱印の山林にて、智満寺並びに村人に依り自覚を以て維持管理されて来たが、村人離散等により空地等が目立ち、その管理費用の出費も多いため、この土地は無償で払下げいただきたい、との願書。奥書有り。		竖帳	1	

通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
640	950	Ⅱ 2	明治12年1月25日 (1879年)	社寺上地拝借料につき	○静岡県第3課 ●岡村勘蔵	明治11年度願の通り認可、取りまとめの上2月15日迄に上納。後半に、同11年1月より6月迄半年分90銭9厘、来る13日迄に当事務所まで出金されたし。		状	1	
641	1194	Ⅱ 2	明治12年3月31日 (1879年)	年季地券戻に付添願書	○智満寺住職:千葉昭如◎ ●天台宗 大教支院	年季地券戻しにつき地券證書を返済し、山林を智満寺所有地に買い求めたい書。		状	1	
642	1100	Ⅱ 2	明治12年3月 (1879年)	永代売渡證書	○智満寺住職:千葉昭如 ●惣持院住職	智満寺所有の西谷にあう山林3畝16歩を、代金15円で惣持院に売渡した。その際の売渡し証書。	包紙有り	状	1	
643	1200	Ⅱ 2	明治12年3月 (1879年)	地所永代売渡証書	○売渡主:千葉昭如◎、証人:□原八十郎◎、他1名 ●山田亀吉	志太郡千葉山の内、字中谷297番地、ほか2筆の畑等に係る地所永代売渡しの証書。(虫喰い等の損傷の為、反別等読み取り出来ず)	虫喰い	状	1	
644	1084	Ⅱ 2	明治13年1月29日 (1880年)	証	○岡村繁蔵 ●内務省山林局静岡出張所◎	金12銭5厘の上納金領収。		状	1	
645	1009	Ⅱ 2	明治13年9月 (1880年)	岡村勘兵衛方より買求絵図	○千葉山智満寺 第50世住職:昭如 ●記載なし	第15世智満寺住職昭如が、岡村勘兵衛方より代金10円で、永代買求めた山林や、他に6枚の畑や山林の絵図、場所や面積が記されている。		絵 図	7	
646	503	Ⅱ 2	明治13年10月 (1880年)	官有地樹木御拂下並開墾願	○志太郡千葉山 人民惣代:岡村伊作、他2名 ●山林局静岡出張所	「官有地樹木御拂下並開墾願」を提出するも「書面願之趣、聞届難く候事」明治13年10月6日、内務省・山林局(朱筆)の返答。再度見積書を添え請願するも、許可の記述なし。		綴 り	1	
647	536	Ⅱ 2	明治15年12月2日 (1882年)	□□上願書	○駿州志太郡千葉山智満寺住職:千葉昭如◎、檀家惣代:岡部勘兵衛◎、同村小前惣代:岡部繁蔵 ●農商務卿 西郷従道代理 内務卿:山田顕義	虫喰いが甚だしく詳細解らず。	虫喰い甚だし い	綴 り	1	
648	505	Ⅱ 2	明治16年11月 (1883年)	民有御下戻之義ニ付歎願書	○智満寺住職:山村良快、人民惣代:岡村繁蔵、櫻井利平 ●農商務省	農商務省に、山林の下戻しをお願いした歎願書。		綴 り	1	
649	791	Ⅱ 2	明治18年1月 (1885年)・酉	収入物豫約書進達之儀ニ付上申 扣	○智満寺住職:山村良快、寺壇中総代5名 ●静岡県令:関口隆吉	土地の面積と買取の代金、年代等が記されている。(地券の名義が変更されていない帳簿)		綴 り	6	
650	1208	Ⅱ 2	明治19年3月6日 (1886年)	賣渡証書(土地)	○志太郡島田町885番地:渥美鉤一郎 ●智満寺	志太郡大津村尾川字尾山川835番地の2の63、他2筆の山林計9反3畝13歩及び同郡同村大草字大津村1,015番の1、他2筆の原野計3反3畝39歩について、この売渡代金320円を確かに請取る。		綴 り	1	
651	1192	Ⅱ 2	明治19年6月26日 (1886年)	農商務省訓令第8号	○農商務大臣伯爵:西郷従道 ●記載なし	第8号、官報よりの写し、はじめに官林貸渡継年期の事、以下13条まで。		状	1	
652	367	Ⅱ 2	明治19年11月8日 (1886年)	地所売渡之証	○駿河国志太郡千葉山:千葉常昭◎、同国同郡同村 証人:寺岡傳蔵◎、証人:長尾宇作◎ ●志太郡千葉山惣持院住職:山村良快、同寺世話人:櫻井利平、他2名	竹林18歩、畑6畝、3畝等、計反別1反17歩、売渡代金18円50銭にて惣持院へ売渡し、他所より故障等の申出が生じた時は証人が引受け惣持院へ損失はかけないとするもの。		豎 帳	1	

通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
653	718	Ⅱ 2	明治19年11月20日 (1886年)	官林拝借願	○千葉山:寺上次平㊤、他4名㊤、智満寺住職:山村良快㊤、園江盛一郎㊤、松原幾吉㊤ ●静岡大林区署長 林務官:桑名茂三郎	茶などの栽培の為、官林を拝借願いたいとの願書。		縦 帳	1	
654	1103	Ⅱ 2	明治20年4月15日 (1887年)	地所貸渡立木払下につき	○静岡大林区署長 林務官:桑名茂三郎㊤ ●記載なし	願いの地所貸渡し、立木払下げ共に聞き届け難い。		状	1	
655	911	Ⅱ 2	明治20年7月1日 (1887年)	請求書	○御料局静岡支庁 ●記載なし	年季貸下げ料、払下げ代30年分の現金取り扱い方や、納入方法に付き指示している。		状	1	
656	929	Ⅱ 2	明治21年11月30日 (1888年)	寄附地之儀ニ付御認可願	○志太郡千葉山智満寺住職:海老原順海㊤、他檀家惣代3名㊤、同郡東光寺村東光寺住職:池沢寛啓 ●静岡県知事:関口隆吉	前々代の智満寺住職千葉昭如所有の土地、畑6畝6歩、1反7畝14歩、山林1畝13歩、3反6畝9歩を千葉山智満寺へ寄附したいとする認可願書、ほか、本願書に係るもの6通を綴る。	10頁	綴 り	1	
657	343	Ⅱ 2	明治21年12月 (1888年)・子	田畑山林入附帳	○(智満寺世話人) ●記載なし	田畑・山林の所在地・持主・反別・散田米・地価金(21件)が記されている。	虫喰い	縦 帳	1	
658	953	Ⅱ 2	明治24年1月10日 (1891年)・卯	民有御引戻願	○智満寺住職:海老原順海、壇中惣代:岡本伊作、他8名 ●静岡県知事:時住為基	千葉山899番字堂山官有林の土地について、往古より智満寺が維持管理して来たところであるが、廃藩などにより、引き続き民有地として払下げの請願をするが、その願いが届かず改めて民有地としての引き戻しをお願いする。	3頁	綴 り	1	
659	1098	Ⅱ 2	明治24年6月7日 (1891年)	朱印地奉還顛末	○智満寺住職:海老原順海、檀家惣代:桜井利平、他1名 ●記載なし	徳川家の朱印地を奉還する、その為、長谷川惣四郎が出張してこの手続きをした、と記されている。		状	1	
660	815	Ⅱ 2	明治24年8月22日 (1891年)	(智満寺土地民有地引戻願ニ付)	○大津村々長:長谷川惣四郎 ●千葉山智満寺住職:海老原順海	智満寺の土地引戻し願いはこれ迄、本郡役所より照会があり、本月18日付で右願書には古文書の貼付の必要があったので、住職が県に持参。直ちに係りに引き合わせたい旨、置塩郡書記を通じて御願いしたところ、至急参会したいとの通知。		状	1	
661	508	Ⅱ 2	明治24年9月1日 (1891年)	民有御引戻願	○智満寺住職:海老原順海㊤、安楽寺住職:西東亮□㊤、東光寺住職:池澤寛啓㊤、寺惣代8名、法華寺住職:山村良快 ●静岡県知事:時任為基	千葉山字堂山・反別17町2反3畝2歩、字西谷官林・3町3反5畝26歩の山林は我等往古より丹精の地であるので、この度民有として引き戻し願いたいとの請願書。	奥書あり	綴 り	2	
662	460	Ⅱ 2	明治24年12月 (1891年)	地所寄附ニ付登記願	○寄附人:千葉昭如、惣代:2名 ●智満寺住職:海老原順海	山林9反1畝4歩、地価金24円。		綴 ・ 状	1	
663	1075	Ⅱ 2	明治30年7月9日 (1897年)	地所年期貸下料	○御料局静岡支所 静岡出張所長:宮島金仕郎㊤ ●望月慈円、外3人納	1円76銭7厘を領収、地所年期貸下料30年分。		状	1	
664	826	Ⅱ 2	明治30年8月21日 (1897年)	委任状	○静岡県駿河国志太郡大津村大字千葉 智満寺住職:望月慈円㊤ ●江橋厚	志太郡大津村大字千葉99番地字西谷山林・反別3町5畝26歩、同所899番地字堂山山林・反別17町2反3畝2歩の2筆の山林引渡しにつき、江橋厚を代理人と定め農商務省へ出願するための委任状。		綴 り	1	
665	522	Ⅱ 2	明治30年 (1897年)・酉	上地山林引戻願	○静岡県駿河国志太郡大津村大字千葉 智満寺住職:望月慈円、他9名 ●農商務大臣伯爵:大隈重信	山林2筆その反別計2町5反8畝28歩については、往古より智満寺所有にて植林、伐採等維持管理した事は明白にて、明治の改租の際誤って官地に編入されて来たため改めて調査の上、引き戻しを願う。	7頁	綴 り	1	

通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
666	516	Ⅱ 2	明治30年 (1897年)	上地山林引戻願	○駿河国志太郡大津村千葉山住職:望月慈円 ㊟、檀家9名㊟ ●農商務大臣伯爵:大隈重信	千葉山の西谷と堂山の山林は、往古より智満寺の所有であったが明治の改租の際、間違えて官地に入れられてしまったので調査の上、元の智満寺所有に戻して欲しいとの引戻願い。	7頁	状	1	
667	721	Ⅱ 2	明治30年 (1897年)	明治30年月日 上地山林引 戻願	○智満寺住職 ●記載なし	大津村大字千葉99番地字西谷の山林、他1筆の山林、計2町5反8畝28歩について、往古より智満寺の所有であったが明治の改租の際誤って官地に編入された事により、調査の上引戻したい旨の願書。		縦帳	1	
668	398	Ⅱ 2	明治30年 (1897年)	上地山林引戻願証拠書類 写	○智満寺 ●記載なし	はじめに、第1号として安永元壬申11月15日より、天明5年までの「智満寺住職諸払記」、以下、関係資料の写しを載せる。		縦帳	1	
669	669	Ⅱ 2	明治31年10月22日 (1898年)	御料林御下渡願 11号 明治 31年10月22日	○智満寺住職:望月慈円 ●宮内大臣子爵:田中光顕	大津村字千葉字西谷99番御料林・反別3町3反5畝26歩、同堂山899番御料林合計反別20町5反8畝28歩、かつて、地積調査の際、誤って官林へ編入されたが、民有地たるべき証拠書類が発見されたので、本寺へ渡して欲しい、とある。		縦帳	1	
670	713	Ⅱ 2	明治32年12月24日 (1899年)	売渡証書(山林)	○水口甚作㊟ ●志太郡大津村千葉:望月慈円	大津村千葉山字西谷197番地の山林・6畝歩、この売渡し代金49円也としての売渡証書。他7通あり。		綴り	1	
671	541	Ⅱ 2	明治34年3月 (1901年)・丑	御料地御拂之願	○静岡県志太郡大津村 智満寺住職、他檀徒4人 ●記載なし	志太郡大津村千葉字西谷99番地の御料地(風致林)の拂下願書の下書き。	2頁	綴り	1	
672	1058	Ⅱ 2	明治34年4月1日 (1901年)・丑	年期拝借之証	○大津村千葉拝借人:倉槁久右衛門、三好清吉、 岡本豊吉 ●智満寺:世話人	3畝18歩の土地を年3円61銭で借用。明治34年1月より同38年12月迄の5ヶ年、毎年7月20日に支払いの規定で借請ます、もし支払いが遅滞した場合、証人が引き受けて弁済し、世話人に迷惑をかけない。		状	1	
673	1023	Ⅱ 2	明治35年6月10日 (1902年)・寅	未登記ノ土地所有権ニ付 登記申請	○智満寺住職:望月慈円、代理人:星野重道 ●藤枝区裁判所島田出張所	大津村野田の田・27歩が未登記、土地所有の為に登記、土地価格は19円29銭2厘、藤枝区裁判所島田出張所へ提出したもの。	2頁	綴り	1	
674	676	Ⅱ 2	明治35年12月28日 (1902年)	売渡約定証 他	○売主:福島倉吉㊟、他保証人3名 ●智満寺住職:望月慈円	受取証3通、委任状1通、地所買受認可願1通、県知事聞届書1通を綴る。	7頁	綴り	1	
675	948	Ⅱ 2	明治38年1月18日 (1905年)・巳	惣持院前畑見取図	○記載なし ●記載なし	惣持院前の畑の見取図。い号よりわ号迄の13軒の散田面積と耕作者名が図示されている。 い号・南向亀作・11坪、ろ号・増田市五郎・21坪1合等と図示してある、以上13口、1坪に付き金2銭の小作料が記されている。		状	1	
676	1114	Ⅱ 2	明治39年11月19日 (1906年)	贈與証書	○志太郡大津村千葉30番:岩本善七㊟ ●志太郡大津村千葉2番地:智満寺	志太郡大津村千葉字中谷288番・畑1畝20歩 ほか畦畔4歩を智満寺に贈与致します。との贈与証書。 登記済㊟ 藤枝区島田出張所㊟あり。		状	1	
677	542	Ⅱ 2	明治40年3月29日 (1907年)	御料地払下願	○静岡県志太郡大津村大字千葉山字中谷2番地 智満寺住職:望月慈円、同寺檀徒惣代:長尾宇 作、他3名 ●御料局長:渡辺千秋	20町2反3畝13歩の土地は、当寺の土地に付き払下げを受けたく、許可して欲しい。(御料地払下願) 副願書を添えて御料局長に願い出た。結果、許可するとの返答あり。登記を済ませる。		状	1	
678	1008	Ⅱ 2	明治41年3月27日 (1908年)	山林及土地重要書類	○滋賀県滋賀郡坂本村 天台宗宗務本庁 ●智満寺内:北川慈映	山林と畑の絵図に、面積や番地等が記され、西谷・仲谷・間東谷などの地名も見られる。		縦帳	8	

通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
679	1089	Ⅱ 2	明治41年4月30日 (1908年)	売渡証書	○志太郡大津村長:中川弁吉㊤ ●志太郡大津村千葉2番地:智満寺	大津村大草字山王前、田4歩、ほか2筆、代金9円50銭にて売渡す。		状	1	
680	535	Ⅱ 2	明治44年7月31日 (1911年)	契約證	○(甲)村岡八雲㊤、(乙)橋本はな㊤ ●記載なし	(甲)村岡は、代金800円にて、(乙)橋本はなへ土地を売渡すとの契約書證。土地図付き。		綴り	1	
681	11	Ⅱ 2	(明治)	智満寺所有地	○千葉山 智満寺 ●記載なし	智満寺所有の田畑山林一括。3冊分を綴る。		状・綴	1	
682	1136	Ⅱ 2	(明治)	(地籍図)	○智満寺 ●記載なし	和紙に地籍図を記し、1筆から7筆までの各坪数を示す。		状	1	
683	1139	Ⅱ 2	(明治)	(山林地積図)	○記載なし ●記載なし	智満寺山林の地積図か、縦・横の間数などを記す。		状	1	
684	1140	Ⅱ 2	(明治)	(道法図)	○(智満寺) ●記載なし	千葉山智満寺に至る道法図か。区間毎の間数を記す。		状	1	
685	1043	Ⅱ 2	(明治)	(地籍図)	○記載なし ●記載なし	地籍図内に地番など記入。		状	1	
686	974	Ⅱ 2	(明治)	智満寺所有地	○智満寺 ●記載なし	所有地12筆を列記。田地積地価等を記す。		横帳	1	
687	1120	Ⅱ 2	大正5年5月10日 (1916年)	静岡県指令学第1608号 志太郡大津村千葉天台宗智満寺	○静岡県知事:伊藤喜八郎 ●智満寺住職:望月慈円	山林を櫻井伊太郎から買受の委任状と、櫻井伊太郎へ売渡すとの所有権移転の委任状が2枚有り。		綴り	1	
688	1051	Ⅱ 2	大正5年5月14日 (1916年)	土地更正二付登記申請	○志田郡大津村千葉2番地 所有者:望月慈円、同所44番地 右代理人:岡本長太郎㊤ ●静岡区裁判所島田出張所	竹林3畝10歩を土地更正に付き登記申請。		綴り	1	
689	8	Ⅱ 2	大正13年2月23日 (1924年)	売渡之証	○静岡県小笠郡堀之内町堀之内 地所売渡人:菅沼良助㊤、保証人:菅沼奎三郎㊤ ●志太郡大津村千葉天台宗 智満寺住職:望月慈円	原野6町3反1畝27歩、代金21,000円、収入印紙切抜きあり。	虫損あり	状	1	
690	663	Ⅱ 2	大正14年6月5日 (1925年)	土地売買契約書	○志太郡大津村千葉17番 売主:岡本豊吉㊤ ●智満寺住職:望月慈円	山林8反5畝9歩、山林2反5畝16歩、山林8反5畝8歩、以上の代金3,000円也。		状	1	
691	664	Ⅱ 2	大正14年7月20日 (1925年)	土地売渡之證	○倉橋賢一、右賢一未成年者二付 後見人:倉橋もと㊤ ●智満寺	山林8反7畝歩を代金1,043円にて智満寺に売却する。		状	1	
692	1054	Ⅱ 2	大正14年11月16日 (1925年)	売渡證書	○売主:岡本豊吉 志太郡大津村千葉17番地 ●智満寺 志太郡大津村千葉	土地(山林)の売渡し證書。山林2反5畝16歩を代金500円にて売渡す。他、3枚あり。		状	4	

通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
693	1030	Ⅱ 2	大正15年5月14日 (1926年)	賣渡證書	○売主:望月慈円 志太郡大津村千葉2番地寄留 ●智満寺 志太郡大津村千葉2番地:櫻井善吉 智満寺特別代理人	土地の賣渡し證書(畑・山林)、13筆を2,748円80銭にて、望月慈円より智満寺及び特別代理人櫻井善吉に売り渡す。		綴り	1	
694	511	Ⅱ 2	昭和2年7月 (1927年)	昭和2年7月 明細帳追加記入書類	○智満寺 ●天台座主大僧正:不二門智光	延暦寺末寺、智満寺の所有する土地等の物件(追加)申請書。山林16町8反7畝7歩、地価27円84銭、山林3町3反5畝26歩、地価8円66銭、有価証券並びに金穀之部、金300円也、公債証書、同上2,101円85銭(山林売却代金)等々。大正2年から追加記入分を含め昭和6年まで綴る。	48頁	綴り	1	
695	1251	Ⅱ 2	昭和4年12月19日 (1929年)	千葉昭如へ差入候約定証ノ扣	○智満寺住職:海老原順海、檀家惣代:寺良伝藏、他2名 ●千葉昭如	大津村字中谷の山林9反1畝歩、平坦の場所を貴殿存生中、籍地に貸す。		状	1	
696	1348	Ⅱ 2	昭和7年2月29日 (1932年)	雑種財産売払書	○藤枝税務署長:佐川義明㊤ ●智満寺	原野3ヶ所(千葉 北谷)を智満寺に売り渡す書。		状	1	
697	1219	Ⅱ 2	昭和7年3月24日 (1932年)	土地払下代	○日本銀行藤枝代理店㊤ ●志太郡大津村:千葉山智満寺	土地払下代金、6円84銭領収。		状	1	
698	1070	Ⅱ 2	昭和7年7月18日 (1932年)	寄附証書	○橋本邦典、鈴木きん ●千葉山住職:北川慈映	田・畑・宅地、合せて5筆の寄附証書。		綴り	1	
699	1012	Ⅱ 2	昭和13年11月1日 (1938年)	地券證上梓	○静岡県主事郡長:杉山喜平次 ●千葉山 持主:千葉昭如	明治13年10月1日より同19年2月5日迄の地券證、計13枚。		状	1	
700	547	Ⅱ 2	昭和13年12月19日 (1938年)	(千葉字間東谷の地積分筆図)	○記載なし ●記載なし	千葉、字間東谷の土地、所有者の名前などが記されている。	略図	絵図	1	
701	825	Ⅱ 2	昭和14年3月11日 (1939年)	土地分割二付登記申請	○志太郡大津村千葉2番地 申請人:智満寺、同郡大洲村弥左衛門五百大17番地の2 同寺住職:北川慈映、外1名 ●静岡区裁判所島田出張所	志太郡大津村千葉382番地 山林3畝10歩、同383番地 山林5畝3歩、同384番地 山林1畝9歩の土地を、それぞれ3筆ずつに分筆する旨の登記申請書。	3頁	綴り	1	
702	1050	Ⅱ 2	昭和17年1月20日 (1942年)	承諾書	○志太郡大津村千葉:寺上治作㊤ ●記載なし	右土地は、別紙図面の通り惣持院境内地との境界に対し、異議の無い事を承諾する、寺上治作。		状	3	
703	937	Ⅱ 2	記載なし	証	○智満寺 ●記載なし	江戸幕府が寺社に対して朱印状を下附して、その所領を確認した御朱印地、開墾地、逋減の記録文書か。4年間で1円73銭から83銭まで逋減している、手数料を差し引て54円31銭6厘を渡している。		状	1	
704	525	Ⅱ 2	記載なし	(智満寺現境内反別測量図)	○記載なし ●記載なし	朱線で書かれている部分を境内に編入の見込み、甲区・乙区・丙区・戊区とあり、編入は3反5畝15歩、据え置きは16町8反7畝17歩。		絵図	1	
705	337	Ⅱ 2	記載なし	かいまし	○記載なし ●記載なし	田畑土地の買い増し分の記載か、具体的には不明。		横・綴	1	

分類:Ⅱ－2 経済・産業－土地

通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
706	1180	Ⅱ 2	記載なし	(智満寺現境内)	○記載なし ●記載なし	智満寺近隣の絵図面、奥の院境内の山林17町2反余、西谷山林3町3反余と広大な山林を所有している事がわかる絵図面。		絵 図	2	
707	1210	Ⅱ 2	記載なし	記(土地の売却調書)	○智満寺、惣持院 ●記載なし	智満寺、惣持院における土地の売却調べ。		状	1	
708	1011	Ⅱ 2	記載なし	資産調べ	○記載なし ●記載なし	田・畑・山林の地価金と支出が書かれている。		綴 り	1	

No.56

分類:Ⅱ－3 経済・産業－物価・景況

709	422	Ⅱ 3	明治26年2月16日 (1893年)	村中歳暮米持参覚	○(智満寺計課) ●記載なし	歳暮米41名、計5升6合の書上げ。	4頁	横 半 帳	1	
-----	-----	--------	-----------------------	----------	-------------------	-------------------	----	-------------	---	--

分類:Ⅱ－4 経済・産業－経済団体

710	403	Ⅱ 4	昭和20年12月28日 (1945年)	(事業届出ヒナ型)	○記載なし ●記載なし	諸事業の届けに付き示したヒナ型。部分のみ、重複あり。	便宜上分類をⅡ4とする	状	6	
711	1345	Ⅱ 4	昭和25年4月1日 (1950年)	記載心得	○記載なし ●記載なし	・この申告書は5月31日迄に主たる事務所の所在地を所轄する税務署に提出。・又、この申告書を提出しなければならない法人が書かれている。法人は昭和25年4月1日現在のもの。		状	1	
712	679	Ⅱ 4	記載なし	椎木坂松の調	○記載なし ●記載なし	椎の木坂の松の調べ、それぞれの木の幹の太さ等が書かれている、総計164本と記される。松・杉等も調査、大津山内。		横 帳	1	

分類:Ⅱ－5 経済・産業－農林業

713	456	Ⅱ 5	明治2年12月10日 (1869年)・巳	大津方免割帳 明治2年12月10日	○千葉山役所 ●記載なし	尾川村・落合村・野田村・大草村に係る免割帳にて、その計1石8斗2升4合、取米2俵1斗8升5合7勺を皆済。他に、御朱印高43石2斗4合がある。	分類C1に相当	横 帳	1	
714	704	Ⅱ 5	明治3年12月20日 (1870年)・午	当午御年貢御定納帳	○千葉山役所 ●記載なし	散田米、散田麦の皆済を記す。	分類C1に相当 7頁	横 帳	1	
715	777	Ⅱ 5	明治5年12月 (1872年)	當申御年貢御定納取立帳	○千葉山役人 ●小作人	年貢米、米2斗8升3合、米2升(屋敷分)、合せて3斗3合、右皆済などと記されている。	分類C1に相当 10頁	横 帳	1	
716	577	Ⅱ 5	明治6年2月朔日 (1873年)	大草相賀村持田地散田米御年貢米小作人名前帳	○千葉山智満寺執事 ●記載なし	覚として、場所・取高・村名・名前等が列記されている。 例として・大草田地字山王前、6俵成、落合村源七、内2俵御年貢計等。	4頁	横 帳	1	
717	960	Ⅱ 5	明治7年7月 (1874年)・戌	借地之証一通	○山田亀吉、福島友平 ●智満寺世話人	智満寺の開墾試作地9反9畝24歩の内、40歩の借地証、この散田金1円也とある。明治27年7月より同31年6月迄の4ヶ年間借用、散田金が支払われないときは保証人が代償する事などが記されている。	7頁	横 帳	1	

通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
718	918	Ⅱ 5	明治9年12月 (1876年)・子	土地山林之内立木無代御 下ヶ願	○天台宗智満寺住職:千葉昭如㊤、小前惣代:南 向長吉㊤、同:岡村勘兵衛㊤、副戸長:馬形兵助 ㊤、戸長:宗色一郎㊤ ●静岡県令:大迫貞清	智満寺は古くから自費により立木を栽培してきた。今回立木 7,000本を無償で払下げ願いたいとするものであるが、土地に係 る證書を火災により焼失した為、この証とするものは無く、ただ古 くから村民が土地等について熟知している事からも立木の払下 げを願うとする書。	3頁	綴 り	1	
719	234	Ⅱ 5	明治9年12月 (1876年)	上地山林之内立木売代御 下ヶ願	○第6大区11小区志太郡千葉山智満寺 小前惣 代:南向長吉、他3名 ●静岡県令:大迫貞清	千葉山山林12丁歩、立木7,000本の払下げ願いの下書き。他に 明治11・12・15年分の下書きがある。	5頁	綴 り	1	DVD4
720	919	Ⅱ 5	明治10年8月21日 (1877年)	立木御下戻シ之義書付	○第6大区11小区志太郡千葉山智満寺作成:千 葉昭如㊤、保証人:岡村勘兵衛㊤ ●静岡県令:大迫貞清	證書に付き、お尋ねがあったが、村で預っていた證書を紛失した ので、この段申し上げる。		状	1	
721	899	Ⅱ 5	明治10年11月2日 (1877年)	竹立之場所拝借御請書	○志太郡千葉山智満寺 住職:千葉昭如 ●記載なし	智満寺上地官林 字堂山12町歩の内、1反5畝歩を10年間拝借 する。・杉木12本、目通り5寸より1尺5寸廻り迄、枝下1間より2 間迄。これは拝借反別の内にある立木とのこと。	2頁	綴 り	1	
722	872	Ⅱ 5	明治10年 (1877年)	林立之持所拝借御請書	○拝借人:何之誰㊤、正副戸長 ●静岡県令:大迫貞清	林立の所有地拝借願書のヒナ型を示す。	2頁	綴 り	1	
723	900	Ⅱ 5	明治11年1月 (1878年)	現境内伐木願	○智満寺住職:千葉昭如㊤、小前惣代:南向長吉 ㊤、村用掛:岡村勘兵衛㊤ ●静岡県令:大迫貞清	士族へ払下げの伐木が孤立しており、風当たりが強く、本堂に倒 れてこないか心配で捨て置けない為、伐木願いを出す、その木 は本堂修繕に使う。奥書有り。	2頁	綴 り	1	
724	1296	Ⅱ 5	明治11年1月 (1878年)	現境内伐木願書	○智満寺住職:千葉昭如、小前惣代:南向長吉、 村用掛:岡村勘兵衛 ●記載なし	杉木5本の伐木の願書。		綴 り	1	
725	10	Ⅱ 5	明治11年9月21日 (1878年)	官林一件応接記	○(智満寺) ●記載なし	官林払下げに関する現地調査、11年9月21日より10月7日までの 記録。		状	1	
726	818	Ⅱ 5	明治11年12月3日 (1878年)	官林伐採跡苗木植付方願	○千葉山 小前惣代:桜井利平㊤、岡村繁蔵㊤、 他4名㊤、奥書 第67大区々長:瀧川元起㊤ ●記載なし	安部川橋等の修繕木として、伐採された跡地への杉苗植付の許 可願い。他に県より、直には植付せず、植付の節は文書提出の 事との状あり。		状	2	
727	434	Ⅱ 5	明治11年12月3日 (1878年)	現境内伐木願書	○智満寺住職:千葉昭如㊤、檀家惣代:岡村勘兵 衛㊤、小前惣代:南向長吉㊤ ●静岡県令:大迫貞清	計8本の伐木。末尾に静岡県の「聞届」あり。		堅 帳	1	
728	1213	Ⅱ 5	明治12年7月24日 (1879年)	證	○志太益津郡長:杉山喜平次 代理郡書記:瀧川 元起㊤ ●志太郡千葉山 石田武雄	官林竹立拝借料12銭5厘、明治12年1月より6月迄半ヶ年分。		状	1	
729	1280	Ⅱ 5	明治12年7月 (1879年)	委任状	○駿河国志太郡千葉山智満寺 住職:山村良快㊤ ●静岡2番町1ノ小路増井方:浅倉雄成、安居村: 相川元遠	浅倉雄成を代理人とし、私費栽培立木無代下渡願いの件、後半 に官林事件につき、静岡行小遣いを記す。		状	1	
730	819	Ⅱ 5	明治12年7月 (1879年)	官林下草刈取願	○智満寺住職:千葉昭如㊤、奥書 千葉山戸長: 南向長吉㊤ ●内務省権大書記官:櫻井勉	官林反別11町8反5畝の下草刈取料、金71銭1厘の拝借願い (一昨年から5年間)。料金は年々上納としている。	2頁	綴 り	1	

通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
731	843	Ⅱ 5	明治12年7月 (1879年)	官林下草刈取願	○志太郡千葉山 願人智満寺住職:千葉昭如㊤ ●内務省権大書記官:櫻井勉	反別11町8反5畝歩、この下草料金71銭1厘。明治9年より5年間 拝借して、下草刈りを実施したいのでお届けする、とある。		綴り	1	
732	416	Ⅱ 5	明治13年9月16日 (1880年)	官有地山草刈願書	○志太郡千葉山村民惣代:坂田善作㊤、同:岡本 伝作㊤、(上申者)戸長:南向長吉㊤ ●山林局静岡出張所	同年9月22日、内務省山林局静岡出張所より「難聞届」の書が届 く。この他、関連の書を綴る。		堅・綴	1	
733	617	Ⅱ 5	明治13年11月 (1880年)	散田米収納簿	○千葉山智満寺執事 ●記載なし	小作人が智満寺に納入した米の帳簿。	6頁	横帳	1	
734	575	Ⅱ 5	明治14年12月吉日 (1881年)	散田米請取簿	○智満寺納戸 ●記載なし	大草村より玄米にて納入、皆済。玄米1俵賃渡しあり。	6頁	横帳	1	
735	618	Ⅱ 5	明治14年12月 (1881年)	散田米皆納簿	○千葉山智満寺執事 ●記載なし	大津村が智満寺に納めた散田米の皆済名簿。	4頁	横帳	1	
736	751	Ⅱ 5	明治15年12月8日 (1882年)・午	明治15年12月8日 作徳米収 納帳 留守監 西東亮惇	○留守監:西東亮惇 ●大草村:幸次郎	午年の収納米、惣計18石7斗3升8合、この俵46俵歩3斗3升。	破損多し 8頁	横半帳	1	
737	610	Ⅱ 5	明治16年11月 (1883年)	上地官林残木御下ヶ願	○千葉山智満寺 住職:千葉昭如、小前惣代:岡 村勘兵衛 ●記載なし	当寺の立木売却をお願いしたところ確認が得られないとのこと、 今般、宇津ノ谷隧道並び安倍川橋の修繕木として払下げ伐木を 仰せ付けられた。今まで培養し丹精して来た山内の者のことを思 うと心痛、残木であつても下げ願いたい。前件の願いを聞き届け てほしいとの書。		横帳	1	
738	624	Ⅱ 5	明治17年12月25日 (1884年)・甲申	祠堂金利足畑貢租散田取 立帳	○千葉山惣持院 ●記載なし	合計米4升4合、代金26銭4厘、その他に、利子として金19円56 銭也がある。	7頁	横帳	1	
739	938	Ⅱ 5	明治18年11月 (1885年)	作徳米割印帳	○智満寺納所(表紙) ●記載なし	大草村の永井幸次郎が納めた年貢残余の米俵が記載されてい る。		横半帳	1	
740	625	Ⅱ 5	明治18年12月25日 (1885年)・酉	祠堂金利及畑貢租散田 千 葉山惣持院	○記載なし ●記載なし	畑貢租8合5勺、祠堂金利足5銭3分などと書かれ、その下に名 前が書かれている。	6頁	横帳	1	
741	80	Ⅱ 5	明治19年2月3日 (1886年)	(年貢受取)	○智満寺 ●記載なし	野田村・大草村・千葉山各地からの散田米(木作米)の納入の記 録。	10頁	横半帳	1	
742	650	Ⅱ 5	明治19年9月 (1886年)・戌	田畑散田米金請取帳	○千葉山智満寺納所 ●田畑散田米金借主	大津各村の、借主の名前と俵数が記されている。	8頁	横帳	1	
743	882	Ⅱ 5	明治19年11月9日 (1886年)	委任状	○志太郡智満寺 惣代:寺上次平㊤、松原歳吉 ㊤、他24名 ●志太郡千葉山:長尾宇作、岡本伊作、寺岡傳蔵	堂山官林及び西谷官林の下草、下柴を払下げ願いの為、長尾 宇作、岡本伊作、寺岡傳蔵を代理人と定め、その委任状。	2頁	綴り	1	
744	841	Ⅱ 5	明治19年11月9日 (1886年)	官林中風杉木並病木御払 下願	○駿河国志太郡千葉山3番地 願人:櫻井利平 ㊤、同村16番地 願人:倉橋久右衛門㊤ ●静岡大林区署長 林務官:桑名茂三郎	払下げ内容が記されている。1・山林反別3町3反5畝28歩、風損 病木26本とその内訳、代金6円50銭 1・山林反別17町2反3畝2 歩、この風損病木50本、代金50円55銭、合計57円5銭。		綴り	1	

No.59										
通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
745	875	Ⅱ 5	明治19年11月9日 (1886年)・戊	官林立木御払下願	○千葉山28番地 願人:寺岡傳藏㊤、千葉山38番地 願人:長尾宇作㊤ ●静岡大林区署長 林務官:桑名茂三郎	千葉山堂山に於ける反別7町2反3畝2歩の内、反別1町2反歩についての立木123本を、この代金29円60銭且つ1本に付き金2銭により払い下の願書。	7頁	綴り	1	
746	957	Ⅱ 5	明治19年11月20日 (1886年)	副申	○静岡県志太郡落合村、他4ヶ村 戸長:廣田保藏 ●静岡県大林区署長 林務官:桑名茂三郎	上地官林拝借願は本村の維持に……。特別の御詮議をお願いしたい。		綴り	1	
747	701	Ⅱ 5	明治19年11月 (1886年)	官林立木御払下願	○千葉山28番地 願人:寺岡傳藏㊤、千葉山38番地 願人:長尾宇作㊤ ●静岡大林区署長 林務官:桑名茂三郎	官林立木拝借願書にて、反別、立木の数量・金額の記載となっており、本件はその下書き7件である。		綴り	1	
748	958	Ⅱ 5	明治19年11月 (1886年)	上地官林御委託請願書	○駿河区志太郡千葉山16番地:倉橋久右衛門㊤ ●静岡県大林区署長 林務官:桑名茂三郎	上地官林御委託請願書を、特別の御詮議をもって許可して頂くよう、絵図を添えて願う。	3頁	綴り	1	
749	375	Ⅱ 5	明治19年12月25日 (1886年)	取立金催促組姓名簿	○惣持院世話人 ●記載なし	1、岡村栄次郎、他4名。以下、6組までの各組人名を記す。		横帳	1	
750	898	Ⅱ 5	明治20年8月10日 (1887年)	拝借地継年願	○駿河国志太郡千葉山智満寺 花澤村法華寺 住職:山村良快㊤、寺壇中惣代:高橋久郎右衛門㊤、岩本藤次郎㊤、中村作蔵㊤ ●静岡大林区署長 林務局:桑名茂三郎	官林反別17町2反3畝2歩の内、拝借地1反5畝歩、この立竹数200本、拝借料1ヶ年1円5銭、但し1銭につき金70銭。明治10年より本年まで10ヶ年間拝借し、満期につき本年より24年12月まで継続拝借をお願いしたい。奥書あり。	4頁	綴り	1	
751	1183	Ⅱ 5	明治20年10月 (1887年)	拝借竹林内立竹仕訳	○駿河国志太郡千葉山智満寺 檀徒惣代:倉橋久右衛門㊤、岩本藤次郎㊤、中村昭蔵㊤ ●静岡大林区署島田派出所	江南竹50本、御竹150本、各寸法毎に本数を記す。		状	1	
752	381	Ⅱ 5	明治20年11月 (1887年)	散田米収納簿	○智満寺 ●記載なし	各人名と収納数が記されている。	4頁	横帳	1	
753	382	Ⅱ 5	明治21年1月2日 (1888年)	畑山田金利受取簿 明治21年1月2日 智満寺世話人	○智満寺世話人 ●記載なし	散田金の受取等が記されている。・山田亀吉 明治20年度分 散田金2円59銭 内2円受取り、・岩本善七 20銭、・櫻井利平2円等。他に、坂田善作 本金50円 利金6円、岡本貞蔵 本金25円 利金3円等とある。		縦帳	1	
754	947	Ⅱ 5	明治21年1月26日 (1888年)	立木調査依頼書	○静岡県志太郡落合村他4ヶ村戸長役場 ●千葉山智満寺、同惣持院住職及檀徒惣代中	千葉山智満寺に係る立木調べについて、志太郡落合村他4ヶ村戸長役場よりの調査依頼書。		綴り	1	
755	778	Ⅱ 5	明治21年1月 (1888年)	明治21年1月 米穀蔵出及掲上簿	○智満寺 ●記載なし	玄米白米各自搗いた、連月御供日、1日山王、3日大師 廣智 ぼさつ、9日立正、15日西寺、17日本堂手千、20日東寺 大日如来、24日地藏坊、28日不動明王等……。	10頁	横帳	1	
756	961	Ⅱ 5	明治21年5月16日 (1888年)	(静岡大林区署島田派出所より照事ありこれを通知)	○落合村外4ヶ村戸長役場㊤ ●千葉山人民惣代	千葉山字堂山等、官林内に存する杉立木の払下げを望む者は、6月3日迄にその願書を提出するように、村の人民へ通達すること。		綴り	1	
757	801	Ⅱ 5	明治21年11月 (1888年)・子	御請	○智満寺(住職無住に付き選挙中)、代理:檀家惣代 倉橋又右衛門㊤、他2名㊤、保証人:同村人民惣代 置村喜一郎㊤ ●静岡大林区署	千葉山字堂山官林にて、竹数200本を本年10月より来る24年迄5年間、貸付けが許可されたので、その為の約束事が記されている、これを守る事を約す。		綴り	1	

通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
758	1295	Ⅱ 5	明治22年旧1月12日 (1889年)	記(散田)	○記載なし ●記載なし	散田に係る金額(主旨不明)と氏名が列記されている、その総計金2円29銭5厘。		状	1	
759	1073	Ⅱ 5	明治22年1月15日 (1889年)	(寺院境内竹木伐採願)	○寺院 ●静岡県志太郡落合村外4ヶ村 戸長:広田保蔵	智満寺境内の竹木伐採については、今後は管長の添書が必要とする事がその筋から連絡あり、その事を心得るよう通達する、とある。		状	1	
760	423	Ⅱ 5	明治22年4月 (1889年)	畑山田金取立簿	○智満寺世話人:田村貞蔵、増田作十、岡村平四郎 ●記載なし	明治22年より同32年迄の、散田金取立の書上げ。	6頁	横帳	1	
761	329	Ⅱ 5	明治22年11月 (1889年)・丑	明治22年11月 小作米受取簿	○智満寺 ●記載なし	玄米1俵、2俵と4升、米2俵と2升2合4勺と替える。	8頁	横帳	1	
762	373	Ⅱ 5	明治22年旧12月20日 (1889年)	畑散田祠堂金利子取立並諸費	○世話人 ●惣持院世話人	前半に各人の小作料、後半は各人の利子、末尾に請取證 金8円38銭5厘5毛、惣持院世話人中あて。		横帳	1	
763	1091	Ⅱ 5	明治22年12月 (1889年)	損木伐採願	○志太郡大津村千葉 智満寺住職:海老原順海㊟、右寺檀徒惣代:岡村平四郎㊟、増田作十㊟ ●志太益津郡長:松田寅卯	智満寺境内の朽敗及び風損等により、倒木の憂い有る楠、杉各1本を危険防止の観点から伐採し売却する、代金は本堂の修繕費としたいとする願書。		状	1	
764	391	Ⅱ 5	明治23年正月朔日 (1890年)	玄米搗上並白米日々□出帳 明治23年2月19日陰正月朔日	○智満寺田所 ●記載なし	その日に搗いた、白米の量が記されている。他に明治23年2月19日陰正月朔日の表題で1冊有り。		横帳	2	
765	719	Ⅱ 5	明治23年1月 (1890年)	金穀出之帳 明治23年1月智満寺会計課	○智満寺会計課(表書) ●記載なし	明治23年1月より同26年3月27日迄の智満寺支払いの帳。・明治23年1月より24年2月15日迄 総計金106円40銭5厘、・同24年2月16日より25年3月15日迄 計金78円87銭5毛、・同25年3月16日より26年3月27日迄 総金87円80銭7厘、金6円34銭8厘・・・明治22年度地租第6期分田租等。他に「金穀納之帳」を同封している。		横帳	2	
766	532	Ⅱ 5	明治23年4月 (1890年)	畑散田金取立簿	○智満寺世話人 ●記載なし	智満寺の所有する田畑の借地者からの、小作金の記録簿。21名の散田金と氏名が記されている、最高金額は、増田伝作の18円65銭。	4頁	横帳	1	
767	902	Ⅱ 5	明治23年7月7日 (1890年)	委任状	○志太郡大津村千葉山 智満寺住職 ●	御料林2件とその立木、下戻し願ひ。代理人として、志太郡和田村田尻、法月甫輔に委任するとの状。		横帳	1	
768	440	Ⅱ 5	明治23年11月 (1890年)	小作米受取簿	○智満寺 ●記載なし	小作米を納めた人名と、それぞれの数量が記されている。	7頁	横帳	1	
769	1131	Ⅱ 5	明治23年12月3日 (1890年)	米渡人記	○(智満寺) ●岡本友蔵、他	はじめに、明治23年12月3日、米11俵 岡本友蔵とあり、以下、25年4月23日まで米渡しの記。		状	1	
770	383	Ⅱ 5	明治23年12月 (1890年)	米貸出扣	○智満寺世話人 ●記載なし	明治23年12月17日から同25年12月5日迄の智満寺における米貸出の扣帳で、借受該当者名と米の数量の記述となっている。尚、1人当りの借受料は、1升から1俵にわたっている。	6頁	横半帳	1	

通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
771	965	Ⅱ 5	明治24年1月21日 (1891年)	証	○志太郡大津村千葉山 住職:海老原順海 ●大津村大子54:山田兵蔵	地料として1年に金10銭にて、永々貴殿に任せるとの證文。		状	1	
772	419	Ⅱ 5	明治24年5月 (1891年)	畑散田金取立簿 智満寺世話人	○智満寺世話人(表紙) ●記載なし	明治24年5月20日より同年5月27日迄の23名分取立金、計19円47銭8厘、この他に同年5月28日及び12月18日ならびに明治25年6月3日付け4名分取立金、計3円42銭5厘。	5頁	横帳	1	
773	939	Ⅱ 5	明治24年9月26日 (1891年)	(御管下本宗智満寺上地・・)	○天台宗座主大僧正:三浦實源 ●静岡県知事:時任為基	智満寺がかって上地して官林となっている堂山、西谷堂山の面積20町5反8畝28歩の地、この度、智満寺の願いに依り引き下げる事を告げている。		状	1	
774	642	Ⅱ 5	明治24年11月 (1891年)・卯	明治24年11月 小作米受取簿	○智満寺 ●記載なし	智満寺に納められた、小作米の俵数と氏名が列記されている。		横帳	1	
775	392	Ⅱ 5	明治25年1月 (1892年)	金穀出納簿	○智満寺会計部 ●記載なし	竹3本 金13銭、米1俵 金3円8銭などと、項目・金銭などが列記されている。	16頁	横帳	1	
776	827	Ⅱ 5	明治25年2月 (1892年)	御請(竹木の貸付)	○智満寺住職 借地人:海老原順海 檀家惣代、保証人:櫻井利平、岡本伊作、増田作十 ●御料局静岡支庁長 御料局理事:桑名茂三郎	千葉山堂山 竹林反別1反5畝2歩、竹数268本を1ヶ年料金1円50銭にて、明治29年12月迄の5ヶ年季を以て、竹林の改良に注意し、新竹を殖し古竹に換え密を伐って補う等の制約を付し貸付けを受ける。	2頁	綴り	1	
777	372	Ⅱ 5	明治25年5月 (1892年)	畑小作金取立簿	○智満寺世話人 ●記載なし	はじめに、金2円12銭5厘 森井久作とあり、以下、小作人・人名を記す、末尾に金20円51銭。		横帳	1	
778	1081	Ⅱ 5	明治26年4月17日 (1893年)	庶第48号	○志太郡益津郡長:馬場晴利 ●志太郡大津村千葉山 智満寺住職	明治25年12月24日付の境内立木伐採願の趣旨は、次の通りと心得られたし。一、第35号の木材関係が届く、但し苗木を植え継ぐべし 一、第13号木材関係届ヶ難シ。		状	1	
779	954	Ⅱ 5	明治26年5月5日 (1893年)	大津村千葉智満寺	○右寺住職:海老原順海 ●天台座主:三浦実源	境内立木2本伐採の出願、その願いが叶い許可される。		状	1	
780	627	Ⅱ 5	明治26年5月30日 (1893年)	畑散田金取立帳	○智満寺世話人 ●記載なし	明治26年の千葉山智満寺に係る、畑散田金取立帳。17名分として計23円6銭也とある。		横帳	1	
781	374	Ⅱ 5	明治26年12月25日 (1893年)・巳	畑散田祠堂金利子取立記	○惣持院世話人 ●記載なし	はじめに、散田記として金8銭鈴木平作、以下記録。次に利子記として、金3銭7厘 川村清右衛門、以下記録あり。末尾に、金7円24銭4厘5毛 世話人岡本豊吉請取と記す。		横帳	1	
782	380	Ⅱ 5	明治26年12月 (1893年)	米蔵出し記	○智満寺 ●記載なし	表紙うらに、計41俵3斗2升とある。以下、蔵出しの米の数量を記す。		横半帳	1	
783	513	Ⅱ 5	明治26年 (1893年)	金穀納之帳	○智満寺会計課 ●記載なし	智満寺が所有する田畑の、借地者からの小作料などの記録控。明治26年～29年の4年間の記録、明治29年1月18日精算、計金89円88銭2厘5毛と記されていることから、年平均100円近い小作金が入っていたと思われる。	7頁	横帳	1	

通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
784	779	Ⅱ 5	明治28年5月25日 (1895年)	明治28年5月25日 畑散田金 取立帳 寺世話人	○智満寺世話人 ●記載なし	納められた小作金が、人名と共に列記されている。	4頁	横 帳	1	
785	409	Ⅱ 5	明治28年 (1895年)	上地林御還附請願書	○静岡県駿河国志太郡大津村千葉:長尾宇作 ㊤、他13名 ●貴族院議長:蜂須賀茂口	明治初年上地の山林の還付を願う。		豎 帳	1	
786	574	Ⅱ 5	明治29年5月28日 (1896年)	畑散田金取立帳	○智満寺世話人 ●記載なし	櫻井利平以下17名、合計29円90銭5厘、内金26円5銭5厘・・・。	5頁	横 帳	1	
787	514	Ⅱ 5	明治29年12月25日 (1896年)	畑散田祠堂金利子取立帳 (明治29年)	○惣持院世話人:岡本豊吉㊤ ●岡本伊作	惣持院が所有する田畑を農民に借地させ、その小作料を記録した帳面。27名の氏名と散田金合計2円29銭5厘、さらに利子等で合計6円47銭5厘の収入、諸入費を差引き計6円8銭7厘請取候也とある。	6頁	横 帳	1	
788	571	Ⅱ 5	明治30年12月25日 (1897年)	畑散田祠堂金利子取立帳	○(惣持院世話人:岡本豊吉) ●(増田作十)	散田金 計2円19銭、利子等を含め計6円41銭6厘5毛、諸入費を差引き計5円75銭の領収。	7頁	横 帳	1	
789	415	Ⅱ 5	明治30年 (1897年)	上地山林引戻願	○静岡県駿河国志太郡大津村大字千葉 智満寺 住職:望月慈円㊤、惣代9名㊤ ●農商務大臣伯爵:大隈重信	山林2筆、反別21町5反8畝28歩、明治改租の際、誤って官地に編入された、調査の上大至急引戻しを願う。		豎 帳	1	
790	700	Ⅱ 5	明治31年9月 (1898年)	風損木払下願	○智満寺住職:望月慈円㊤、檀家惣代:岡村喜一 郎㊤、長尾宇作㊤、櫻井利平㊤ ●御料局静岡支庁長 御料局理事:戸澤重見	志太郡大津村千葉山に於ける御料林風損木払下げ願いにて、杉損木合計107本、檀家惣代連名にて願う。他に1件有り。		綴 り	1	
791	802	Ⅱ 5	明治31年11月 (1898年)	明治31年11月 田畑山林入附 帳 智満寺世話人	○(智満寺世話人)表紙 ●記載なし	智満寺領小作の為の場所地番・面積・人名及び小作料が記されている。 例として、・志太郡千葉山294番地字中谷・畑5歩・山田亀吉・この小作金2円50銭 等。	虫喰い多し 8頁	綴 り	1	
792	621	Ⅱ 5	明治32年旧4月18日 (1899年)	惣持院畑散田取立帳	○世話人 ●記載なし	明治32年惣持院畑散田取立帳にて、散田29人分、合計2円19銭。	4頁	横 帳	1	
793	156	Ⅱ 5	明治32年7月7日 (1899年)	約定書	○住職、地方惣代(人名なし) ●労務担当社員:井上信八	智満寺上地に係る堂山・西谷御料木、民有下戻し事件につき、契約の約定書下書き。		状	1	
794	579	Ⅱ 5	明治33年7月 (1900年)	御料林御下渡申請再追伸 書	○静岡県志太郡大津村千葉 智満寺住職:望月慈 円、他檀家惣代4名 ●記載なし	御料林御下渡申請についての再追加申請書である。千葉山の林は維新の際、国有となり当寺等の修復に対して山林を伐採する事も出来ず困っている。どうか御下渡下さる様にとの追加申請。	4頁	綴 り	1	DVD4
795	672	Ⅱ 5	明治34年1月27日 (1901年)	字堂山及西谷御料林内風 損木入札帳	○記載なし ●記載なし	智満寺所有の山林の伐木について入札をもって売却する、その際の買入者と金額について記す。総合計金額15円39銭5厘。	8頁	横 帳	1	
796	705	Ⅱ 5	明治34年2月6日 (1901年)	御料林内風損杉椎松及智 満寺□□□入札帳	○智満寺世話人 ●記載なし	御料林内の風損を受けた松・杉・椎・柿木・モウソウの買増したものの、落札したものを記す。	5頁	横 帳	1	
797	641	Ⅱ 5	明治34年2月21日 (1901年)	御料林内風枯損木売渡金 内入金諸掛金明細帳	○智満寺世記入 ●記載なし	売渡し金惣計金621円95銭5厘、内入金等を差引残金524円16銭8厘となっている。他に受取記の記述あり。	5頁	横 帳	1	

通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
798	410	Ⅱ 5	明治34年3月 (1901年)	御料地御払下願	○静岡県駿河国志太郡大津村大字千葉 智満寺 住職:望月慈円㊤、総代:長尾宇作㊤、他3名㊤ ●御料局長男爵:岩村通俊	証拠書類目録を付す。		縦 帳	1	
799	640	Ⅱ 5	明治34年4月3日 (1901年)	字西谷御料林内風損枯損 入札帳	○記載なし ●記載なし	御料林内の風損及び枯損の松・杉木を対象に、1番から6番にか けての入札にて、惣計金27円67銭7厘5毛也、この手付金4円50 銭也とある。	9頁	横 帳	1	
800	674	Ⅱ 5	明治34年8月2日 (1901年)	字堂山御料林風損木第貳 回目諸費帳	○智満寺 ●記載なし	御料木の風害の為、各組毎に参加して杉木を植える仕事などに 掛かる費用等記されている。	8頁	横 帳	1	
801	753	Ⅱ 5	明治34年8月11日 (1901年)	明治34年8月11日 千葉山智満寺 字堂山御料林第2回目損 木代金領収帳	○千葉山智満寺(表紙) ●記載なし	1番札より13番札迄の落札者名と金額、それに領収日が記されて いる。 ・1番札落札 岡本豊吉 金87円75銭 内金13円等、差引残 金74円45銭 明治34年12月25日領収 等。	8頁	横 帳	1	
802	371	Ⅱ 5	明治36年5月25日 (1903年)	惣持院畑散田取立	○惣持院 ●記載なし	はじめに記として、金8銭鈴木平作とあり、以下、小作金・姓名を 記す、末尾に計金2円19銭とある。		横 帳	1	
803	369	Ⅱ 5	明治36年5月25日 (1903年)	畑散田金取立帳	○智満寺 ●記載なし	はじめに記として、金2円12銭 森井久作とあり、以下、小作金と 姓名が記される、末尾に計金24円29銭5厘とある。		縦 帳	1	
804	671	Ⅱ 5	明治36年 (1903年)	古木敷設御下附願	○智満寺住職:望月慈円㊤、檀家惣代:長尾宇作 ㊤、櫻井利平㊤ ●記載なし	山林17町歩の立木の内、9本の立木を売却、これは千年余の古 木で、枝葉は7間程も伸びている、往古より保存してきたが、実地 見分の上、下附と致したく願上げる。		縦 帳	1	
805	630	Ⅱ 5	明治37年7月16日 (1904年)	惣持院畑散田取立帳 収入 部	○智満寺収入部 ●記載なし	3部が綴られ、それぞれ金額と借主の名前が書かれている。	1部目4枚、2 部目4枚、3部 目7枚	横 帳	1	
806	613	Ⅱ 5	明治38年7月20日 (1905年)	畑散田金取立帳	○智満寺 ●記載なし	明治38年度の千葉山智満寺に係る、畑散田金取立帳。20人分と して計金20円48銭6厘。また向山下の草場散田金を含む。	3頁	横 帳	1	
807	614	Ⅱ 5	明治38年7月20日 (1905年)	惣持院畑散田金取立帳 智 満寺収入部	○智満寺 ●記載なし	明治38年度の惣持院に係る、改正畑散田金取立帳。16人分 計 金6円16銭4厘也、内金14銭8厘は不納。	3頁	横 帳	1	
808	605	Ⅱ 5	明治39年7月15日 (1906年)・午	畑散田金取立帳 収入部	○智満寺 ●記載なし	智満寺の土地を小作している人名と小作金が書かれている。3部 が綴られ、2部目は「惣持院散田取立帳」、3部目は「惣持院祠堂 金利子取立帳」となっている。		横 帳	1	
809	569	Ⅱ 5	明治40年5月30日 (1907年)	明治40年5月30日 畑散田取立 帳 収入部	○記載なし ●記載なし	18人の氏名と金額が記されている。総計金15円93銭2厘。(向山 下草場散田を含む) 3部が綴られ、他に、「惣持院畑散田取立帳 収入部」と「惣持院祠堂金利子取立帳収入部」を綴る。		横 帳	1	
810	920	Ⅱ 5	明治40年7月6日 (1907年)	静岡県指令 第3211号ノ3	○静岡県知事:李家隆介 ●志太郡大津村千葉山 天台宗智満寺	並立木伐採の件、その跡地に植林する事などが記されている。	表題は朱書	綴 り	1	

通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
811	396	Ⅱ 5	明治40年 (1907年)	境内立木調書	○智満寺住職:望月慈円㊟、檀中惣代:長尾宇作 ㊟、他3名㊟ ●静岡県知事:李家隆介	第1類木より同5類木まで列記、樹種、目通等を記載、これに分布図2枚を付す。		縦 帳	1	
812	628	Ⅱ 5	明治41年3月9日 (1908年)	智満寺木挽控帳	○智満寺(表紙) ●記載なし	木の寸法・長さ・太さ等が記されている。	9頁	横 帳	1	
813	1055	Ⅱ 5	明治41年7月3日 (1908年)	指定林認可願	○志太郡大津村千葉山 智満寺住職:望月慈円 ㊟、同寺檀徒惣代:長尾宇作㊟、他3名㊟ ●静岡県知事:李家隆介	大津村大字千葉山字堂山899番地の1及び字99番地の山林について、当該地の地質、地形上から山林等を保護したいとする為、当該地を官林指定とする認可願書。上記の件、明治41年12月17日付け静岡県指令申山第1096号2を以て認可となる。	「山林及土地重要書類」の封筒に入る	綴 り	1	
814	576	Ⅱ 5	明治41年7月24日 (1908年)	惣持院畑散田取立帳 収入部	○惣持院収入部(表紙) ●記載なし	総計金7円36銭7厘、内寄金6円34銭9厘、不足金1円1銭8厘。	3頁	横 帳	1	
815	693	Ⅱ 5	明治41年7月24日 (1908年)	畑散田取立帳	○智満寺収入部 ●記載なし	総計金16円20銭2厘、不足2円8銭5厘。森井久作以下10名。	4頁	横 帳	1	
816	697	Ⅱ 5	明治45年2月17日 (1912年)	常胤杉賣代金収支控帳	○会計:増田銀作 ●記載なし	入金2,655円、当座預金利子、合計2,671円85銭。内訳、雑費の当座預り。	3頁	横 帳	1	
817	518	Ⅱ 5	明治45年2月18日 (1912年)	風倒木売買契約書	○智満寺住職:望月慈円㊟、寺壇中惣代:岩本藤次郎㊟、増田銀作㊟、岡本豊作㊟ ●駿東郡御殿場町2枚橋 買主:鈴木兼五郎㊟	倒木売買の契約書。売渡金2,655円の内、契約日当日531円払い、残金は伐採着手の時2,124円払うと記されている。		綴 り	1	
818	781	Ⅱ 5	明治45年7月14日 (1912年)	智満寺畑散田取立帳	○智満寺会計課 ●記載なし	千葉山智満寺に係る畑散田金取立帳2通、10人分 総計金21円25銭6厘也、16人分 総計金8円71銭7厘也、惣持院祠堂金利子取立帳1通、総計金13円28銭8厘也、他に、風損木代金未納等の記述あり。		横 帳	1	
819	152	Ⅱ 5	(明治)9月19日	風損木売渡代金未納者につき	○岡本長太郎 ●長尾宇作	未納金36円50銭、水口甚作、鈴木平吉、承知願いたいとある。		状	1	
820	125	Ⅱ 5	(明治)12月27日	(年貢受取)	○(智満寺) ●記載なし	落合村、大草村内の散田米等受取り。	6頁	横 帳	1	
821	71	Ⅱ 5	(明治)	官林御下戻願ニ寛スル證跡書	○(千葉山智満寺) ●記載なし	智満寺に対し、官林払下げに関する諸證跡等を列記。	5頁	縦 帳	1	
822	81	Ⅱ 5	(明治)	官林樹種並囲り尺取調書	○(智満寺) ●記載なし	字堂山、字西谷に分け、樹種、囲り、本数を記す。堂山官林立木惣計7,192本、西谷官林立木惣計1,577本。	7頁	縦 帳	1	
823	1264	Ⅱ 5	(明治)	玄米納	○(智満寺) ●記載なし	12月11日、玄米1俵6升、同人納め、12月14日、12月22日の記あり。	もと横半帳か	状	1	

通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
824	1261	Ⅱ 5	(明治)	記	○智満寺世話人 ●(智満寺)	世話人相談の上、米俵割引きを定め承知を願う。はじめに、4俵半、1割3分、1割、半次郎分とある。		状	1	
825	1260	Ⅱ 5	(明治)	米俵納記	○(智満寺世話人) ●(智満寺)	はじめに、善次郎納分を記し、以下、全12名の記。		状	1	
826	1253	Ⅱ 5	(明治)	見積書	○記載なし ●(智満寺)	杉枯損木36本、代金31円19銭4厘。以下、樅枯損木2本、大工100人、木挽き50人の記。		状	1	
827	1250	Ⅱ 5	(明治)	稗米下ヶ渡金受取記	○記載なし ●(智満寺)	はじめに、千葉山分、尾川村分、大草村分、落合村分、野田村分、5口合計48円84銭とあり、足助圭山氏実績にて、と記す。		状	1	
828	107	Ⅱ 5	(明治)	委託願地	○智満寺 ●管長:三浦実源	委託官林に付、木種取調べ。	4頁	縦帳	1	
829	151	Ⅱ 5	(明治)	上地山林内立木自費栽培ニ付御下附願	○智満寺住職及び村民一同 ●記載なし	願書中、「明治3年御朱印地共に上地」とある。旧智満寺領小字西谷、堂山2ヶ所、合反別20町5反8畝28歩、立木凡そ1万本と記す。下書き。		縦帳	1	
830	157	Ⅱ 5	(明治)	未墾地立木調	○(智満寺) ●記載なし	「御供物」の紙に、桧、杉の立木177本の太さを記す。		状	1	
831	1276	Ⅱ 5	(明治)	散田金	○(智満寺) ●記載なし	千葉山内、田畑散田状況、全員作人を記す。	もと横帳のはがれ部分のみ	状	1	
832	629	Ⅱ 5	大正2年7月14日 (1913年)	智満寺畑散田取立帳	○智満寺会計部 ●記載なし	借主の氏名と金額が記されている。	3頁	横帳	1	
833	649	Ⅱ 5	大正2年7月14日 (1913年)	惣持院畑散田取立帳	○惣持院会計 ●記載なし	借主の氏名と金額が記されている。	3頁	横帳	1	
834	631	Ⅱ 5	大正3年7月14日 (1914年)	智満寺畑散田取立帳	○智満寺会計 ●記載なし	借主の氏名と金額が記されている。	3頁	横帳	1	
835	463	Ⅱ 5	大正3年7月14日 (1914年)	惣持院畑散田取立帳	○惣持院会計部 ●記載なし	惣持院の小作料と氏名が記されている。計14名、この計金9円11銭5厘、この内、寄金4円89銭となっている。	6頁	横帳	1	
836	643	Ⅱ 5	大正4年7月18日 (1915年)	大正4年7月18日 惣持院畑散田取立帳 惣持院会計部	○惣持院会計部(表紙) ●記載なし	15人の名前と金額が列記され、最後に合計金額が記されている。 例として ・金22銭 南向亀作、・金42銭5厘 増田銀作、金27銭5厘 坂田栄作・・・計金6円87銭5厘。		横帳	1	
837	586	Ⅱ 5	大正4年7月18日 (1915年)	智満寺畑散田取立帳	○智満寺会計部 ●記載なし	森井久作以下9名 畑散田納入 計22円90銭8厘、祠堂金 利子等合計して会計とする。	3頁	横帳	1	

通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
838	585	Ⅱ 5	大正5年7月21日 (1916年)	智満寺畑散田取立帳	○智満寺会計部 ●記載なし	森井久作以下10名から集金、合金40円93銭、内、寄附金18円73銭。	3頁	横帳	1	
839	462	Ⅱ 5	大正5年7月21日 (1916年)	惣持院畑散田取立帳	○惣持院会計部 ●記載なし	借主の氏名と金額が記されている。	3頁	横帳	1	
840	583	Ⅱ 5	大正6年7月23日 (1917年)	智満寺畑散田金取立帳 大 正6年7月23日 智満寺会計部	○智満寺会計部(表紙) ●記載なし	智満寺の畑散田金取立の様子がわかる。10人の氏名と金額、それに未納についても記している。 例として・金1円5銭 寺田千代吉、・金63銭5厘半年分、金88銭5厘、合金1円52銭 櫻井善吉、・大正3年度田散田未納金1円也 岡本伊之吉 等。	3頁	横帳	1	
841	443	Ⅱ 5	大正7年7月25日 (1918年)	智満寺畑散田取立帳 会計 部	○智満寺会計部(表紙) ●記載なし	小作金の請取(8人)、計金14円86銭。ほかに1名、明治34年風損木代金、未納者等の記述あり。	3頁	横帳	1	
842	477	Ⅱ 5	大正8年7月20日 (1919年)	智満寺畑散田金取立帳 智 満寺会計部	○智満寺会計部(表紙) ●記載なし	小作人8名分、15円56銭。風損木代金未納26円50銭及び利子合金29円15銭未納等。	3頁	横帳	1	
843	587	Ⅱ 5	大正9年7月19日 (1920年)	智満寺畑散田金取立帳 会 計部	○智満寺会計部(表紙) ●記載なし	散田金計14円67銭5厘、明治34年風損木代、未納26円50銭(元金受取)、大正3年度散田未納 岡本伊之吉分 金1円。	3頁	横帳	1	
844	582	Ⅱ 5	大正10年7月22日 (1921年)	智満寺畑散田金取立帳 会 計部	○智満寺会計部(表紙) ●記載なし	千葉山智満寺に係る農民の死亡や逃散などで、所有者のいない畑地の使用金取立帳。森井新作他6人分、計金4円67銭5厘、他に、鈴木平吉分、金5円30銭の別納の記述あり。	3頁	横帳	1	
845	465	Ⅱ 5	大正11年7月17日 (1922年)	智満寺畑散田金取立帳 会 計部	○智満寺会計部(表紙) ●記載なし	小作人氏名と小作料が書かれている。	3頁	横帳	1	
846	766	Ⅱ 5	大正12年7月17日 (1923年)	智満寺畑散田金取立帳 会 計部	○智満寺会計部(表紙) ●記載なし	千葉山智満寺に係る畑散田金取立帳。関係者氏名および取立金が記載されている、計金14円67銭5厘也。		横帳	1	
847	453	Ⅱ 5	大正13年7月18日 (1924年)	智満寺畑散田金取立帳 智 満寺会計部	○智満寺会計部(表紙) ●記載なし	小作人7名分、金14円67銭5厘。鈴木平吉分5円30銭、合計金19円97銭5厘。	3頁	横帳	1	
848	1216	Ⅱ 5	大正14年6月26日 (1925年)	特別課金納付通知ノ件	○第8教区長:山田全顯 ●智満寺	立木売却代金298円7銭について、大正14年7月7日迄に宗務所へ送納の旨の通知書、及び財務部長からの通知書あり。		状	1	
849	446	Ⅱ 5	大正14年7月21日 (1925年)	智満寺畑散田金取立帳 大 正14年7月21日 智満寺会計部	○智満寺会計部(表紙) ●記載なし	小作料の受取帳。金額と氏名、合計が記されている。 ・金1円50銭 寺岡千代吉、・金3円16銭 山田久太郎・・・等 計金14円67銭5厘等。	3頁	横帳	1	
850	675	Ⅱ 5	昭和2年12月 (1927年)	作米控帳	○千葉山智満寺 ●記載なし	沢井駒吉はじめ、7戸の小作人作米の覚。	5頁	横帳	1	

通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
851	1198	Ⅱ 5	昭和13年3月24日 (1938年)	山林立木売買契約書	○売主 智満寺住職:北川慈映㊤、檀徒惣代:岡村永治㊤、他3名㊤ ●買主:青山紘一㊤	智満寺所有の立木を、青山紘一氏に売却した際の売買契約書。売却代金105円61銭。契約内容の詳細が記され、檀徒惣代4名の署名捺印がある。		状	1	
852	985	Ⅱ 5	昭和16年8月1日 (1941年)	立木売買契約書	○売主 智満寺住職:北川慈映㊤、惣代:岡村永治、他3名 ●買主:記載なし	大津村千葉北谷の立木(樺・梅・杉・松)、計257本の売買契約書、その代金は記載後抹消されている。		状	1	
853	1076	Ⅱ 5	昭和16年9月2日 (1941年)	静岡県指令 砂 第365号	○静岡県知事:小浜八弥 ●志太郡大津村:千葉 智満寺	昭和16年8月4日付願書による、大津村千葉字北谷656の1、656の2、反別3畝18歩、1畝29歩及び大草字菅ヶ谷28、反別5反1畝17歩の砂防指定地内に於ける立木伐採に係る作業の件の許可書。		綴り	1	
854	1006	Ⅱ 5	昭和17年12月26日 (1942年)	立木売買契約書	○売人 智満寺住職:北川慈映㊤、檀徒惣代:岡村永治 ●買人 大井川木材株式会社社長:加藤利八㊤	大津村千葉向山に立木する松575本、樅41本を計2,800円で売買するという契約書。立会人 島田町向谷 岩本勇平㊤の署名有り。		状	1	
855	987	Ⅱ 5	昭和18年1月16日 (1943年)	素材売買契約書	○売人 智満寺住職:北川慈映㊤、惣代:岡村永治 ●買人 大井川木材株式会社社長:加藤利八㊤	大津村字千葉に在する杉木1,600本を1本に付き10円50銭にて売買するという契約書。杉木目通り平均尺5寸弱とある、立会人 島田町向谷 岩本勇平㊤の署名有り。		状	1	
856	1077	Ⅱ 5	昭和19年11月17日 (1944年)	静岡県指令 河 第1号	○静岡県知事:今松治郎 ●志太郡大津村千葉2番地 智満寺住職:北川慈映	昭和19年10月6日付願書による、大津村尾川字尾川村835の24、反別4反9畝歩における砂防指定地内の立木伐採に係る作業の件の許可書。		綴り	1	
857	397	Ⅱ 5	昭和20年3月16日 (1945年)	立木売買契約證書	○静岡県志太郡大津村千葉 北川慈映㊤ ●静岡県地方木材株式会社島田支店 支店長:加藤益蔵㊤	桧木数176本、代金260円の契約書。		状	1	
858	589	Ⅱ 5	昭和20年11月5日 (1945年)	寺有森林風損木伐採売却御届	○志太郡大津村千葉 智満寺住職:北川慈映㊤、檀徒惣代:岡村永治㊤、他3名㊤ ●静岡県知事:堀田健男	・寺有森林風損木伐採売却の届け ・立木伐採跡地に植樹について ・森林伐植収支の見込み計算書などが綴られている。		綴り	1	
859	395	Ⅱ 5	昭和21年8月7日 (1946年)	立木売買契約書	○志太郡大津村千葉 智満寺住職:北川慈映㊤ ●志太郡島田町東海事業株式会社 社長:荒井彦宗㊤	杉・桧・松代金27,500円にて売買。		状	1	
860	1057	Ⅱ 5	昭和21年8月11日 (1946年)	副申書下附願	○第11教区静岡県志太郡大津村 智満寺住職大僧都:北川慈映㊤、檀徒惣代:岡村永治㊤、他3名㊤ ●庶務部長 権僧正:水谷教章	砂防制限地内、立木伐採の作業許可申請についての副申書、伐採地の略図も添付。	3頁	綴り	1	
861	404	Ⅱ 5	昭和21年8月11日 (1946年)	山林立木伐採承認願	○智満寺住職:北川慈映㊤、以下、総代、法類住職の名・捺印 ●天台宗管長 大僧正:渋谷慈鑑	伐採所要立木調査、伐採代金15,085円、付図、以下、関係書類綴り。		縦・綴	1	
862	1047	Ⅱ 5	昭和21年8月 (1946年)	(樹木の寸法と数量)	○記載なし ●記載なし	昭和21年度の8月に於ける大津山の内、杉・桧の寸法とその数量調査、他に2部あり。		横帳	3	
863	1176	Ⅱ 5	昭和21年11月15日 (1946年)	山林立木売買契約書	○売主 志太郡大津村千葉 智満寺住職:北川慈映 ●買主 志太郡島田町日ノ出:清水倉七㊤	智満寺所有の立木を、清水倉七氏に売却した際の契約書、売却代金40,000円也。		状	1	
864	1161	Ⅱ 5	昭和22年5月11日 (1947年)	立木売買仮契約書	○売人 志太郡大津千葉 智満寺住職:北川慈映㊤、総代:岡村永治㊤ ●買人 志太郡島田町日ノ出:清水倉吉㊤	智満寺所有の立木を清水倉吉に売却する為の契約書、売却代金50,000円。契約内容の詳細が記され、檀徒惣代の岡村永治の署名捺印がある。他に2枚有り。		状	3	

通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
865	1123	Ⅱ 5	昭和22年5月12日 (1947年)	庶務達 第392号・第393号	○天台宗宗務本庁 庶務部長僧正:濱名徳潤 ●第11教区 智満寺住職大僧都:北川慈映	昭和22年5月12日付け願の砂防制限地における、寺有山林立木伐採についての同23年6月12日付副申書及びその承認書交付書。・第392号 砂防制限地における作業、第393号 寺有山林立木伐採。		綴り	1	
866	466	Ⅱ 5	昭和22年5月 (1947年)	寺有山林立木伐採承認願	○志太郡大津村 智満寺住職:北川慈映㊤、他8名(願人) ●天台座主大僧正:渋谷慈鑑	志太郡大津村千葉における、智満寺所有の山林立木伐採に係る承認願にて、面積1町7反、売却見込額56,232円也、処分法は競争入札、目的は戦災復興の為、他に「寺有山林立木伐採届書」がある。		綴・状	2	
867	1125	Ⅱ 5	昭和22年6月9日 (1947年)	(寺有林経営の現状調査に関する件)	○大津村千葉 智満寺住職:北川慈映 ●大津村森林組合	造林状況、立木処分の現況、面積の調査等。		状	1	
868	1048	Ⅱ 5	昭和22年6月23日 (1947年)	副申書下附願 智満寺	○寺住職:北川慈映㊤、檀徒惣代4名㊤ ●庶務部長僧正:浜名徳潤	砂防制限地内、立木伐採の副申書。その他、砂防制限地の作業願い有り、差出人は同上、受取人は静岡県知事小林武治。		綴り	1	
869	506	Ⅱ 5	昭和23年8月 (1948年)	昭和23年8月 当山枯損木調	○記載なし ●記載なし	松・杉・桧、入落札の覚。落札者の氏名・金額が記されている。関係書類を5枚綴る。	5頁	綴り	1	
870	991	Ⅱ 5	昭和23年9月20日 (1948年)	山林立木売買契約證書	○売主 志太郡大津村千葉 智満寺住職:北川慈映㊤ ●買主 株式会社大池木材:大池喜四郎㊤	志太郡大津村尾川山及び大津山に係る7筆における山林立木、杉・桧価格金40,000円也の売買契約證書にて、その代金支払い方法は契約の当日半額を支払い、残金は昭和23年9月末日を期限に支払う等の契約事項が記載されている。		状	1	
871	1269	Ⅱ 5	昭和23年 (1948年)	植林経営書	○(智満寺) ●記載なし	表紙のみ。綴じ紐を通した跡がある。		状	1	
872	437	Ⅱ 5	(昭和)24年 (1949年)	(伐採木本数代金)	○智満寺 ●記載なし	24年・25年の大津山・富士山伐採木の本数と代金を記す。これに25年の下苅雇人数が記載されている。	11枚の内、10枚が白紙	竖帳	1	
873	1177	Ⅱ 5	昭和26年1月17日 (1951年)	売買仮契約書	○志太郡大津村千葉 売渡人:智満寺 ●志太郡大津村落合 買受人 大津製材所:新聞銀作㊤	智満寺の立木を大津製作所に売却した際の契約書。売却代金15万円。		状	1	
874	445	Ⅱ 5	昭和34年10月31日 (1959年)	伐採許可決定通知書	○静岡県知事:斎藤寿夫㊤ ●智満寺代表:北川端豊	砂防指定地6ヘクタール31アール内の伐採本決定。		状	一括	
875	1274	Ⅱ 5	(昭和)	林・学校の樹木数・代金	○静岡県 ●静岡県島田局大津村千葉:北川慈映	林・学校の杉・桧・桂付本数と代金を記載する。		状	1	
876	1132	Ⅱ 5	7月9日	有木保護について	○山林局静岡出張所㊤ ●智満寺住職:千葉昭如、小前惣代:岡村勘兵衛、南向長吉	智満寺上地における有木保護の出願の趣、これは私有に準ずる証書が有ると思うので、書類を持って関係者1名を早々当出張所へ赴く旨の通知。		状	1	
877	1169	Ⅱ 5	記載なし	(受取証)	○記載なし ●記載なし	田1反7畝3歩、地価金87円68銭1厘、散田米4俵。		状	1	
878	1026	Ⅱ 5	記載なし	上地山林下渡申請追伸書 下書	○記載なし ●記載なし	上地山林下渡前の申請内容不備についての申請追伸書の下書き。		状	1	

										No.69		
通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号		
879	1040	Ⅱ 5	記載なし	民有林造林補助金交付申請書	○記載なし ●記載なし	民有林造林補助金の交付申請書ヒナ型。		状	1			
880	496	Ⅱ 5	記載なし	境内木	○記載なし ●記載なし	境内樹木の本数・種類とその全長・断面等々の記録表。		綴り	1			
881	860	Ⅱ 5	記載なし	御請負見込上申書(苗木植付け請負見込上申書)	○記載なし ●記載なし	請負見込金57円也、これは杉苗金、人足代金等にて植替えは3ヶ年季とし、保証人を立てる旨の上申書。		状	1			
882	906	Ⅱ 5	記載なし	境内立木調書	○静岡県志太郡大津村:天台宗智満寺 ●記載なし	境内立木(杉209本・松7本・雑木43本)の目通・高さを表にして書き上げている。	6頁	綴り	1			
883	966	Ⅱ 5	記載なし	上地山林之内立木自費栽培ニ付御下附願	○記載なし ●記載なし	格別の御詮議を以て山林立木を御下戻してほしいとの歎願書。	4頁	綴り	1			
884	828	Ⅱ 5	記載なし	山林竹木取調帳	○記載なし ●記載なし	智満寺領内の山林竹木の一部だと思われる。・山林 反別不知2ヶ所 この木数凡そ7,000本 この払い代金凡そ1,150両程 ・竹木 反別不知 3ヶ所 この竹数凡そ1,110本 この拂代金3両2分1朱等。		状	1			
885	813	Ⅱ 5	記載なし	立木伐採地見取図	○記載なし ●記載なし	尾川山、尾川村の赤線内伐採の事。		絵図	1			

886	884	Ⅱ 6	明治9年12月 (1876年)	記	○ふじ枝:籠山島 ●千葉:長尾宇作	山籠一丁、金2円、請取り。		状	1			
887	1278	Ⅱ 6	明治25年8月14日 (1892年)	添書	○島田町:大石勘吉㊤ 駿州島田御時計師 ●取次人:布岩	修繕の時計返却につき。		状	1			
888	885	Ⅱ 6	(明治)4月20日	記	○大工:吉右衛門㊤(静岡安部町) ●上(智満寺)	智満寺普請による資材費、大工手間代、合金1円25銭の請取り。		状	1			
889	1002	Ⅱ 6	昭和25年4月18日 (1950年)	仮領収証	○水口勝司(拇印) ●智満寺	大工賃銀10人分、3,500円受取り。		状	1			
890	1018	Ⅱ 6	昭和27年11月25日 (1952年)	立木伐採完了届書提出につき	○志太郡大津村長:長谷川寛 ●(智満寺)	法第15条・16条(森林法)により、完了届を提出されたし。		状	1			
891	1004	Ⅱ 6	(昭和)1月16日	記	○蘆田豊屋 ●智満寺	新床添付8畳他、金10,800円受取。		状	1			

通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
892	1186	Ⅱ 7	明治13年9月11日 (1880年)	(証文)	○瀬戸ノ谷村:西島佐太郎㊤ ●龍澤村:澤口藤平	家1ヶ所、雪隠1ヶ所(井戸共)、金32円50銭にて売渡し、内金5円頂戴したとの証文。		状	1	
893	600	Ⅱ 7	(明治)16年2月4日 (1883年)	(代金受取の覚)	○当山組本堂前:千歳屋㊤ ●智満寺御執事	日常物資の代金支払い。	前欠文書	状	1	
894	654	Ⅱ 7	(明治)18年3月1日 (1885年)	受取之證	○栗原為蔵 ●記載なし	金7円10銭、内、利子4ヶ月分35銭受取。		状	1	
895	308	Ⅱ 7	明治20年1月吉日 (1887年)・丁亥	御通	○島田駅:角甚 ●智満寺御取扱	はじめに、1ヶ年紙数20枚、島田駅五條甚左衛門とある。㊤「五條甚印」。種油、石油、釘等の売買金銭受取り状況。		横 半 帳	1	
896	307	Ⅱ 7	明治20年1月 (1887年)・丁亥	醤油通	○酢屋:専蔵 ●千満寺	はじめに、帳付込1ヶ年、紙数20枚。㊤に(駿州島田 ○に岩 酢屋)とある。		横 半 帳	1	
897	309	Ⅱ 7	明治20年1月 (1887年)・丁亥	青物干物御通	○八百や:清蔵 ●千葉山智満寺御取次衆	はじめに、通帳紙数、1ヶ年限り、中江清蔵とある。諸雑貨売買、金銭受取り状況等を記す。		横 半 帳	1	
898	315	Ⅱ 7	明治21年1月 (1888年)・戊子	醤油通	○酢屋:専蔵 ●千葉山智満寺	はじめに、帳付込1年、紙20枚。岩虎専蔵とあり、醤油、酢の売買、金銭支払い状況等を記す。		横 半 帳	1	
899	314	Ⅱ 7	明治21年1月 (1888年)・戊子	御通	○島田角屋 ●千満寺御納所	はじめに、帳付込1年、紙16枚。島田宿五條甚左衛門㊤とあり、石油、塩、釘、米等諸雑貨売買、金銭支払い状況を記す。		横 半 帳	1	
900	303	Ⅱ 7	明治21年1月 (1888年)・子	青物干物御通	○八百や:清蔵 ●千葉山千満寺	はじめに、通帳1ヶ年限、中江清蔵とあり、㊤に(駿州島田中清)とある。1年分の諸雑貨売買、金銭支払い等を記す。		横 半 帳	1	
901	311	Ⅱ 7	明治21年10月9日 (1888年)・子	醤油御通	○落合村:長谷川惣四郎 ●千葉山智満寺	はじめに、帳付込1年、長谷川惣四朗とあり、石油、醤油の売買、金銭受取り状況を記す。		横 半 帳	1	
902	302	Ⅱ 7	明治22年1月9日 (1889年)	不用品売上帳	○智満寺 ●記載なし	はじめに、「金7銭 平四郎」「11日 5銭5厘受取」とある。以下、同様の記載、物品の記載はない。		横 帳	1	
903	304	Ⅱ 7	明治22年1月 (1889年)・己丑	醤油通	○酢屋:専蔵 ●智満寺	はじめに、「帳簿附込期限壹ヶ年」紙数20枚、虎岩専蔵代」とあり、酢の売買代金請取を記す。	虫損甚大	横 半 帳	1	
904	316	Ⅱ 7	明治22年1月 (1889年)・丑	青物干物御通	○八百屋:定七 ●千葉山智満寺	はじめに、帳付込1年、紙数16枚 中江定七㊤とあり、㊤に(遠州島田 中清とある)。牛蒡、ろうそく等、売買金銭支払い状況を記す。		横 半 帳	1	

通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
905	1221	Ⅱ 7	(明治)22年8月 (1889年)	記	○八百や:清蔵 ●千葉寺御台所	明治21年12月迄金4円25銭9厘、同22年1月より8月8日迄金2円、差引して、2口合せて金8円9銭5厘の受取り。		状	1	
906	313	Ⅱ 7	(明治)22年9月吉日 (1889年)	万覚	○駿河国志太郡:智満寺 ●記載なし	散田金、米等のやりとり、後半に諸物品貸借帳の記載あり。		横半帳	1	
907	698	Ⅱ 7	(明治)22年9月 (1889年)	東京地方勸財に付入費記帳	○智満寺 ●記載なし	財産管理に係る美濃紙代等、諸品及びその金額の記帳となっている。	10頁	横帳	1	
908	310	Ⅱ 7	(明治)23年1月 (1890年)・寅	醤油通	○酢屋:専蔵 ●千葉山智満寺	はじめに、帳面付込期限1年虎岩専蔵とあり、㊤に(駿州島田 丸岩 酢屋)とある。醤油売買の金銭受取状況を記す。	虫損あり	横半帳	1	
909	1163	Ⅱ 7	明治23年2月25日 (1890年)	記	○島田町:提灯屋 ●千葉山	金40銭(手丸新規2張)の受取書。		状	1	
910	312	Ⅱ 7	明治23年3月 (1890年)・寅	豆腐青物御通	○八百屋定七 ●千葉村千満寺	牛蒡・大豆・塩・ろうそく・はみがき等、日用諸雑貨売買金銭等を記す。㊤に(駿州島田 丸にさ 中定)とあり。		横半帳	1	
911	1214	Ⅱ 7	(明治)23年3月 (1890年)	記	○山宗 ●千葉山村千満寺	明治21年12月からの分、10銭香末縁。		状	1	
912	306	Ⅱ 7	(明治)23年3月 (1890年)	醤油之通	○落合:長谷川惣四郎 ●千葉山智満寺	はじめに、帳付込1年。醤油・石油売買、金銭受取り状況を記す。		横半帳	1	
913	317	Ⅱ 7	明治25年1月 (1892年)	御通	○大津村落合:長谷川長宣㊤ ●智満寺	帳付込1年。石油・醤油等売買金銭受取り状況。この他に、同年「豆腐青物御通」、24年「醤油通」を綴る。		横半・綴	1	
914	1153	Ⅱ 7	(明治)2月10日	記	○清水屋:永蔵㊤ ●千葉山御勝手	金1円30銭、260個代金請取。		状	1	
915	658	Ⅱ 7	(明治)3月2日	記	○岡本屋:角蔵㊤(駿州島田駅2丁目 岡角) ●千葉村千萬寺	上々種水油1升、代金27銭受取。この他、記7点あり。		状	8	
916	1016	Ⅱ 7	明治3月3日	記	○津島屋:嘉右衛門 ○千葉村御世話人中	金1円85銭 大牛蒡、30銭 白いんげん3升・・・等食料品が目立つが、徳利5銭2厘などもある、津島屋から千葉村世話人中に提出した請求メモか。		状	1	
917	728	Ⅱ 7	(明治)3月22日	記	○島田宿4丁目 池田屋:宇吉㊤ ●千葉村:上様	種水1本、36銭受取。		状	1	

										No.72		
通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号		
918	1201	Ⅱ 7	(明治)4月11日	記	○記載なし ●(智満寺)	極上醤油5升 金85銭、以下、8件 合計金4円28銭2厘。	後半欠	状	1			
919	1244	Ⅱ 7	(明治)5月31日	買物記	○岡村繁蔵 ●(智満寺)	4月4日 豆腐5丁、以下、5月21日まで金69銭2厘の受取。		状	1			
920	1252	Ⅱ 7	(明治)8月21日	記	○□歳屋㊤ ●(智満寺)	はじめに、22銭 焼とうふ3丁、以下、諸費の受取。		状	1			
921	1262	Ⅱ 7	(明治)10月25日	衣料代	○松屋:庄七 ●明楽寺	白地に錦、平緒などあり、代金2円受取。	前半欠	状	1			
922	1234	Ⅱ 7	(明治)11月2日	記	○すや店㊤ (駿州島田酢屋) ●智満寺	金40銭請取。		状	1			
923	1223	Ⅱ 7	(明治)11月15日	記	○菊川源吾㊤ ●上	木材の代金等、金2円72銭5厘受取。		状	1			
924	1151	Ⅱ 7	(明治)11月24日	記	○お起原 ●応役	金32銭 御酒2升、他、金45銭受取。		状	1			
925	1224	Ⅱ 7	(明治)12月18日	記	○菊川商店 ●智満寺	木材の代金等、金87銭7厘受取。		状	1			
926	1149	Ⅱ 7	(明治)	覚	○いかけや政吉㊤ (駿州島田和同町鋳掛屋) ●千葉山	金10銭5厘 ふろかま代金請取。		状	1			
927	1222	Ⅱ 7	(明治)	記	○記載なし ●(智満寺)	はじめに、委任状3人分印紙3枚 1銭5厘、以下、諸払い計金1円2銭5厘。		状	1			
928	1035	Ⅱ 7	(明治)	記	○大村屋酒店 ●新田正戈	宝5升2合、代金67銭6厘受取。		状	1			
929	1209	Ⅱ 7	(明治)	記	○記載なし ●記載なし	金284銭とあり。		状	1			
930	754	Ⅱ 7	昭和25年1月20日 (1950年)	假領収證	○森井新作㊤ ●智満寺	金4,800円也、但し木挽賃 金9,800円の残金也。(23人工、1人350円の事)		状	1			
931	1189	Ⅱ 7	1月28日	記	○酢屋:専蔵㊤ ●智満寺	金30銭(時計直し賃代)の請取証。		状	1			

分類:Ⅱ－7 経済・産業－商業

										No.73		
通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号		
932	1168	Ⅱ 7	1月31日	記	○丸正(酒店) ●千葉山	37銭2厘(1升1合)の受取証。		状	1			
933	1173	Ⅱ 7	2月15日	記	○(丸の中に正の字) 酒店㊤(清水正蔵) ●千満寺	36銭(古酒3升)の受取証。		状	1			
934	1170	Ⅱ 7	4月18日	記	○中山口蔵㊤ ●(智満寺)	金42銭□□の受取証。		状	1			
935	1171	Ⅱ 7	9月28日	記	○駿・島5・大坂屋古着店 ●(智満寺)	金2円20銭(絹口残1疋)の請取証。		状	1			
936	1096	Ⅱ 7	11月18日	記(領収書)	○嶋田5丁目 清水屋:永蔵 ●千葉山	1.金2円50銭 まんじゅう2,000個、1. 金80銭 名物小まんじゅう等、1. 袋50枚、合金3円30銭 右の代金を受取る。		状	1			
937	1172	Ⅱ 7	記載なし	記	○島田1丁目:糒屋弥平㊤ ●(智満寺)	糒5斗 代金1円90銭の請取証。		状	1			
938	1233	Ⅱ 7	記載なし	口上	○見せ ●上	蓺代金50銭。		状	1			

分類:Ⅱ－8 経済・産業－金融

939	1007	Ⅱ 8	明治元年3月10日 (1868年)	売渡証	○掛川西大池ニセ川:石川口吉㊤ ●智満寺	掛川の石川氏が智満寺に物品を売却した際の売渡証。物品2品、合計金額44銭。		状	1			
940	340	Ⅱ 8	明治6年5月 (1873年)	本堂修復積立金控帳	○南向長吉㊤、岡村勘兵衛㊤、岩本孫平次㊤、岡本伊作㊤、坂田善作㊤ ●智満寺	はじめに、明治6年5月、元金4両2分とあり、以下、金銭の記載。(墨線にて抹消あり)		縦帳	1			
941	970	Ⅱ 8	(明治)11年9月24日 (1878年)	年季地等の戻りにつき	○天台宗大教支院㊤ ●智満寺住職:千葉昭如	年季地戻りにつき、元持主より返金有る場合、金員はいずれも寺院永続費にあてる事。		状	1			
942	1205	Ⅱ 8	明治14年3月19日 (1881年)	落札金請取證書	○同所:長尾豊蔵㊤ ●右講社虫 世話人	千葉山の内、字仲谷300番の地を、金50円にて落札した際の證書。		状	1			
943	969	Ⅱ 8	明治14年6月 (1881年)	後栄講方法書	○(智満寺) ●記載なし	はじめに、金400円 くじ数17本、金408円 集金高、金30円 大掛、施行1年2会とあり、第1会目会主第2会目よりくじにより落札。明治14年6月初会、以下、明治21年6月 17会目まで。		縦帳	1			
944	678	Ⅱ 8	明治14年7月 (1881年)	永続方法書	○智満寺住職:千葉昭如㊤、德音院住職:山本慈祐㊤ ●静岡安倍町 信徒惣代:野崎彦左衛門、野崎衛七	東光寺他4寺院への永続方法書にて、元金貸付金 計150円、この利子金25円也。	状5枚	綴り	1			

通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
945	696	Ⅱ 8	明治14年12月 (1881年)	金銭出納簿 明治14年12月ヨリ 明治15年 千葉納所控	○千葉納所 ●記載なし	千葉山智満寺における金銭出納簿にて、請取金 計14円50銭1厘、支出金 計28銭5厘。	10頁	横帳	1	
946	1001	Ⅱ 8	明治17年4月8日 (1884年)	講金請取証	○慶寿寺講世話人、住職:真田円真㊤ ●智満寺:長尾豊蔵、南向長吉	50円取講(明治17年4月2日立講)の講第9会目 金6円、大掛14分、仲間講の掛金請取。		状	1	
947	1155	Ⅱ 8	明治18年12月15日 (1885年)	証(領収書)	○大草村慶寿寺住職:真田象教㊤ ●千葉山智満寺住職:山村良快	慶寿寺の僧の真田住職が、智満寺住職山村良快に出した領収書である。講事につき長くご懇情になり、本人はもとより世話人一同幸せに存じ、近日中にお伺いし御礼を申したい。		状	1	
948	611	Ⅱ 8	明治19年12月25日 (1886年)	明治19年度諸費帳	○惣持院世話人 ●記載なし	惣持院に係る明治19年度の諸費帳にて、地券印税等 計金5円44銭5厘、ほかに立替金の利息として20銭がある。	2頁	横帳	1	
949	619	Ⅱ 8	明治19年12月25日 (1886年)	明治19年度 畑散田祠堂金取立帳	○惣持院世話人 ●記載なし	千葉山智満寺に係る、明治19年度の畑散田及び祠堂金利取立帳にて、計金5円28銭5厘となっている。	5頁	横帳	1	
950	1267	Ⅱ 8	明治19年 (1886年)	明治19年冬会智満寺納入金不足記	○講世話人:岡村貞蔵㊤、他に2名 ●智満寺	講掛金の請取。		状	1	
951	461	Ⅱ 8	明治20年7月 (1887年)	金員出入精算帳	○千葉山智満寺 世話人 ●記載なし	金銭出納帳にて、使用目的及び金額が明記され、その計として入金35円36銭7厘、支出44円24銭4厘、差引7円87銭7厘(8円87銭7厘 出金)とある。	5頁	横帳	1	
952	1287	Ⅱ 8	明治21年1月3日 (1888年)	受取之証	○講世話人:南向源三郎 ●智満寺	講金の受取証、金1円80銭5厘。右金額正に受取ったとある。		状	1	
953	545	Ⅱ 8	明治21年1月 (1888年)・子	金銭物品預立換記 明治21年1月 海老原律室	○記載なし ●記載なし	日付、金額とその内容が列記されている。 例として・12月21日 金20円 岡村一郎方より借用 22年1月16日返却 利金40銭相添 ・明治22年1月16日 金32円也 槻代金の内、櫻井外3名より受取、預る 等。	24頁	横半帳	1	
954	1286	Ⅱ 8	明治21年5月29日 (1888年)	講金受取証	○南向源三郎 ●智満寺	金1円56銭1厘5毛 斉藤講第11会目 右の金額正に受取ったとある。		状	1	
955	763	Ⅱ 8	明治21年旧暦12月25日 (1888年)	明治21年 畑散田祠堂金利子並ニ諸費	○智満寺 世話人 ●記載なし	智満寺に係る、畑散田並びに位牌堂の利子及び諸費にて、関係者氏名及び米、金額が列記されている。 例として・散田利子総計金6円87銭6厘5毛也 ・諸掛り差引計金2円96銭5厘5毛也。	6頁	横帳	1	
956	268	Ⅱ 8	明治22年1月16日 (1889年)	明治22年1月ヨリ 金穀其他貸借覚帳 海老原順海扣	○海老原順海 ●記載なし	貸金の額が氏名と共に記されている。例として ・寺岡伝蔵 2円 ・倉橋久右衛門 3円 ・岡村貞蔵 5円等。		横帳	1	
957	797	Ⅱ 8	明治22年1月 (1889年)・丑	明治22年1月 保存金出納月々調帳	○智満寺 ●記載なし	千葉山智満寺に係る保存金出納月々調帳にて、明治21年12月迄の寄金、差引43円79銭7厘也、ほか、明治22年2月28日精等請取金等の記述有り。	6頁	横帳	1	

通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
958	412	Ⅱ 8	明治22年1月 (1889年)	保存金貸付簿	○智満寺 ●記載なし	はじめに、貸付之定があり、以下、貸付金の一覧。末尾に大正12年11月24日の日付。		縦帳	1	
959	833	Ⅱ 8	明治22年3月9日 (1889年)	融通金	○記載なし ●記載なし	明治22年3月9日調書(収入、支出、融通金)。海老原氏の収入と支出の記録。 ・収入の明細と今後受取るべき金額、その合計44円5厘 ・消費の明細の記録その合計52円63銭 ・融通金 月日・代金額・氏名が記されており、その合計18円也とある。		横帳	1	
960	765	Ⅱ 8	明治22年3月 (1889年)	預之證	○智満寺住職:海老原順海 ●惣持院檀家総代	券状4葉、祠堂金貸付帳1冊、散田入付帳1冊、住職撰定の節は、早速返還すべき事。		状	1	
961	572	Ⅱ 8	明治23年7月12日 (1890年)	保存金利子取立帳	○志太郡大津村千葉:拝借金保存委員 ●記載なし	明治23年より大正9年迄の保存金利取立の書上げ。日付・金額・氏名等記載する。	25頁	横帳	1	
962	677	Ⅱ 8	明治23年12月 (1890年)・寅	明治23年 畑散田祠堂金利子取立并諸費記帳	○惣持堂世話人 ●記載なし	惣持院の畑散田及び位牌堂に係る利子並に諸費記載帳にて、氏名・金額が列記されている。 散田計金3円79銭5厘、利子計金8円58銭3厘5毛、諸懸金60銭。	6頁	横帳	1	
963	782	Ⅱ 8	明治24年12月25日 (1891年)・卯	明治23年 畑散田祠堂金利子取立并諸費記	○惣持院世話人 ●記載なし	散田金と祠堂金利子が記されている。	6頁	横帳	1	
964	1111	Ⅱ 8	明治24年 (1891年)	明治24年 保存金計算調書	○志太郡大津村千葉 智満寺住職:海老原順海㊤、檀家総代:岡村喜一郎㊤、岡本豊吉㊤、櫻井利平㊤ ●静岡県知事:時任為基	千葉山智満寺に係る、明治24年の保存金計算調書。保存金312円59銭7厘。収入額合金17円75銭5厘、支払額5円60銭、差引残高12円15銭5厘。		状	1	
965	603	Ⅱ 8	明治25年12月25日 (1892年)	畑散田祠堂金利子取立記	○惣持院世話人:岡本豊吉 ●記載なし	明治25年千葉山智満寺に係る、畑散田及び祠堂金についての利子取立記。新田記合金2円29銭5厘、利子記合金4円43銭8厘5毛、散田利子合金6円73銭3厘5毛、差引金6円16銭8厘5毛。	6頁	横帳	1	
966	612	Ⅱ 8	明治26年 (1893年)	預米并金之出入覚帳 智満寺会計課	○智満寺会計課 ●記載なし	明治26年より同30年迄の千葉山智満寺に係る、預り米、金の出入り覚帳。該当者の氏名、米の数量及び預り金の記載がある、合計の記述はない。	虫食いあり 20頁	横帳	1	
967	646	Ⅱ 8	明治27年12月25日 (1894年)	畑散田祠堂金利子取立記	○惣持院世話人 ●記載なし	利子の金額とその下に氏名が書かれている。	6頁	横帳	1	
968	764	Ⅱ 8	明治29年12月25日 (1896年)	畑散田祠堂金利子取立記	○岡本豊吉 ●惣持院世話人:増田銀作	散田金の金額や利子の支払い金額などが記されている。岡本豊吉氏がまとめ、世話人の増田銀作氏に提出したと思われる。	7頁	横帳	1	
969	923	Ⅱ 8	明治30年9月2日 (1897年)	為替領収書	○志太郡大津村千葉山 智満寺住職:望月慈円 ●滋賀県滋賀郡阪本村 比叡山天台宗宗務庁	金70銭の領収書。		状	1	
970	520	Ⅱ 8	明治32年7月8日 (1899年)	惣持院祠堂金利子取立帳 智満寺世話人	○智満寺世話人 ●記載なし	祠堂金利子の金額や氏名が記されている。	11頁	横帳	1	

通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
971	620	Ⅱ 8	明治33年7月13日 (1900年)	惣持院祠堂金利子取立帳	○智満寺世話人 ●記載なし	惣持院が各人(24名)に貸付けた、利子の取立を記した帳面。	2頁	横帳	1	
972	370	Ⅱ 8	明治36年7月14日 (1903年)	惣持院祠堂金利子取立帳	○智満寺世話人 ●記載なし	はじめに、明治35年7月より、同36年6月迄の1年の利子として金 銭7厘 川村清右衛門とあり、以下、利子・姓名を記す。これに、明 治35年分の横帳を綴る。		横帳	1	
973	604	Ⅱ 8	明治38年7月20日 (1905年)	惣持院祠堂金利子取立帳 智満寺収入部	○千葉山智満寺収入部 ●記載なし	千葉山智満寺に係る、明治37年7月より同38年6月までの1ヶ年 にわたる祠堂金利子取立帳にて、14人分、合金8円97銭9厘也。		横帳	1	
974	694	Ⅱ 8	明治41年7月24日 (1908年)	惣持院祠堂金利子取立帳 智満寺	○智満寺収入部 ●記載なし	明治40年7月から同41年6月まで、1ヶ年利子惣計金13円10銭8 厘、不足金11円92銭5厘。	3頁	横帳	1	
975	645	Ⅱ 8	明治42年7月15日 (1909年)	惣持院祠堂金利子取立帳 智満寺収入部	○惣持院収入部 ●記載なし	利子の金額とその下に氏名が書かれている。	10頁	横帳	1	
976	632	Ⅱ 8	明治43年7月21日 (1910年)	惣持院祠堂金利子取立帳	○惣持院会計課 ●記載なし	祠堂金利子の金額や氏名が記されている。他に智満寺畑散田取 立帳が綴られている。	8頁	横帳	1	
977	846	Ⅱ 8	明治43年12月1日 (1910年)	證	○南向長吉 ●千葉昭如、桜居太三郎、萩原八十衆	園江氏の願金の内、13円50銭を請取。		状	1	
978	670	Ⅱ 8	明治44年7月15日 (1911年)	惣持院祠堂金利子取立帳	○惣持院会計 ●記載なし	明治43年7月より同44年6月迄の1ヶ年の利息として、鈴木平吉を 始め8名の金額が記されている。合計金額13円61銭の内、寄附 金3円28銭とある。その他、惣持院畑散田取立帳、智満寺畑散田 取立帳を綴る。		横帳	1	
979	1028	Ⅱ 8	(明治)2月20日 ・亥	記	○落合村:広田安左衛門@ ●千葉山智満寺	金85円の内、金45円を内金として受取る。金子の内容は不明。		状	1	
980	922	Ⅱ 8	(明治)3月5日	記	○五郎左衛門@ ●千葉村千満寺	金40円、内金20円、南向長吉より請取。	虫損甚大	状	1	
981	1259	Ⅱ 8	(明治)5月5日	大師講加入人名	○講世話人:岡村貞蔵、他に3名 ●各位	旧暦で記す。5月8日会合、午後7時頃智満寺へ出席願う。岡村 貞蔵他32名を列記。		状	1	
982	855	Ⅱ 8	(明治)5月30日	記	○島田駅:酒井佐右衛門 ●南向長吉	金50円、請取、包紙入り。	包紙入り	状	1	
983	845	Ⅱ 8	(明治)8月20日	記	○南向長吉@ ●智満寺	金3円、請取。		状	1	

通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
984	78	Ⅱ 8	(明治)	記	○(講員) ●記載なし	はじめに、講の総則、3条までの記載。後半に講員37名の加入口数・氏名を列記する。	15頁	縦帳	1	
985	1363	Ⅱ 8	記載なし	(明治時代の領収書)	○記載なし ●記載なし	明治時代の金銭、通運物等の領収証を一括。		綴り・状	一括	
986	647	Ⅱ 8	大正2年1月1日 (1913年)	貸出扣帳	○記載なし ●記載なし	金銭や玄米等の文字がみえる。	10頁	横帳	1	
987	524	Ⅱ 8	大正2年7月4日 (1913年)	惣持院祠堂金利子取立帳	○惣持院会計部 ●記載なし	11人の氏名と金額が書かれている。。	3頁	横帳	1	
988	319	Ⅱ 8	大正3年1月20日 (1914年)	貸附帳	○智満寺 ●記載なし	大正3年2月20日の金銭貸付の記載をはじめ、以下、同9年1月までの記録。		縦帳	1	
989	464	Ⅱ 8	大正8年7月20日 (1919年)	惣持院祠堂金利子取立帳	○惣持院会計部 ●記載なし	祠堂金利子の金額や氏名が書かれている。	4頁	横帳	1	
990	769	Ⅱ 8	大正9年7月19日 (1920年)	惣持院祠堂金利子取立帳	○惣持院会計部 ●記載なし	祠堂金利子の取立の記録。	3頁	横帳	1	
991	767	Ⅱ 8	大正10年7月22日 (1921年)	惣持院祠堂金利子取立帳	○惣持院会計部 ●記載なし	大正9年7月より同10年6月迄の1ヶ年の利息が人名と共に記され、又未納金についても書かれている。最後に計金10円8銭7厘、内寄金3円28銭5厘とある。	3頁	横帳	1	
992	768	Ⅱ 8	大正11年7月17日 (1922年)	惣持院祠堂金利子取立帳	○惣持院会計部 ●記載なし	各人々の祠堂金利子の金額が記されている。	3頁	横帳	1	
993	584	Ⅱ 8	大正12年7月17日 (1923年)	惣持院祠堂金利子取立帳	○惣持院会計部 ●記載なし	大正11年7月より12年6月迄の利息取立と、大正3年以降畑散田未納の貸付金と利子の記録。	3頁	横帳	1	
994	780	Ⅱ 8	大正14年7月21日 (1925年)	惣持院祠堂金利子取立帳	○惣持院会計部 ●記載なし	千葉山智満寺に係る、位牌堂金利息取立帳にて、大正13年7月より同14年6月迄の1ヶ年利息、合計金13円56銭也、内入金合計6円3銭也、とある。	3頁	横帳	1	
995	988	Ⅱ 8	昭和18年8月28日 (1943年)	立木売買契約証書	○売主 知満寺住職:北川慈映㊤ ●買主 静岡県木材株式会社 島田出張所所長:平口熊吉㊤	智満寺の立木122本を、県木材会社に売却した際の契約書。売却代金1,350円を2回に分けて支払う。追補責任 大津村森林組合組合長理事 谷坂建次㊤。		状	1	
996	986	Ⅱ 8	昭和19年8月30日 (1944年)	立木売買契約証書	○売主 静岡県志太郡大津村千葉山 北川慈映㊤ ●買主 静岡県木材株式会社 島田出張所 加藤益蔵㊤	立木639本(杉16本、桧623本)を県木材株式会社に売却した際の契約書。売却代金1,880円を2回に分けて支払う。搬出期限は、昭和20年3月末日とする。		状	1	
997	1078	Ⅱ 8	昭和23年12月5日 (1948年)	為替料(領収書)	○島田郵便局㊤ ●記載なし	為替金額、金80銭の領収の證書。		状	1	

										No.78		
通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号		
998	989	Ⅱ 8	昭和25年4月5日 (1950年)	売買契約書	○売主 志太郡大津村千葉 智満寺 ●買主 志太郡大津村落合 大津木材株式会社	智満寺の所有する立木55本を大津木材株式会社に売却した際の契約書。代金は10万円を3回に分けて支払う、①契約金4月5日2万円 ②伐採開始4月10日3万円 ③搬出時5万円。		状	1			
999	1217	Ⅱ 8	13年12月2日	證	○寺□長吉㊤ ●千葉昭如	請取證。右正ニ請取候處実正也、とある。		状	1			
1000	1288	Ⅱ 8	8月12日	記	○記載なし ●記載なし	領収書。・金43銭 せんこう1箱、・6銭 さらし5丈・・・合金70銭等。		状	1			
1001	1289	Ⅱ 8	8月24日	記	○杉村屋末吉 ●新田町正才	領収書。合金1円50銭 右正ニ請取候也、とある。		状	1			
1002	1285	Ⅱ 8	9月23日	記	○駿河国島田:松村□□ ●記載なし	領収書。・金478銭 右正ニ請取申候也、とある。		状	1			
1003	1207	Ⅱ 8	11月 ・戌	覚	○落合村:廣田五郎左衛門㊤ ●千葉山千満寺	金70円也 利金5円25銭、戌5月□日 内金15円受取、金55円 利金4円12銭5厘、利金合9円37銭5厘受取る。		状	1			
1004	1290	Ⅱ 8	12月19日	記	○記載なし ●千葉村先生	領収書。金52銭の金額が記載される。		状	1			
1005	861	Ⅱ 8	記載なし	総則	○斉藤伊三郎、南向長吉 ●記載なし	掛金の総則として、掛金は必ず会の日持参して世話人に渡す事、等の総則を定め、初会から17会にわたりその額がある。他1通あり。		綴り	1			
1006	1362	Ⅱ 8	記載なし	記	○記載なし ●記載なし	明治時代以降の記。	205枚	状	一括			
1007	1361	Ⅱ 8	記載なし	覚	○記載なし ●記載なし	明治以降の覚。	34枚	状	一括			

1008	729	Ⅱ 9	明治17年8月5日 (1884年)	通運物受取證	○(依頼人)智満寺 内邦通運会社島田分社 ●名古屋桶や丁3丁目:山邦文八	箱1ツ、名古屋山邦氏へ送る。他に、明治18年7月4日の受取證あり。		状	1			
1009	727	Ⅱ 9	(明治)12月	封筒	○東京芝大教院天台宗務局 ●志田郡千葉村智満寺	智満寺宛の封筒、中身無し。		状	1			
1010	1115	Ⅱ 9	10月29日	(速達便で五円送金に付)	○記載なし ●智満寺主	先般、両度の通運物を落手しました。ついては、去月30日に金5円を速達便にて但しりましたが落手したでしょうか、若し未達ならば島田通運者で取調べ下さい、その後の記帳は左の通り・・・とある。		状	1			

通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
1011	798	Ⅱ 10	明治17年12月14日 (1884年)	(伐取木材代金)	○記載なし ●記載なし	木材の金額と角幅の寸法が記されている。	8頁	横 帳	1	
1012	1346	Ⅱ 10	(明治)	智満寺本坊新築記	○工事負担人:寺岡傳藏、岩本藤次良 ●(智満寺)	新築諸資金1円86銭、他、縄代・桶屋払い・木挽代、等合計24円20銭余とある。		状	1	
1013	1003	Ⅱ 10	昭和13年3月23日 (1938年)	立木伐採許可指令書送付	○志太郡大津村村長:曾根忠治◎ ●智満寺	寺有林内の立木伐採許可指令書を送付。		状	1	
1014	997	Ⅱ 10	昭和22年3月15日 (1947年)	山林立木売買契約書	○大津村千葉ニ 智満寺住職 売主:北川慈映◎ ●大津村製材所 買主:増本金太郎◎	立木杉175本、170石、金16,900円。搬出は昭和23年3月10日了。		状	1	
1015	755	Ⅱ 10	昭和25年3月31日 (1950年)	仮領収証	○星野隆◎ ●智満寺	金1,650円(瓦職賃金)の、仮領収証。		状	1	
1016	1013	Ⅱ 10	12月4日	石屋手傳	○山田金一◎ ●記載なし	「4人工・1,200円」とある。		状	1	
1017	756	Ⅱ 10	記載なし	記	○島田市大井町:細田嘉一郎 ●北川	瓦職人2名分、1,100円領収。		状	1	

分類:Ⅲ－5 社会・労働－社会事業

1018	471	Ⅲ 5	明治12年6月18日 (1879年)	上地山林御払下ヶ願	○志太郡千葉山 小前惣代:寺岡伝藏、他3名 ●内務権大書記官 山林局長:櫻井勉	智満寺旧境内に往古より居住し、山稼ぎにより生計をたてるも貧困にてこれを救済するため、先の東海道宇津之谷トンネル及び安倍川橋修繕木等の払下げの残木、地所相当代価を以て払下げ下さるようにとの願書。		綴 り	1	
------	-----	--------	-----------------------	-----------	--	--	--	--------	---	--

分類:Ⅲ－6 社会・労働－医療・衛生・救恤

1019	543	Ⅲ 6	明治9年1月19日 (1876年)	死亡御届	○記載なし ●記載なし	明治4年から8年頃までの死亡届。天然痘で死亡した人も4人程見られる。		綴 り	1	
1020	967	Ⅲ 6	明治17年2月8日 (1884年)	(処方箋)	○島田病院(薬価領収印) ●千葉山智満寺住職:山村良快	37年(年令)とある、薬価領収は同年6月19日と記す。5月8日内服3日分、金15銭。同16日分同様。		状	1	

分類:Ⅲ－7 社会・労働－災害

1021	1185	Ⅲ 7	明治3年10月5日 (1870年)	一時斗	○葉梨 安楽寺 義勝◎ ●智満寺役人中	震災の節、土蔵から出火したが、焼けた絵画は取集めて修復した、とある。		状	1	
1022	720	Ⅲ 7	明治16年2月22日 (1883年)	現境内伐木願書 他	○志太郡千葉山智満寺住職・小講義:山村良快◎、右寺壇中惣代:桜井利平◎、他2名◎ ●静岡県令:大迫貞清	智満寺の諸堂の修繕には従来から、千葉山の立木を使用してきたが、先般官有林となり暴風の節は本堂方へ倒れる恐れもあることから、境内の杉木8本を伐採したいとする願書。この願について2本に限り可となり、苗木の植栽は□事する事となる。他に・智満寺本堂並自□修繕仕様書・修繕堂宇並入費記・志太郡智満寺現境内立木総数取調がある。		綴 り	1	

分類:Ⅲ-8 社会・労働-世相・民情

										No.80		
通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号		
1023	616	Ⅲ 8	明治8年1月2日 (1875年)	指入置申一札之事	○当人戸主:鈴木平作、弟 鈴木栄吉、親類:福島友平、組合:岩本藤蔵 ●惣持院住職:千葉常昭	栄吉は伊久美村中平組長、サカベ半蔵方に奉公出たが乱心の上、鉄砲で自殺した。依って常昭様に引導を渡して欲しい。自殺に間違いないが葬送したい、今後迷惑を掛けないので引導を渡して下さいます様、連印にて一札指入置する、とある。		状	1			
1024	771	Ⅲ 8	明治10年6月3日 (1877年)・丑	指上置申一札之事	○岡村繁蔵㊤、組合:岡村平四郎㊤、親類:青山岡右衛門 ●惣持院兼千葉昭如	岡村繁蔵次男 亀次郎、当年6月1日夜、伊太村 和寿平女房はまの2人、大井川入水し遠州大日村地内に流行き、情死、引導下されたい、とある。	包紙入れ	状	1			
1025	421	Ⅲ 8	明治21年 (1888年)	諸器械帳簿 明治21年10月改	○千葉山智満寺執事 ●記載なし	食事に係る食器類を始め、多岐にわたる器具及びその数量が明記されている。他に「諸道具扣覚帳」明治16年1月31日改がある。		横帳	1			
1026	305	Ⅲ 8	明治25年1月 (1892年)	村中歳暮持参人名記	○智満寺用所 ●記載なし	はじめに、「白米5合 岡本伊作」とある。以下、同様の記載。白米の他に野菜・揚げ・こぶ・金銭等、物品が多彩にある。		横半帳	1			
1027	1031	Ⅲ 8	明治31年7月 (1898年)	常総□□招記	○記載なし ●記載なし	吾人ノ主義 木内伊之助 様々に移れば変わる浮世かな。19世紀の魔力は火と鉄と電気 で、従来の組織を破碎し去りて新たに一生面を開かんとす。・・・ 上記の如く社会のあり方を「吾人ノ主義」という思想で書き残した 主義主張。	13頁	横半帳	1			
1028	1082	Ⅲ 8	(明治)長月5日	記	○仕立屋 ●上	金19銭5厘 つむき着物仕立代、金5銭 きぬ糸、他に、43銭 染代他。		状	1			
1029	1263	Ⅲ 8	(明治)	旅人宿報告	○桜田隆道 ●(智満寺)	志太郡藤枝町旅人宿、桑原孫右衛門方。		状	1			

1030	502	Ⅳ 1	明治12年6月18日 (1879年)年3月	学校維持歎願願御依頼書	○静岡県下志太郡 千葉山村民以下35名 ●落合村 岡村宗次郎 他35名	教員少なくとも、永続教員少なくとも閉校などいたさぬ様、工夫いたされたい。この段、お願い申し上げる。	5頁	綴り	1	
1031	1294	Ⅳ 1	昭和22年3月1日 (1947年)	社第八十二号(委嘱状)	○静岡県知事 ●社会教育委員	社会教育の刷新振興を図る為、社会教育委員を設置して新時代に・・・、とある。		状	1	
1032	1042	Ⅳ 1	(昭和)	記載心得	○記載なし ●記載なし	申告書記載につき心得を簡条に記す。法人云々とあり、宗教法人としての申告の心得か。		状	1	

1033	776	Ⅳ 2	昭和22年3月1日 (1947年)	(委嘱状)	○静岡県 ●北川慈映	静岡県志太郡大津村社会教育委員を委嘱する。		状	1	
------	-----	--------	----------------------	-------	---------------	-----------------------	--	---	---	--

1034	703	Ⅳ 3	明治2年3月 (1869年)・己巳	一宗布告	○三御門宝 延暦寺執事:行光坊大僧都 ●駿河国天台宗諸寺院	駿河の国の、天台宗諸寺院への回状。		綴り	1	
1035	716	Ⅳ 3	明治3年 (1870年)・庚午	覚 明治2年(己巳)太政官	○管領執事 ●駿河国天台宗諸寺院	明治政府から天台宗諸寺院への御達。天台宗はこれまで、比叡山・東叡山・日光山にて管轄していたが、今後は東叡山・日光山の2山は外され、すべて比叡山の管轄になった等の諸寺管轄について記載されている。	4頁	綴り	1	
1036	417	Ⅳ 3	明治3年 (1870年)・庚午	何宗何派本末寺名帳	○触頭 ●記載なし	書類書付のヒナ型。		竖帳	1	

No.81										
通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
1037	1083	Ⅳ 3	明治5年10月1日 (1872年)	記	○東叡山内 宗務出張庁㊤ ●千葉山智満寺	大教院建築に付いて、金2円を確かに受取った書。他に3件有り。		状	一括	
1038	233	Ⅳ 3	明治5年10月 (1872年)・申	大教院並総饗勸財之意得 附諸書付	○(青龍院 亮常、浄名院 智永) ●(各地方代表寺院)	冒頭に教則3章を掲げ、その旨を心得べしとのこと、最後に永久補助金の請書(組合惣代・東光寺他6ヶ寺)を載せている。		綴り	1	
1039	975	Ⅳ 3	明治6年9月 (1873年)	回達	○会行事 晃順㊤、執行代 観達㊤ ●駿州志太郡千葉山智満寺 天台宗法寺院	大会執行に付、国内諸寺院へ洩れなく通達すること。明治7年1月の天台宗務庁よりの通達を付す。この他別紙の達(番外・第1号・同2号・同3号)あり。	封筒入り	状	2	
1040	722	Ⅳ 3	明治6年11月29日 (1873年)	教導職選挙規程	○大教院 ●(智満寺)	教導職の選挙につき、大教院より通達。	虫損甚大	状	1	
1041	636	Ⅳ 3	明治6年12月 (1873年)	(通達)	○宗務庁㊤ ●千葉山智満寺	比叡山の用箋、一宗教議事務取扱いにつき達。他に明治11年9月4日、天台宗大教支院より千葉昭如宛の通達書。他、書状が1通。	封筒入り	状	3	
1042	873	Ⅳ 3	明治6年12月 (1873年)	奉歎願候書付	○智満寺住職:千葉昭如㊤ ●宗務御出張御方	今般、教導取締を仰せ付けられたが、極山中であり、足痛も患っているので取締役を辞退したいとの歎願書。		状	1	
1043	499	Ⅳ 3	明治6年 (1873年)	御布告留記3 明治6年9月14 日より	○千葉山浄利院智満寺 院代 ●記載なし	宗務庁より出された布告を県下の諸寺社に伝達し、その趣旨の徹底を計るための留記。太政大臣三条実美の「官史犯公罪條例」を始め、教義事務取締りの文言が示され、そのための教義内容が記されている。	40頁	綴り	1	
1044	881	Ⅳ 3	明治7年1月9日 (1874年)	(猥りに配札、勸財の所業 に及ぶべからざるの事)	○教部大輔:宍戸 ●神道諸宗管長	近来、神社造営などの名のもとに、猥に配札や勸財などの所業に及ぶ者があるとの事を耳にする。これは布教にも差支え、政治の障害にもなる。心得違いの者が無い様に、社中において嚴重に取締るよう通達する。他に、教導職関係の書状あり。		状	2	
1045	879	Ⅳ 3	明治7年1月9日 (1874年)	第4號	○大教院 ●神道・諸宗教導職	金1,500円也 これは今般、大講堂と神殿の焼失に付き、教部省より寄附された。	番外が1枚有り	状	1	
1046	837	Ⅳ 3	明治7年1月13日 (1874年)・甲戌	御教憲 三章	○駿河国益津郡花澤区 法華寺住職・教導職試補:山村良快 ●静岡 中教院	御教憲3章 「第1条 敬神愛国ノ旨ヲ體スヘキ事、天理人道ヲ明ニスヘキ事、皇上奉戴シ朝旨ヲ遵守セシムヘキ事」3本柱についての詳細な内容が記されている。		綴り	1	
1047	1065	Ⅳ 3	明治7年2月3日 (1874年)	大教院通達	○諸宗管長総代 大教正:細谷環溪、神道管長総代 大教正:三條西季□ ●神道諸宗教導職	明治7年1月31日布達第6号につき通達、今般大講堂焼失により、ヒナ型により4月を限り差出、諸伺書などの取扱い。	虫損甚大	堅帳	1	
1048	943	Ⅳ 3	明治7年2月7日 (1874年)	回達	○比叡山 ●教導取締	比叡山の回達。各府県下の寺院の取調べをする事、本末寺名を詳細に書いて差出す事。現在の諸寺を洩らす事の無い様に取調べ、国郡村寺名、苗字、実名を認め、無住の寺は・・・とある。	3頁	綴り	1	
1049	724	Ⅳ 3	明治7年3月5日 (1874年)	触	○天台宗務庁㊤ ●智満寺	比叡山宗務庁よりの触。虫損甚大により内容不明、以下、明治7年2月3日、同5日、同13日、明治6年4月23日、明治7年1月20日、同2月の大教院よりの諸通達を綴る。	虫損甚大	綴り	1	

通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
1050	726	Ⅳ 3	明治7年3月15日 (1874年)	諸講社につき達	○大教 ●智満寺	第11・12・13号の綴り。		綴り	1	
1051	408	Ⅳ 3	明治7年3月 (1874年)	開創年歴僧履歴并境内地 取調帳	○駿河国志太郡北方村 安楽寺寺中常楽坊 ●記載なし	常楽坊の創立、第11世山寺智広の履歴等を記す。		縦帳	1	
1052	1137	Ⅳ 3	明治7年4月28日 (1874年)	達書乙第9号	○教部大輔:宍戸璣 ●諸宗管長	説教許可につき、今後試補以上とする。以下、達書乙第12号を のせる、浜松、静岡県は第2大区とある。		状	1	
1053	723	Ⅳ 3	明治7年4月 (1874年)	教導職試補等につき	○宗務庁㊤ ●智満寺	比叡山宗務庁よりの通達。	虫損甚大	縦帳	1	
1054	537	Ⅳ 3	明治7年8月5日 (1874年)	(達書送付)	○天台宗宗務庁㊤ ●静岡県下駿河国志田郡千葉山 智満寺	教部省達を受け、宗務局が各寺院宛達したもの。達書31号に、 府県教導職試補以上を寺院住職とする旨、記しあり。		縦帳	1	
1055	829	Ⅳ 3	明治7年9月2日 (1874年)	現境内伐木之義ニ付願書	○第6・7大工区長:瀧川元起 ●静岡県令:大迫貞清	杉木4本の大木を売却して、本堂の修理代金にする為の伐木願 い。	2頁	綴り	1	
1056	904	Ⅳ 3	明治7年9月3日 (1874年)	達書□第四三號	○教部少輔:黒田清綱 ●神道諸宗管長	教導職より、神道各宗宛の達書。この件につき本日協議に及ば ないところあり、それぞれその案の教導取締りの者は、直ちに地 方庁と協議し報告の事。奥書きあり		状	1	
1057	538	Ⅳ 3	明治7年10月 (1874年)	(当宗管長の儀につき)	○天台宗務局㊤ ●静岡県下教導職取締	管長についての選出につき達。これに関連する依頼書等、封筒 入り。封筒表書に「静岡県下駿州阿部郡静岡県社浅間神社内 中教院詰 天台宗取締中大教院」とある。		状	1	
1058	956	Ⅳ 3	(明治)7年11月1日 (1874年)	別紙四通 通達之件	○天台宗務庁㊤ ●千葉山智満寺	別紙略の記載なく、不明であるが、管内の天台宗寺院に洩れなく 通知せよとある。		状	1	
1059	951	Ⅳ 3	明治7年 (1874年)	雛形	○該当寺院 ●管長	元寺禄、寺院付田畑、山林につき取りまとめのヒナ型、添簡案内 触頭又は取締寺院名・印。		状	1	
1060	1087	Ⅳ 3	明治8年2月12日 (1875年)	記	○東叡山寛永寺 幹事 ●駿州志太郡千葉山 智満寺	寛永寺本堂再建の為、金1円(本高金10円の内)の喜捨金、その 受取書。		状	1	
1061	1063	Ⅳ 3	明治8年4月15日 (1875年)	宗内達書第一号	○大教院詰 諸宗管長 ●各宗教導取締、各宗宗務支局	各宗専門学舎創立につき達。		状	1	
1062	635	Ⅳ 3	明治8年4月19日 (1875年)	(免状)	○智満寺 住職:千葉昭如 ●管長 権大教正:赤松光映	願により、一宗教導取締を免ぜられる。	破損甚大	状	1	
1063	800	Ⅳ 3	(明治)8年4月19日 (1875年)	(教導取締に付)	○天台宗務局㊤ ●智満寺 住職:千葉昭如	この度、教導取締、別紙内容を以て免ぜられた。このこと了承くだ されたい。		状	1	

通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
1064	637	Ⅳ 3	明治8年5月30日 (1875年)	(梵鐘・半鐘猥りに撞くことの禁止に付)	○第6・7大区正副戸長 ●千葉山智満寺 住職:千葉昭如	各諸寺院の梵鐘・半鐘を猥りに撞打のことは、一切差し止めるよう先般達したが、仏事所用に限り規則を整えた上で願い出れば、詮議の上許可もあり得るので、諸寺院に伝達願いたい。	上包あり	状	1	
1065	1206	Ⅳ 3	明治8年6月 (1875年)	(住職御免願)	○第6大区11小区 志太郡千葉山 惣持院住職:千葉常昭、右戸長 ●静岡県権令:大迫貞清	拙僧、近来病身になり寺務が勤めがたくなったので、住職を御免願いたい。		状	1	
1066	773	Ⅳ 3	明治8年8月12日 (1875年)	記 源助村	○右村戸長:井鍋清右衛門 ●千葉山惣持院御役僧	遠江国第3大区12小区榛原郡源助村1,153番地、農 鈴木市蔵母ちう、明治8年8月 右の者11日午前4時死亡届出あり、依って今日12日午後1時埋葬、御執行方御出張ねがう、とあり。		状	1	
1067	993	Ⅳ 3	明治8年8月20日 (1875年)	記(埋葬)	○井鍋清右衛門㊞ ●惣持院御役僧	源助村の者が死亡したので、埋葬の執行を願出た書類。		状	1	
1068	433	Ⅳ 3	明治8年12月 (1875年)	祠堂金利足 畑年貢散田取立帳	○千葉山惣持院 ●記載なし	畑年貢散田取立米23人分 計金1両3朱と217文、祠堂金利息取立17人分 計金2両2分と5貫478文、米利分 計金4両1分と38文、他に諸入用金がある。	7頁	横帳	1	
1069	1046	Ⅳ 3	明治8年 (1875年)	本堂屋根修口費簿	○智満寺 ●記載なし	本堂屋根修復経費簿と思われるが、虫食いの欠所が多く詳細は不明。明治8年10月 4円41銭、同9年10月20日 金20円也とあるので、明治初期の本堂屋根の修復と考えられる。	虫喰いの欠所が多い	横帳	1	
1070	839	Ⅳ 3	明治9年2月吉日 (1876年)・子	千葉山観音堂屋根替御寄進簿 明治九子年二月吉日	○大草村世話人:堀江園次郎 ●記載なし	観音堂の屋根替寄進者46名の名前と金額が記されている。計1円28銭9厘、他に縄5房等。	虫喰い多し 4頁	綴り	1	
1071	762	Ⅳ 3	明治9年2月 (1876年)	千葉山観音堂屋根替寄附帳 明治9年2月 千葉山	○島田宿宮小路中、他 ●千葉山御世話人中	寄附者名と金額が列記されている。・金30銭 桜井邨蔵、・金1円 増野弥三七 等、合金2円50銭6厘、他に2冊あり。		豎帳	3	
1072	830	Ⅳ 3	明治9年2月 (1876年)	千葉山観音堂屋根替寄附帳	○千葉山 ●御世話人中	寄附者名と金額が記載されている。寄附者人数50名(村中)、寄附金合計10貫190文。	虫喰い多し 6頁	綴り	1	
1073	501	Ⅳ 3	明治9年2月 (1876年)	明治9年2月 千葉山観音堂屋根替寄附帳 御世話人中様 写 済 張出済	○千葉山 ●世話人	観音堂屋根替えの為の寄附帳、杉山伊七、他10人の名前が記される。		綴り	1	
1074	973	Ⅳ 3	明治9年10月4日 (1876年)	教導職試補につき(宗第21号)	○天台宗管長代理 □教正:唯我□□ 東京芝大教院(封書指出) ●駿河国志田郡千葉山智満寺	宗第21号通達及びヒナ型等、封筒入り、明治9年9月14日通達あり。		状	1	
1075	500	Ⅳ 3	明治9年10月 (1876年)・子	一札誓約書	○千葉山伐木主:坂田善吉㊞、他に5名 ●智満寺	断り無く境外諸材を伐り、境内立木を打砕き境内を乱した、この罪に対しゆるされる。謝罪と今後の誓約の証とする。		状	1	
1076	808	Ⅳ 3	明治9年10月 (1876年)	教導誓約並保証書	○静岡県平民駿河国志太郡千葉山12番地居住岡村勘兵衛付籍、同国同郡同山智満寺住職:千葉昭如、保証人2名 ●天台宗管長 権大教正:赤松光映	明治6年1月19日教導職試補につき誓約。	2頁	状	1	

通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
1077	533	Ⅳ 3	明治10年2月 (1877年)	上納金通	○大草村 ●智満寺	明治9年8月22日より同16年3月25日までの、大草村より智満寺への上納金通帳にて、上納者名及び上納金がそれぞれ記載されている。	12頁	横半帳	1	
1078	916	Ⅳ 3	明治10年3月15日 (1877年)・丑	合寺之儀ニ付願 楞嚴院	○志太郡千葉山智満寺:千葉昭如、静岡北方出安東寺:山寺亮口、楞嚴院壇方惣代:岡村勘兵衛、戸長:宗包一郎 ●静岡県令:大迫貞清	天台宗楞嚴院については無檀家無住にて、維持が困難の為、今後永続出来難い事から一同協議の上、本寺智満寺に合寺したいとし、寺名の廃止、境内の土地並び建物等の図書を添えての願書。	虫喰い	綴り	1	
1079	955	Ⅳ 3	明治10年6月7日 (1877年)	天台宗楞嚴院廃寺につき	○静岡県庁11小区事務所㊤ ●千葉山:岡村勘蔵	天台宗楞嚴院廃寺につき、跡地の仏像・建物・什器の処分方、去る4月10日迄に申出達のところ、不申出差支えにより至急申出のこと。		状	1	
1080	1022	Ⅳ 3	明治10年6月19日 (1877年)	楞嚴院堂宇建物仏像什器につき	○静岡県 ●第6大区区長	楞嚴院堂宇外、11小区千葉山智満寺へ合附の事。		状	1	
1081	1088	Ⅳ 3	明治10年6月19日 (1877年)	楞嚴寺建物等智満寺会付につき	○第6区11小区駿河国志太郡千葉山 天台宗楞嚴寺 ●静岡県	楞嚴寺堂宇外什器は総て智満寺へ会付、地所は調査都合上、別紙による。		状	1	
1082	820	Ⅳ 3	明治10年7月30日 (1877年)	死亡届	○遠江国第10大区21小区榛原郡源助村 副戸長:内藤三右衛門㊤ ●駿河国志太郡千葉村	榛原郡源助村 平民農 内藤仁左衛門の死亡届に対する、埋葬の許可証。		状	1	
1083	842	Ⅳ 3	明治10年11月 (1877年)	現境内伐木願書	○智満寺住職:千葉昭如、小前惣代:南向長吉、村用掛:岡村勘兵衛 ●静岡県令:大迫貞清	杉木1本(目通1丈4尺6寸、枝下7間)、上記と同様の杉木4本合計5本の伐木願い。堂宇などの修理の為、5本の杉木を伐木してその代価で修理を続けたい旨の文言あり。		綴り	1	
1084	831	Ⅳ 3	明治11年4月 (1878年)	現境内伐木願書	○智満寺住職:千葉昭如、小前惣代:南向長吉、村用掛:岡村勘兵衛 ●静岡県令:大迫貞清	杉木の太木5本を伐木して本堂の修繕代とする為の伐木願書。副区長 安間城一郎㊤と同じく横山市印治㊤の奥書がある。		綴り	1	
1085	623	Ⅳ 3	明治11年5月29日 (1878年)	第六七大区区長	○静岡県11小区事務所㊤ ●千葉山 岡村勘兵衛	区内の什物取調べの為、下山良太郎を出張させる、差支えの無い様取調べて欲しい。細かい事は同人より通知致します。		状	1	
1086	870	Ⅳ 3	明治11年5月 (1878年)	地藏堂合附願	○智満寺住職:千葉昭如㊤、東光寺村住職:池澤寛啓㊤、総代:岡村勘兵衛㊤ ●静岡県令:大迫貞清	地藏堂が大破したので再建出来る迄、本堂に合附したいとの願主。戸長、副区長の奥書がある。		状	1	
1087	1187	Ⅳ 3	明治11年9月12日 (1878年)	證	○東叡山寛永寺幹事㊤ ●千葉山智満寺 昭如	中堂再建の喜捨金10円の領収書。	虫喰いあり	状	1	
1088	1112	Ⅳ 3	明治12年5月24日 (1879年)	記	○上野恵明堂 執事㊤ ●智満寺 昭如	祠堂舎の喜捨金50円を受納した、然る上は姓名等を記載のうえ御祈祷する。		状	1	
1089	752	Ⅳ 3	明治12年8月30日 (1879年)	駿河国志太郡千葉村 天台宗智満寺寶物古文書目録	○千葉山天台宗智満寺 住職:千葉昭如㊤、智満寺檀家惣代:桜井利平㊤、岡本伊作㊤、戸長:南向長吉㊤ ●記載なし	智満寺古文書目録として縁起書をはじめ、豊臣秀吉公朱印、源頼朝公御教書、東照宮竹木禁伐御制札、掛物、軍扇、具足など18点が記載されている。	5頁	豎帳	1	DVD4

No.85										
通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
1090	360	Ⅳ 3	明治12年10月 (1879年)	静岡県駿河国志太郡千葉山字西 谷 智満寺中天台宗惣持院	○代印:千葉昭如㊤、右村檀家惣代:坂田善作 ㊤、今川宇平㊤、南向長吉 ●記載なし	最後のページに略絵図がある、奥書きあり。寺明細調べ。		綴 り	1	
1091	934	Ⅳ 3	明治12年10月 (1879年)	天台宗智満寺 奥之院	○智満寺住職:千葉昭如㊤、村戸長:南向長吉㊤ ●記載なし	本尊阿修羅坊、由緒不詳、建物間数一間半四方などと書かれて いる。奥之院の絵図有り。		綴 り	1	DVD4
1092	871	Ⅳ 3	(明治)12年12月12日 (1879年)	貴僧退院につき	○東京上野桜木町 青龍院 ●静岡県駿河国志太郡島田駅在 千葉山智満寺 住職:千葉昭如	退院についてそのやりとり。	封筒入り	状	1	
1093	844	Ⅳ 3	明治12年12月 (1879年)	御布達類 諸雑記録簿 五 従明治10年2月至明治12年12月 千葉山智満寺 幹事	○(千葉山智満寺 幹事) ●記載なし	・公試験の節、官員の立会いを廃止し、これより受持教正や大教 院諸官課1名の立会いとする。・宗・諸寺院の進退は寺院の高下 に関係なく、すべて教院の添書願出にするものとする。等々、別 紙ヒナ型に準じ提出する事とする、など布達する。		綴 り	1	
1094	691	Ⅳ 3	明治12年 (1879年)	千葉良然寄附回向料積立 帳	○惣持院世話人惣代:南向長吉 ●智満寺住職:千葉昭如	破損甚大にて、内容不明。	破損甚大	横 帳	1	
1095	864	Ⅳ 3	明治13年5月25日 (1880年)	御届書	○静岡県駿河国志太郡東光寺村 東光寺住職・権 少講儀:池澤寛啓㊤ ●本宗大教院	今般、大会議に拙僧出頭すべき処、足痛の為かなわず、同国千 葉山智満寺住職 千葉昭如儀を選定、同人へ会議中諸事委任致 します、との届。		状	1	
1096	874	Ⅳ 3	明治13年5月30日 (1880年)	委任状	○東光寺住職・権少講儀:池澤寛啓㊤ ●智満寺住職:千葉昭如	本会議に出頭すべき処、足痛になり遠旅が出来なくなったので、 会議中諸般、貴寺に依頼する、との委任状。		状	1	
1097	426	Ⅳ 3	明治13年9月30日 (1880年)	志太郡千葉山智満寺々中 惣持院	○静岡県社寺係 ●天台宗教導教口:池澤寛啓	智満寺々中、惣持院寺中明細調、不分明による遣り取り。県庁よ り指令の写。 静岡県下天台宗事務所㊤の奥書き有り。	虫喰い多い	綴 り	1	
1098	1071	Ⅳ 3	明治14年1月12日 (1881年)	部内賦課金御猶豫願書	○東光寺住職・権少講儀:池澤寛啓㊤ ●東京浅草公園地内 天台宗務廳	新寺を建立するので、宗内義金の上納を7ヶ年間の猶予豫を願 いたい、との願い書。宮長権教正 大相覚實より聞届難くとある。		綴 り	1	
1099	838	Ⅳ 3	明治14年1月17日 (1881年)・辛巳	辛巳第一号	○宗務廳 ●各府県教導取締	直末及び末寺の従来からの住職兼務についてはこれを廃し、等 の件についての住職進退出願の心得書きの通達。	8頁	綴 り	1	
1100	548	Ⅳ 3	明治14年1月27日 (1881年)	建物売渡之證	○静岡安倍町 売渡人:野崎彦左衛門㊤、保証 人:野崎衛七㊤ ●志太郡千葉山智満寺 住職:千葉昭如	関連して建物図、地所売渡之証(同年4月2日)、請取之証(同年 4月1日 金67円83銭)の書類綴り。		綴 り	1	
1101	418	Ⅳ 3	明治14年3月 (1881年)	圓滿寺建築諸費帳	○記載なし ●記載なし	円満寺建築の為の材料金額などが記されている。	19頁	横 帳	1	
1102	817	Ⅳ 3	明治14年4月 (1881年)	堂宇寺成願	○駿河国志太郡千葉山 智満寺住職:千葉昭如 ㊤、德音院住職:山本慈祐㊤、他1名、檀徒惣代2 名 ●静岡県令:大迫貞清	本尊元三大師 世上に疫病が流行、天下の人民が大勢煩った、 大師心を痛め悪病消除の法を求め諸国を修行、当山に天下泰 平を願い自ら真影を治め置き、これが本尊なり。境内32坪9合8 尺、地価金30円37銭、信徒629人。	4頁	綴 り	1	

通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
1103	1021	Ⅳ 3	明治14年6月 (1881年)	現在堂宇寺成願	○天台宗管長・権大教正:大杉寛實 ●静岡県令:大迫貞清	静岡安倍町19番地元三太師堂を本堂とし、一寺建立につき千葉山智満寺住職試補 千葉昭如他4名より出願あり、許可を願う。		状	1	
1104	1146	Ⅳ 3	明治14年6月 (1881年)	現在堂宇寺成願	○天台宗管長・権大教正:大杉寛實 ●静岡県令:大迫貞清	静岡安倍町19番地元三太師堂建立につき、智満寺住職試補 千葉昭如他4名より別紙出願、許可を請う。		状	1	
1105	816	Ⅳ 3	明治14年7月 (1881年)	太子堂□号一寺建立願㊤	○静岡県下天台宗諸寺院惣代駿河国志太郡千葉山 智満寺住職試補:千葉昭如㊤、右同断 同国 有渡郡根古屋村 德音院住職試補:山本慈祐㊤、 他寺住職1名、信徒惣代2名 ●静岡県令:大迫貞清	太師堂は修験廃止後に堂主が無く、信徒にて保存してきた。信者が協議し、別紙の通り太師堂を本堂として増築したいので、別紙明細書絵図面方法書を添え、御願い申し上げる。以下、明細書等あり。		綴り	1	
1106	1133	Ⅳ 3	明治14年9月18日 (1881年)	記 祠堂金喜捨	○上野慈眼堂 執事 ●智満寺 昭如	祠堂金50銭也确实に受納。姓名を帳面に記載の上、1月30日祈祷する。他に4通のものを同封。		状	5	
1107	994	Ⅳ 3	明治14年9月28日 (1881年)	記	○預り主 智満寺住職:千葉昭如㊤ ●預け主 法華寺住職:山村良快	法華寺住職の山村良快から、宗門費2円50銭を智満寺住職千葉昭如が預ったという書。		状	1	
1108	1085	Ⅳ 3	明治14年12月13日 (1881年)	記	○上野慈眼堂 執事 ●智満寺 昭如	永代放生会として金50銭の喜捨、その受納書。		状	1	
1109	504	Ⅳ 3	明治14年 (1881年)・巳	明治14歳在 辛巳 奉掛供 力餅願文之所千葉山智満 寺 従1月1日至2月15日 執 事	○智満寺 執事 ●記載なし	奉掛供力餅の書上げ。明治14年1月1日から同2月15日の間に、「供力餅願文」を奉納した人物の12支(男・女)を書上げている。		豎帳	1	
1110	1154	Ⅳ 3	明治15年2月18日 (1882年)・午	願文	○記載なし ●記載なし	征夷大將軍正二位右大将 源頼朝公と記され、旧名の法橋と教全大徳、計11名の名が記されている。		状	1	DVD4
1111	1069	Ⅳ 3	明治15年6月 (1882年)	御賞詞願	○志太郡千葉山智満寺 住職:千葉昭如 ●天台宗務所	檀信徒の寄付行為に対し、御賞詞を頂きたいとの請願書。		綴り	1	
1112	270	Ⅳ 3	明治16年1月 (1883年)	開扉に付修繕其他諸雑費 控	○千葉山会計方 ●記載なし	千葉山智満寺に係る住居等の修繕其他の費用の控帳にて、出方及び諸払いについて、多岐にわたる物品とその金額が記述され、その惣差引金額21円32銭4厘5毛。	19頁	横帳	1	
1113	366	Ⅳ 3	明治16年2月23日 (1883年)	新参来客人名簿	○智満寺執事 ●記載なし	新参の来客の氏名が記されている。中には、伊久美の長島からの名前もある。	6頁	横帳	1	
1114	441	Ⅳ 3	明治16年2月 (1883年)	開扉ニ付奉納帳	○記載なし ●記載なし	奉納者の氏名と金額が記されている。(開扉・開帳とは本堂の秘仏への一般人参拝の事)	34頁(内、2頁に記載)	横帳	1	
1115	639	Ⅳ 3	明治16年2月 (1883年)	配札村人名帳 明治16年2月 千葉山勧誘係	○千葉山勧誘係 ●記載なし	村名と枚数および氏名が列記されている。細島村18枚 増田孫十、20枚 桜井孫平、道悦村40枚 山本文蔵・・・等。	28頁(内、10頁に記載)	横帳	1	

通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
1116	715	Ⅳ 3	明治16年3月19日 (1883年)	奉納簿 第1号 明治16年3月19日 執事	○智満寺 執事 ●記載なし	奉納金と茶・椎茸・そば・米などの奉納品が、村名と氏名と共に記されている。		縦帳	1	
1117	432	Ⅳ 3	明治16年3月19日 (1883年)	奉納金請取簿	○会計課 ●記載なし	香料・判紙代・札料・みくじ・灯明料などが、奉納者の氏名と共に記されている。	16頁	横帳	一括	
1118	968	Ⅳ 3	明治16年10月9日 (1883年)	委任状	○静岡式番町:朝倉雄成 ●山村良快	朝倉雄成から山村良快にあてた書状と共に、封筒入りの山村の委任状(私費栽培につき)2枚あり(明治16年7月、同17年8月28日付)。		状	3	
1119	1195	Ⅳ 3	明治16年10月15日 (1883年)	寄留届	○(渥美郡曲尺手町)平民商 松阪茂八兄:松阪良潮 ●渥美郡曲尺手町 戸長:辻村十次	渥美郡天台宗神宮寺を、静岡県志田郡千葉村千葉山智満寺に寄留させる。		状	1	
1120	1107	Ⅳ 3	(明治)16年11月9日 (1883年)	中島工部権大書記官巡見 に付き	○大井八等属@ ●智満寺住職:山村良快	中島工部権大書記官巡見につき、都合ある向きは見合せする。建物現存分の造築等、県令宛差出。		状	1	
1121	977	Ⅳ 3	明治16年12月 (1883年)	證	○天台宗務庁@ ●智満寺	金1円25銭、明治16年後半季課金を受取。		状	1	
1122	1036	Ⅳ 3	明治16年12月 (1883年)	戸長役場触書類入封筒	○智満寺住職:山村良快 ●記載なし	関係書類入り封筒2件、他。		状	3	
1123	325	Ⅳ 3	明治16年 (1883年)	村役人工覚帳(観音開扉ニ テ)	○智満寺用部屋 ●記載なし	薬師堂の屋根普請の為、出役する。作業名や人名等を列記する。	8頁	横帳	1	
1124	928	Ⅳ 3	明治17年9月22日 (1884年)	現境内風損木伐採願	○智満寺住職:山村良快 ●記載なし	千葉山境内の立木が15日の暴風でで倒木し、千満寺も風で破損した。その修繕費に使いたい為、倒木の伐採願を提出する、とある。		状	1	
1125	869	Ⅳ 3	明治17年12月10日 (1884年)	現境内風損木伐採願之儀 ニ付御指令願	○檀家惣代3名 ●志太・益津郡長:近藤準平	境内風損の木、伐採を申請したが、未だ何の指令もない、速やかに指令ををお願いしたい、とある。		状	1	
1126	1105	Ⅳ 3	明治17年12月13日 (1884年)	収入物予約書差出につき	○志太郡落合村組 戸長:広内保蔵 ●千葉山住職・世話人	先に予約書進達に書面に不備あり、訂正申し渡す。書類訂正の上、差出すべし、とある。		状	1	
1127	821	Ⅳ 3	明治18年1月 (1885年)・酉	静岡県駿河国志太郡千葉山 天台宗智満寺財産区別予約 書	○千葉山住職:山村良快、檀家惣代:南向長吉、岡村繁蔵、倉橋久右衛門 ●静岡県令:関口隆吉	明治18年1月中、静岡県へ差出の控。智満寺所有地の反別・地価・その他、建物等の財産等々の現況報告。	3頁	綴り	1	
1128	1104	Ⅳ 3	明治19年2月 (1886年)	改名之義ニ付副願	○愛知県尾張国名古屋区上浅間町63番地 同居平民:伊藤栄次 ●愛知県令:勝間田稔	出家し、修行して法名を得る為の改名届、受取人外2名分を同封。(明治19年3月2日、同人より改名願有り)		状	3	
1129	1144	Ⅳ 3	明治19年4月22日 (1886年)	証	○駿河国有渡郡静岡札之辻町20番地 ●山村	金1円55銭、彫工料受取。		状	1	

通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
1130	1092	Ⅳ 3	明治19年9月 (1886年)	兼務辞職願	○静岡県駿河国志太郡千葉山 智満寺住職:山村良快 ●天台座主:大僧相覚宝	私は、智満寺住職と末寺の惣持院の住職を兼務していたが、今般、惣持院の後住出願があったので兼務を辞職するよう願出する、とある。		状	1	
1131	903	Ⅳ 3	明治19年9月 (1886年)	保存金御下附願(明細帳添)	○静岡県駿河国志太郡千葉山 天台宗智満寺住職:山村良快㊟、檀中惣代:岡村勘兵衛、他2名 ●記載なし	山内堂宇、保存修復金の下附願いと、その対象となる建物7件の明細を書き添えている。		綴り	1	
1132	901	Ⅳ 3	明治19年11月24日 (1886年)	千葉山智満寺記録入	○記載なし ●記載なし	中身は無く、袋のみ。		袋	1	
1133	1119	Ⅳ 3	明治19年 (1886年)	□□建立願	○静岡□□天台宗 諸寺院惣代 駿河国志太郡千葉山 智満寺住職:試補千葉昭如、他4名 ●静岡県令:大迫貞清	寺建立願と寺の略図が記されている。		綴り	1	
1134	1243	Ⅳ 3	明治20年1月 (1887年)	明治二十年一月以降押印 消印度数控簿	○(智満寺) ●記載なし	1月14日より3月16日迄の、押印消印等の度数を記す。		状	1	
1135	823	Ⅳ 3	明治20年2月24日 (1887年)	保存金御下附願	○静岡県駿河国志太郡千葉山 天台宗智満寺住職:山村良快㊟、檀中惣代3名、東光寺関係者2名 ●静岡県知事:関口隆吉	智満寺創立の寺にて、常時現存の建物数百年を経ている、当寺の資産では破損を修復出来ない、別紙の明細帳の通り添文を以てこの段願いたい。他に、明細帳及び資産帳がある。		綴り	1	
1136	1090	Ⅳ 3	明治20年4月 (1887年)	墓所管理者交換御届	○志太郡千葉山 智満寺住職:海老原順海 ●落合村他4ヶ村 戸長:廣田保蔵	これ迄、墓地及び火葬場の管理を勤めて来た岡村栄次郎に代り、村方の依頼により、智満寺住職の海老原順海が勤める事の届け。		状	1	
1137	1106	Ⅳ 3	明治20年5月3日 (1887年)	古建物建築年度及修繕年 月費額に付	○志太郡落合村外4ヶ村 戸長役場㊟ ●智満寺住職:山村良快、保存委員	古建物建築年度、修繕年月費額につき熟知の者、本月5日午前9時当役場へ出頭面談、諸事協議の通達。		状	1	
1138	936	Ⅳ 3	明治20年5月 (1887年)	阿修羅坊堂修繕寄附人連 名記	○智満寺 世話人:倉橋久右衛門外2名、工事担当:岡村兵四郎、会計方:長尾宇作外1名 ●記載なし	千葉山智満寺奥之院、阿修羅坊堂屋根替及損傷に付き、修繕の為の費用を、当山信徒から乞う寄附人連名記であり、その各人の金額・氏名が連記されている。合計金額についての記載はない。	17頁	豎帳	1	
1139	550	Ⅳ 3	明治20年5月 (1887年)	古代建物建築年度等備考 書	○駿河国志太郡千葉山 天台宗智満寺住職:山村良快 ●静岡県知事:関口隆吉	智満寺古代の由緒が書かれている。本堂の本尊安置(神護景雲年)・再建文治年間等々、その他、薬師堂・山門・仁王門・寺内・鐘楼・奥之院・庫裏の建立、修築等まで記載されている。		綴り	1	DVD4
1140	573	Ⅳ 3	明治20年5月 (1887年)	四百年前建物取調書	○受持智満寺住職:山村良快 代理倉橋久右衛門、他、惣代2名 ●静岡県知事:関口隆吉	400年前建立の山門、2間四方、白木造り・茅葺き、延文(1356～61)年中、今川範氏の再建、享保・安永年度修繕、明治17年に屋根葺き替えとなっている。		状	1	DVD4
1141	534	Ⅳ 3	明治20年7月 (1887年)・亥	奥之院修復寄附金受取及 支払帳	○千葉山智満寺 ●記載なし	千葉山智満寺奥之院、修復工事に係る寄附金帳にて、7月2日から10月30日迄、6人からの寄付金と成っている、但し総額の記述はない。	5頁	横帳	1	
1142	651	Ⅳ 3	明治20年10月7日 (1887年)・丁亥	丁亥告第5号	○天台宗務庁 ●各府県下宗務所	各宗派の宗務所より告達文、宗内よりの申稟書につき、朝廷皇族の他は用いる事の出来ない文字について、注意を求める内容。		状	1	

通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
1143	1072	Ⅳ 3	明治20年10月7日 (1887年)	丁亥号外	○天台宗務庁 ●各府県下宗務所	各宗協立普通学校につき、各檀信の応分の義捐を願う、1寺1ヶ月2銭宛醸金のとりまとめ。		状	1	
1144	1257	Ⅳ 3	明治20年12月14日 (1887年)	入寺金記録	○(智満寺) ●記載なし	はじめに、21年1月中の調、次に5月27日の調とあり計金66円8銭5厘、内、住職迎入用、観音講祠堂受取りと記す。		状	1	
1145	523	Ⅳ 3	明治20年12月14日 (1887年)	海老原室内雑誌 明治20年12月14日 旧11月30日入寺	○記載なし ●記載なし	日付と金額、それに内容が記されている、・24日 金1円35銭 清水より嶋田迄・・・ 他に明治21年1月21日 金穀出納明細簿、明治21年1月 海老原律室雑誌と一緒に綴られている。	24頁	横帳	1	
1146	361	Ⅳ 3	明治20年12月14日 (1887年)	志んさん入費帳相認 志太郡千葉山 知満寺	○智満寺 ●記載なし	僧侶が新たに寺の住職になる際の、普山式に費やした台所関係の代金扣。酒・菓子・とうふ・醤油等の代金5円87銭が記載されている。	2頁	横帳	1	
1147	350	Ⅳ 3	明治20年12月 (1887年)・亥	明治20年 志んさん 智満寺	○記載なし ●記載なし	普山式への寄付金、金額と氏名が記されている。	5頁	横帳	1	
1148	1158	Ⅳ 3	明治21年1月 (1888年)・子	永遠保存勸進大意	○智満寺現童順海 ●記載なし	智満寺は景雲年間に開創され、その後の寺の歴史が記されている。明治期になって堂宇が荒廃した為、その修繕のための浄財を願いたいといった、勸進の文章。		状	1	DVD4
1149	787	Ⅳ 3	明治21年1月 (1888年)・子	明治21年1月 勸進発行二付 諸出費簿 第1号智満寺	○智満寺 ●記載なし	寄附金の控書。	7頁	横帳	1	
1150	1156	Ⅳ 3	明治21年1月 (1888年)	永遠保存勸進大意	○駿河国志太郡千葉山 智満寺現童:順海 謹識 ㊦㊦ ●記載なし	智満寺が明治期に入って荒廃したので修繕の為、浄財の寄附を募るための勸進文書。智満寺の寺歴がわかる。		綴り	1	
1151	447	Ⅳ 3	明治21年1月 (1888年)	智満寺記録	○順海代 ●記載なし	明治22年の僧侶の修行関係の記録や、千満寺の庫裏修繕関係の記録が見られる。後半は、寺院の山林に関する記録が記されている。又、田畑の登記に関した内容の記録も見られる。	19頁	綴り	1	
1152	1053	Ⅳ 3	明治21年1月 (1888年)・子	口演(講演) 永遠保存勸進大意	○千満寺住職:順海 ●相賀惣代	千葉山への勸進の為の寄附。相賀村の人々の名前が、金額とともに記されている。	8頁	綴り	1	
1153	515	Ⅳ 3	明治21年1月 (1888年)	金穀出納簿 明治21年1月 智満寺出納課	○智満寺出納課(表紙) ●記載なし	日付・金額と内容が列記されている。・19日 金63銭5厘 本寺賽納 ・20日 金4円 米拂代金 ・25日 金5銭 御札料 等。	18頁	横帳	1	
1154	717	Ⅳ 3	明治21年2月1日 (1888年)	修繕用材木御払下願	○智満寺住職:海老原順海㊦、壇中惣代:岡村勘兵衛㊦、他4名 ●静岡木材区署長・林務官:桑名茂三郎	智満寺堂宇修繕の為、木材を払い下げて頂きたいとの願書。	5頁	綴り	1	
1155	949	Ⅳ 3	明治21年2月1日 (1888年)	(駿河国志太郡千葉山) 壇中惣代増員の件	○智満寺住職:海老原順海㊦、壇中惣代:岡村勘兵衛㊦、他6名 ●記載なし	これまでの壇中惣代3名のところ、この度、明治21年2月より4名を増員した事を届けたもの。		状	1	
1156	935	Ⅳ 3	明治21年2月24日 (1888年)	(千葉山智満寺建物保存方出願の件)	○志太郡落合村外4ヶ村:中川弁吉㊦ ●千葉山住職:山村良快	千葉山智満寺の、建物保存願いについては、住職と本寺檀家惣代が連署し、管長の添書を要する事を指示する。		状	1	

No.90										
通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
1157	880	Ⅳ 3	明治21年2月25日 (1888年)	保存金御下附願	○千葉山天台宗 智満寺住職:山村良快㊟、壇中惣代:岡村勘兵衛㊟、他2名、東光寺村東光寺住職:池澤寛啓㊟、益津郡花沢村法幸寺住職:西東亮惇㊟ ●静岡県知事:関口隆吉	千葉山天台宗智満寺は数百年を経過した古き寺にて、修復を要するものとし永遠に維持保存の計画のうえ、その資金不足の為、保存金の下附を賜りたき旨、別紙明細帳及び図面を添えての願書。	9頁	綴り	1	
1158	1351	Ⅳ 3	(明治)21年3月24日 (1888年)	領収の証	○藤枝宿若王子町 印判師:薊野藤吉 ●千葉山	内金1円也、正ニ受取候也、とある。(千葉山全図3品之内)		状	1	
1159	420	Ⅳ 3	明治21年4月4日 (1888年)	雇人出勤連名簿 明治21年4月4日 智満寺用所	○智満寺用所 ●記載なし	氏名と出勤日・日数及び支払い金額と、渡した日付が記され綴られている。 例として・岡村栄治郎 4月8日1人、9日1人、10日1人・・・計10人工 内金1円、10月2日渡す 等。		横帳	1	
1160	1283	Ⅳ 3	明治21年4月7日 (1888年)	(火葬の認許證に付)	○静岡県 ●島田	火葬認許證について記される。		状	1	
1161	1157	Ⅳ 3	明治21年4月 (1888年)	墓所管理交換御届	○志太郡千葉山 智満寺住職:海老原順海 ●島田警察署	墓所管理者が、今迄は山村良快であったが、今後は海老原順海が勤めることになったので届ける、とある。		状	1	
1162	328	Ⅳ 3	明治21年5月 (1888年)・子	境内立木調書 天台宗惣持院	○智満寺住職:海老原順海 ●静岡県知事:関口隆吉	山内の惣持院、境内立木調書の控。	4頁	竖帳	1	
1163	407	Ⅳ 3	明治21年5月 (1888年)	寺院明細取調帳	○静岡県駿河国志太郡智満寺 ●天台座主大僧正:大相覚宝	住職小僧都海老原順海より提出、本尊由緒・建物・什器・宝物等を列記、檀徒18戸、境内図を付す。		竖帳	1	
1164	459	Ⅳ 3	明治21年5月 (1888年)	勸進簿	○智満寺現住:順海㊟ ●記載なし	有志諸氏に対し、本年より向こう10ヶ年、毎月金1銭の喜捨保存の基礎確立、金56銭の勸進あり。		竖帳	1	
1165	517	Ⅳ 3	明治21年5月 (1888年)	寺院明細取調書	○惣持院住職:海老原順海、安楽寺住職:西東亮惇、東光寺住職:池沢寛啓、檀家惣代 ●天台座主大僧正:大相覚宝	本堂境内の坪数・立木・什器、境外の所有地等が記されている。	虫食い、汚れ有り	綴り	1	
1166	209	Ⅳ 3	明治21年7月2日 (1888年)	勸進簿	○静岡県 ●駿河国志太郡千葉山天台宗智満寺	永遠に保存すべき勸進の大意が記されている、「千葉山智満寺は神護景雲年中、廣智菩薩の開創する寺であり、本尊の千手観音菩薩は行基の彫刻である。」から始まり、由来の詳細などを列記し、永遠保存の為の浄財を頂戴して保存をしていきたい旨を記してある。		竖帳	1	
1167	385	Ⅳ 3	明治21年7月25日 (1888年)	雇人出勤連名簿	○智満寺用所 ●記載なし	寺院修繕の際、請負人が出勤した月日と人数・代金を記録した文書。請負人 寺岡伝蔵・岩本藤次郎・倉橋久右衛門・櫻井利兵衛・増田作十・岡本定吉・三好糸蔵・南向松蔵、他51名。	39頁	横帳		
1168	1193	Ⅳ 3	明治21年9月5日 (1888年)	認許証検閲届	○海老原順海 ●島田分署	荻原斉と園口みち、両名の埋葬届。みちは明治21年8月26日病死、8歳7ヶ月、荻原斉は明治21年9月7日病死、10歳8ヶ月。他に明治21年12月5日分を同封する。		状	2	
1169	747	Ⅳ 3	明治21年9月 (1888年)	明治21年9月 保存資寄金領納簿 第1号	○智満寺 ●記載なし	明治21年9月より明治23年12月までの、智満寺に係る保存資寄金領納簿にて、月日・金額・村名・氏名が列記されている。内、同年21年9月より12月分 計81円83銭5厘也、同22年1月分 計1円40銭也、同22年2月分 計22円54銭3厘など、同23年分迄が記載されている。	9頁	横帳	1	

通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
1170	327	Ⅳ 3	明治21年10月 (1888年)・子	寺院明細取調書 千葉山惣持院	○智満寺住職:海老原順海㊤、安楽寺住職:西東亮惇㊤、東光寺住職:池沢寛啓㊤、森町蓮華寺:浅埜良達㊤ ●天台座主大僧正:大相覚宝	本尊阿弥陀如来由緒不詳・本堂建坪・境内坪数・立木・什器等々、檀徒31戸。無住につき、智満寺住職海老原順海が調書を認む。	4頁	縦帳	1	
1171	344	Ⅳ 3	明治21年11月 (1888年)	明治21年11月 畑山林附簿 惣持院世話人	○惣持院 世話人 ●記載なし	惣持院の所有地を、檀家の数名が借地した際の記録簿か。畑地・開墾地・竹林・境内地などの所有地がみられる。	4頁	縦帳	1	
1172	384	Ⅳ 3	明治21年12月27日 (1888年)	普山来客人名簿 第52世順海代	○智満寺 執事 ●記載なし	明治21年12月27日における、智満寺の僧侶が初めて正式に住職となった時の来客者名簿にて、来客者氏名及び納金が記載されている、その計金6円90銭。	4頁	横帳	1	
1173	326	Ⅳ 3	明治21年12月28日 (1888年)・子	建設願	○惣持院住職:海老原順海㊤、檀家惣代:岡本定吉㊤、他2名㊤、奥印森町蓮華寺住職:浅埜良達㊤ ●静岡県知事:関口隆吉	当院の建物が大破、修理するも復旧ならず、改築の為の建設願い。	3頁	縦帳	1	
1174	425	Ⅳ 3	明治21年12月 (1888年)	智満寺本坊新築記	○当堂:海老原順海、時役僧:奥住亮昭、当世話人:倉橋久右衛門、岩本藤次郎、中村癸吉 ●記載なし	本坊新築に伴う負担金の記録。	11頁	綴り	1	
1175	521	Ⅳ 3	明治21年12月 (1888年)	明治21年12月 資堂貸附帳 智満寺世話人	○(智満寺世話人) ●記載なし	貸付金 4件、金額・名前のみにて、日付なし。		綴り	1	
1176	1148	Ⅳ 3	明治22年1月15日 (1889年)	寺院境内竹木伐採願出につき	○落合村外戸長役場 ●静岡県志太郡落合村外4ヶ村 戸長:廣田保蔵	願出につき、自今該宗管長の添書を要す。		状	1	
1177	351	Ⅳ 3	明治22年1月17日 (1889年)	明治22年 札配達簿	○千葉山智満寺 ●記載なし	千葉山のお札を配達した名簿。	8頁	横帳	1	
1178	362	Ⅳ 3	明治22年1月30日 (1889年)	建設願 駿河国志太郡千葉山惣持院	○智満寺住職:海老原順海㊤、法類祖寺総代・志太郡北方村安楽寺住職:西東亮惇㊤、檀家総代:岡本定吉㊤、岡村栄次郎㊤、増田作十㊤ ●静岡県知事:関口隆吉	お寺の建設願い、最後に寺の略図も記されている。静岡県知事の承認印が有る。		綴り	1	
1179	368	Ⅳ 3	明治22年1月 (1889年)・丑	日々飯米爨(炊)出簿	○智満寺 ●記載なし	明治22年1月1日よりの飯米炊出し簿にて、日々の炊出しに要した人数及び米の数量の記述と成っている。	23頁	横帳	1	
1180	418	Ⅳ 3	明治22年1月 (1889年)	金穀出納簿	○智満寺出納課 ●記載なし	・収入は表面に記載(葬式料・地代金・御祈祷料等々)、・支出は裏面に記載(郵便代・新聞代・菓子代等々)、両方とも1月1日より12月31日までの記録。	21頁	横帳	1	
1181	439	Ⅳ 3	明治22年1月 (1889年)	海老原室内雑誌	○海老原住職 ●記載なし	明治22年の寺院に関係した記録。寺への来訪者名、僧侶の出入り等の外に、金銭の貸借と思われる内容も記録されている、又、寺領の竹林伐採などに付いての記録もあり、日記の如き内容となっている。	25頁	横帳	1	
1182	345	Ⅳ 3	明治22年1月 (1889年)	新年表賀人魚簿	○智満寺 ●記載なし	明治21年1月31日の奉賀会にて、参加者より奉賀金を集め納める、個人18人、寺院11、合計1円11銭。	6頁	横帳	1	

通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
1183	1093	Ⅳ 3	明治22年3月 (1889年)	落成御届 志太郡大津村 智満寺	○住職:海老原順海、惣代他3名 ●静岡県知事:関口隆吉	智満寺の庫裏の改築に付き、本年2月8日に落成した。別紙図面を添えて届ける。		状	1	
1184	695	Ⅳ 3	明治22年4月14日 (1889年)	勸進簿	○千葉山智満寺 現住:順海 ●記載なし	寄附者の氏名と金額が記されている。瀬戸ノ谷村、滝のノ谷組17名程が載る。(綴り内に明治22年の明記有り)	10頁	綴り	1	
1185	1188	Ⅳ 3	明治22年5月 (1889年)	(寄附名簿)	○記載なし ●記載なし	①智満寺様寄附と記し、山田半四郎以下、17名の氏名と寄附金の額が記されている、合計32銭5厘とある。 ②瀬戸ノ谷村 谷本孫兵衛以下、4名の氏名が記され、寄附金額の記入は無い。		状	2	
1186	1101	Ⅳ 3	明治22年7月24日 (1889年)	證(寄附金領収ニ付)	○智満寺 ●矢川:中村長蔵	智満寺保存資金の寄付金30銭を、領収した。		状	1	
1187	1160	Ⅳ 3	明治22年9月16日 (1889年)	記	○大津村役場 ●智満寺住職並壇中惣代中	智満寺所蔵の別記書を本月20日迄に、勤役所へ持参するべし。 ・智満寺縁起 ・源頼朝御教書 ・豊太閤朱印等。(包紙あり)		状	1	
1188	1229	Ⅳ 3	明治22年9月22日 (1889年)	貴山官林并勸財一条出願につき	○先住:千葉昭如 ●智満寺当住	勸進簿表紙出来、第1番に東叡山輪王寺門跡金3円、宮辺亮常以下、3名の名記あり、以下、やりとり。		状	1	
1189	1110	Ⅳ 3	明治22年9月26日 (1889年)	観音堂再建願	○右寺住職:何何誰 ●静岡県知事:時任為基	大津村大草真言宗慶寿寺境内の観音堂について、老朽の為壇中一同協議のうえ、改築したい旨の願書の下書き。		状	1	
1190	786	Ⅳ 3	明治22年9月 (1889年)	明治22年9月ヨリ 東京地方勸財附属地帳	○智満寺 ●記載なし	智満寺への寄付金。	10頁	横帳	1	
1191	1159	Ⅳ 3	明治22年12月28日 (1889年)	令第870号	○天台府座主僧正:大相覚宝㊤ ●静岡県駿河国志太郡大津村 智満寺	智満寺本堂修理費とする為の、境内檜木4本を伐採下賜願の件。		状	1	
1192	578	Ⅳ 3	明治22年 (1889年)	官有地引戻請願書	○駿河国志太郡千葉山智満寺住職、同国同郡尾川村人民総代 ●静岡県知事:関口隆吉	千葉山西山の官有山林は、昔、尾川村と千葉山とで境界争いをして、寛文4年に別紙図面の境界となった、しかし明治8年に誤って官有地に編入させられた。尾川村に属する山林は千葉山智満寺に寄附されたが、当時の住職の誤謬により官有地となったので、この山林を当寺の所有に戻して欲しい、とある。		綴り	1	DVD4
1193	286	Ⅳ 3	明治23年1月 (1890年)	明治23年1月 出納之簿 智満寺会計課	○智満寺会計課 ●記載なし	納の部では、米ぬかや竹の子代が多く、出の部では、酒代、マッチ代、すみ代等がみられる。		横帳	1	
1194	431	Ⅳ 3	明治23年1月 (1890年)	智満寺内日誌 明治23年1月 庶務課	○庶務課 ●記載なし	明治23年の智満寺内の日誌、1月1日より12月31日迄の事が記されている。 例として・1月1日 晴午後5時頃ヨリ雨 勇蔵入来、2日 晴、3日晴 ・3月5日晴 菊次郎、清吉、島田へ買物に行く等々。		横帳	1	
1195	388	Ⅳ 3	明治23年1月 (1890年)	新年賀表人員簿 智満寺	○智満寺 ●記載なし	1月5日、島田4丁目 青木吉左衛門を始めとして、百数十名の年賀者名と参銭が記録されている。		横帳	1	

通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
1196	1162	Ⅳ 3	明治23年3月11日 (1890年)	證	○太子堂建築係、慶寿寺世話係㊤ ●智満寺:順海	金20銭、太子堂建築への寄付金。		状	1	
1197	927	Ⅳ 3	明治23年3月 (1890年)	檀家惣代更正御届 大津村 千葉智満寺	○住職:海老原順海、右人名調印 ●記載なし	智満寺の檀家惣代の更生届。9名の檀家惣代名が記されている、投票により檀家惣代となって届けられている。		状	1	
1198	964	Ⅳ 3	明治23年4月26日 (1890年)	新寺建立願	○岩手県下陸中国南岩手郡口仲野村 臨済宗長松院 住職願人訓尊:平山素普、他に5名 ●岩手県令:島惟精	明治23年4月26日、許可。 紫波郡口場村役所 戸長:坂牛儀蔵の奥書がある。	虫損甚大	状	1	
1199	377	Ⅳ 3	明治23年11月 (1890年)・寅	本山根本中堂修繕費之内 へ奉納連名 智満寺檀家中	○智満寺檀家中 ●記載なし	智満寺の根本中堂修繕に際して、奉納金の寄附者を記録した文書。37名の氏名と奉納金額が記されている他、別紙に37名の記録あり、計74名。	6頁 断簡4枚入り	縦帳	1	
1200	386	Ⅳ 3	明治24年1月1日 (1891年)	明治24年日記	○智満寺住職(表紙) ●記載なし	日記帳。明治24年1月1日より12月31日までの日記。新暦と旧暦・晴・雨・曇・事柄等が詳細に記載されている。	21頁	横帳	1	
1201	424	Ⅳ 3	明治24年1月 (1891年)	金穀出納簿	○智満寺会計課 ●記載なし	寺内に関する諸品の、金銭出入の書上。	17頁	横帳	1	
1202	1029	Ⅳ 3	明治24年3月 (1891年)	記(勸財金二付)	○千葉昭如 ●智満寺	東京の8ヶ寺より勸財金を集金、合計18円30銭。7円31銭の諸入費を差引し、實収入10円98銭、内金5円は納済、残金5円98銭を今回納金します、とある。		状	1	
1203	796	Ⅳ 3	明治24年4月1日 (1891年)・卯	明治24年1月 願力餅奉納人名	○千葉山 ●記載なし	神佛よりの加護のため、願力餅の奉納人名帳。家内・男・女・生まれ年等が記載されている。	3頁	横帳	1	
1204	792	Ⅳ 3	明治24年4月1日 (1891年)・卯	明治24年1月 米穀歳出及搗上日々飯米の釜出記載簿 智満寺会計課	○智満寺会計課 ●記載なし	智満寺に係る米の蔵出及搗上、日々の飯米釜出記載簿にて、白米とその数量及び人数、月日の記載となっている。	23頁	横帳	1	
1205	544	Ⅳ 3	明治24年4月5日 (1891年)	修繕用材御払下願	○静岡県志太郡大津村千葉 天台宗智満寺住職:海老原順海、壇中惣代5名 ●御料局静岡支庁 理事:桑名茂三郎	諸堂の修繕の為、寺所有の山林杉46本の払下げを出願する。修繕計画は、扉戸・昇降段・欄干・雨戸・椽板・垂木・霧除等があり、その計画書を添えて御料局に出願している。他に、修繕用材木御払下願之儀に付伺書が有る。		綴り	2	
1206	1238	Ⅳ 3	明治24年6月5日 (1891年)	證	○比叡山延暦寺 営繕部㊤ ●駿州千葉 智満寺	金4円、第2回皆納 本堂諸堂字の営繕費。この他、書状が1通あり、封筒入り。		状	2	
1207	1094	Ⅳ 3	明治24年7月7日 (1891年)	(拝命の届二付)	○大津村役場㊤ ●智満寺住職	智満寺住職及び惣持院住職等、管長より拝命の時は年月日を直ちに届け出る様に。		状	1	
1208	1203	Ⅳ 3	明治24年7月8日 (1891年)	智満寺住職年月御届	○智満寺 住職少僧都:海老原順海 ●大津村 戸長:長谷川惣四郎	大僧正より申し付けられたので、御届申し上げる。		状	1	
1209	1164	Ⅳ 3	明治24年7月 (1891年)	檀家惣代人改撰御届	○(智満寺)海老原順海 ●記載なし	志太郡大津村千葉、智満寺檀家惣代人改撰の旨の御届けにて、惣代人の所在地・氏名が列記されている。他に1件あり。		状	2	

通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
1210	1165	Ⅳ 3	明治24年7月 (1891年)	社寺総代人年限並改選	○静岡県志太郡大津村 戸長:長谷川惣四郎 ●智満寺(惣持院)	社寺総代人改選に付いて、一般改選にする旨、届出すべしとの事。		綴り	1	
1211	1355	Ⅳ 3	明治24年8月11日 (1891年)	従弟無旨御届	○静岡県駿河国志太郡大津村千葉 智満寺住職・少僧都:海老原順海 ●四州口見 中学校校長 大僧都:高教	従弟の養育に付いて、意見を述べている。「追々、維持方法相立候得者、従弟の養育仕るべく候、よってこの段御届け申上げ候也」		状	1	
1212	1152	Ⅳ 3	明治24年9月4日 (1891年)	認許証検覚届	○志太郡千葉山 管理者:海老原順海 ●島田分署	大津村千葉30番地 平民岩本氏、長女こま 4年8ヶ月死亡、埋葬。		状	1	
1213	1074	Ⅳ 3	明治24年10月5日 (1891年)	証明書	○大津村 村長:長谷川惣四郎◎ ●記載なし	志太郡大津村千葉、智満寺に係る檀家中総代の証明書にて、岡村喜一郎他7名の記述となっている。		状	1	
1214	1239	Ⅳ 3	明治24年10月22日 (1891年)	仁王門新設寄附金受領證	○稲毛領向丘村神木山等覚院◎ ●駿河千葉山 智満寺	金1円25銭、寄附受領。仁王門買入云々の書状あり。		状	2	
1215	1202	Ⅳ 3	明治24年11月 (1891年)	第1号書面の儀につき	○智満寺住職:海老原順海◎、寺岡伝蔵、櫻井利兵衛◎、岡本伊作 ●静岡県庁地理掛	本年10月26日進達の追伸書中、第7号につき書類のやりとり。		状	1	
1216	1302	Ⅳ 3	明治24年 (1891年)	上地官林委託願	○天台宗智満寺 住職:海老原順海、他2名 ●桑名茂三郎	農商務省25号御達により、本年より向こう15年間当寺へ委託して頂く様、図面を添えて御願い申し上げる。		状	1	
1217	346	Ⅳ 3	明治24年 (1891年)	明治24年 上野青龍院ノ本堂 建立寄附連名	○(千葉山) ●記載なし	智満寺と、その檀家11名の寄付金の扣。	3頁	縦帳	1	
1218	519	Ⅳ 3	明治25年2月 (1892年)	本堂普請諸掛帳	○千葉山智満寺 ●記載なし	千葉山の本堂普請の為、茅及茅葺人の費用・縄・杉皮など屋根の材料・納豆・味噌・飯米代なども記されている。	10頁の内、7頁余白	縦帳	1	
1219	478	Ⅳ 3	明治25年4月25日 (1892年)	悪病流行ニ付臨時大般若 轉読札守授与戸籍人員簿	○智満寺世話人 ●記載なし	天然痘流行の為に、大般若経を読み御守を授与する為に、各村々よりのお札の注文が書かれている。	10頁	横帳	1	DVD4
1220	347	Ⅳ 3	明治25年5月 (1892年)・辰	千葉山 奉納作花寄附簿 首 唱者	○記載なし ●記載なし	造花代金等の寄附帳。	5頁(断簡3枚あり)	縦・他	1	
1221	1113	Ⅳ 3	明治25年5月 (1892年)・壬辰	(浄財喜捨のお願い)	○東叡山輪王寺門跡 権大僧正:宮部亮常 ●智満寺	開祖慈眼大師250回の御忌に付き、御影堂大破、修理には莫大な費用が掛かるので、同志の各位へ多少の浄財を、喜捨して頂きたい旨が書かれている。		状	1	
1222	1291	Ⅳ 3	明治25年6月2日 (1892年)	号外	○御料局技手補:飯河一住 ●智満寺住職:海老原順海	宇堂山御料林内の枯損木を、修繕用に拂下げるので修繕工事をする様に。		状	1	
1223	1215	Ⅳ 3	明治25年6月10日 (1892年)	(御詮議を以て奉願候)	○静岡県志太郡大津村千葉 智満寺住職:海老原順海、他3名 ●記載なし	修復工事の仕様帳を添えて、この段御願い申し上げる。		状	1	

通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
1224	626	Ⅳ 3	明治25年6月 (1892年)	枯損木御拂下願	○智満寺住職:海老原順海、檀家惣代:寺岡伝蔵、他2名 ●御料局静岡支廳長 御料局理事:桑名茂三郎	千葉山御料林内の枯損木、杉36本・樅2本を合計金53円69銭6厘にて拂下げ願いたい、智満寺本堂その他の建物破損の修繕に用材が乏しく、これに使いたい旨の願書。 後半朱書にて、許可が出ている、代金は8月10日迄に支払い、50日間の内に伐採・搬出を終了すべし、とある。	2頁	綴り	1	
1225	449	Ⅳ 3	明治25年7月13日 (1892年)	盆供米人名控	○智満寺 ●記載なし	供養米の量と氏名が記されている。	3頁	横帳	1	
1226	1277	Ⅳ 3	明治25年12月 (1892年)	送納につき	○駿河国志太郡大津村千葉 智満寺住職:海老原順海 ●比叡山天台宗宗務庁文書課	金45銭、別紙為換券にて送納。		状	1	
1227	1282	Ⅳ 3	明治25年12月 (1892年)	令第879号	○静岡県志太郡大津村字千葉 智満寺住職:海老原順海 ●天台座主大僧正:三浦実好	略		状	1	
1228	332	Ⅳ 3	明治25年 (1892年)・辰	遊屋権現堂宇改築募縁記	○(千葉山智満寺) ●記載なし	境内勸進の「遊屋権現堂改築の由来」を説明している。長者の愛した姫が身籠って谷底に突き落とされるも、不思議に死せず観世音として顯れ、以後、安産の権現様として利益あり、堂宇の改築に云々とある。		豎帳	3	
1229	387	Ⅳ 3	明治25年 (1892年)	明治25年日誌 智満寺住職	○智満寺住職 ●記載なし	明治25年1月から12月迄記されている、炭焼きの手伝い等色々な事が書かれている。	19頁	豎帳	1	
1230	1199	Ⅳ 3	明治26年2月 (1893年)	大学稟増築緒言	○大学林総長 僧正:光荣純映、他4名 ●大学林建築事務所	天台宗大学林御増築設計書、 一金5,432円70銭7厘 総費額・教場(軒唐破風出梁出桁造)生徒寮 ・この総建坪178坪2分等。		印刷証	1	
1231	1117	Ⅳ 3	明治26年4月20日 (1893年)	癸口宗達番外	○天台総務庁 ●天台座主 大僧正:三浦實源	寺院が将来にわたって存続する為に、創立の時期林等の所有の由緒、木の数も凡その本数を書き、提出する為の書き方のひな型が書かれている。		綴り	1	
1232	1204	Ⅳ 3	明治26年4月29日 (1893年)	(大学林教場室等増築の寄附依頼)	○大学林建築委員長 僧正:吉田源応、他建築委員等5名連印 ●千葉山智満寺 少僧都:海老原順海	当大学林教場並びに寮舎の増築につき、寄附を乞う願状。		状	1	
1233	1095	Ⅳ 3	(明治)26年4月29日 (1893年)	(宗務に付きその願状か)	○遠江国滋賀郡比叡山 天台宗務庁内大学林建築事務所 ●駿河国志太郡千葉山 智満寺	中身がなく、封筒のみ。		状	1	
1234	1297	Ⅳ 3	明治26年6月16日 (1893年)	證	○僧正:高木習道㊤ ●智満寺住職:海老原順海、檀徒:岡村喜一郎、倉橋久右衛門	本宗大学林建築費として、御寄附受納致したとの證文。智満寺住職と檀徒への2枚の證文。		状	1	
1235	458	Ⅳ 3	明治29年7月10日 (1896年)	宝蔵ヨリ出品目録	○智満寺 ●記載なし	明治21年5月の「勸進簿」を再利用。		豎帳	1	
1236	834	Ⅳ 3	明治30年7月29日 (1897年)	委任状	○愛知県愛知郡熱田町大字白鳥281番地 野口合名会社:井上信八㊤ ●愛知県愛知郡大字白鳥281番地:片田鉄五郎	井上信八は片田鉄五郎を代人と定め、次の権限を代理として成させる。 ・千葉山智満寺の御料木(17町2反余)に付、地所立木下戻請願事件について、住職及び檀家惣代と契約締結に関する一切の全権を委任する。		綴り	1	

通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
1237	1049	Ⅳ 3	明治30年8月26日 (1897年)	領収証	○社掌:大石三郎◎ ●大津村千葉:長尾宇作	一金50銭也。 神職経費にて、明治30年度村社分として正に領収した、とある。		状	1	
1238	862	Ⅳ 3	明治31年6月 (1898年)	寺院所有物明細帳	○千葉山清浄刹院智満寺 住職少僧都:望月慈円、寺檀徒惣代、他檀家惣代、寺法類惣代 ●記載なし	千葉山智満寺の所有物明細帳にて、仏像をはじめ宝蔵内安置・古文書古器物・軍扇・陣太鼓・陣釜・笛・鎧・兜等建物・土地等々多くの品名と、その数量が記されている。 また、寺院所有物明細帳追加記入申請書がある。		綴り	1	DVD4
1239	570	Ⅳ 3	明治35年正月18日 (1902年)	智満寺収納覚帳	○智満寺収納部 ●記載なし	千葉山智満寺に係る収納覚帳にて、明治35年より同39年正月までの、米代金等多岐にわたる記述となっており、その合金363円98銭9厘、内金35円85銭は杉損木代。	15頁	横帳	1	
1240	668	Ⅳ 3	明治35年8月 (1902年)・壬寅	千葉山天蓋寄附	○島田町川原丁区:斉藤松吉 ●(千葉山)	島田町川原丁区の千葉山天蓋寄附名簿、計3円31銭。	4頁	綴り	1	
1241	469	Ⅳ 3	明治35年9月 (1902年)	寺院所有物明細帳	○第8教区駿河国 智満寺代表住職:望月慈円◎、他9名◎ ●天台座主 大僧正:梅谷孝成	智満寺が所有する仏像等を列記した明細書。書画・古文書をはじめ山林・原野に至るまでの所有物が記されている。	17頁	綴り	1	
1242	976	Ⅳ 3	明治38年1月23日 (1905年)	借地継続願許可	○御料局静岡支庁静岡出張所 所長:南部龍雄 ●志太郡大津村千葉山 智満寺住職:望月慈円、他3人	借地字堂山御料地内、反別1反6畝2歩 料金1円76銭4厘。この他、明治39年10月31日付許可状がある。		状	2	
1243	510	Ⅳ 3	明治38年7月21日 (1905年)	第壱号 智満寺記録 53代 望月慈円	○53代:望月慈円 ●記載なし	明治28年6月より同38年迄の智満寺運営について記されている。明治28年6月より駿河国志太郡大津村千葉千葉山智満寺 世話人岡村喜一郎外9名の名前が書かれている、・保存資金係 岡村喜一郎外2名等。		豎帳	1	
1244	1061	Ⅳ 3	(明治)1月7日	通達	○天台宗務庁◎ ●記載なし	通達本文はなく、追加として釈教正謂代金30銭を別達、これ間違いにより金定価1分3朱、承知されたい。		状	1	
1245	1232	Ⅳ 3	(明治)3月8日	役場より私へ申下され候	○源七 ●山村良快	前欠、取計い御願ひ、猶願ひを上げる。		状	1	
1246	1145	Ⅳ 3	(明治)3月28日	千葉山寄附金	○徳山林地名山下組 ●記載なし	金15銭 名波田平、他10名 計金1円15銭、人員11名。他に、3月24日付書状他あり。		綴り	1	
1247	790	Ⅳ 3	(明治)7月14日	楞嚴院廃寺一件書類	○11小区事務所◎ ●千葉山:岡村勘兵衛	楞嚴院廃寺に付き、書面を差出す、地代金については書き上げるには及ばない。反別の儀は旧反別、整反別共に記載し、下案下げ紙の通り認めてほしい。就いてはお届けも別紙下案の通り認め、双方3通とも千葉昭如方へご報知してほしい、とある。		状	1	
1248	1129	Ⅳ 3	(明治)9月8日	記	○人宗結◎(遠州島田万久) ●ちば智満寺	仕立代・糸代・洗張代等、計金2円77銭相済。		状	1	
1249	1230	Ⅳ 3	(明治)9月12日	貴山官林払下願の件につき	○千葉昭如 ●智満寺主:國江査一郎	願書につき、やりとり。		状	1	

通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
1250	99	Ⅳ 3	(明治)9月	(勸物集巡村日誌)	○(智満寺) ●記載なし	9月16日より12月2日頃まで巡村の記録。「惣紙48枚、為後證割印ヲナス」とある。		縦帳	1	
1251	1248	Ⅳ 3	(明治)12月13日	記	○人宗㊤(駿州島田万久) ●千満寺	金1円42銭、上金渡し。		状	1	
1252	803	Ⅳ 3	明治12月17日	隠居所取調宝蔵へ納分覚	○立会人:伊左衛門、与左衛門、安楽寺 ●記載なし	隠居所の調査及び宝物の納覚にて、仏像・法衣・カタビラ・衣類・扇子等々の覚書きと成っている。	虫喰い多し 10頁	横帳	1	
1253	1231	Ⅳ 3	明治12月24日	寺保存金計算調書につき	○志太郡落合村外4ヶ村戸長役場㊤ ●志太郡千葉山智満寺	寺保存金の計算調書について通達。	虫損甚大	状	1	
1254	1064	Ⅳ 3	(明治)	何寺復願	○静岡県 ●(智満寺)	寺復願ヒナ型。静岡県令宛の書式ヒナ型。本尊・由緒・堂宇・境内坪数・境外所有地・寄附金・檀信徒数・県庁までの距離を記載、明細帳。		縦帳	1	
1255	14	Ⅳ 3	(明治)	勸進簿	○千葉山智満寺 現住:順海 ●記載なし	大草邨・伊久美村二俣組・野田村・伊久美村中平組の寄進者の名前と金額を列記。		縦帳	4	
1256	126	Ⅳ 3	(明治)	記	○(智満寺) ●記載なし	寄附金の記録簿。	3頁	横帳	1	
1257	1019	Ⅳ 3	(明治)	志太郡北方村安楽寺につき	○記載なし ●記載なし	安楽寺の元寺録除地3石3合 5分通米6斗7升6合4勺、境内地積、附田畑地積、山林地積などを記す。この他、安楽寺中常楽坊の付田畑の書類あり。		状	2	
1258	1020	Ⅳ 3	(明治)	廃寺跡報告	○第6大区11小区千葉山相賀村 ●記載なし	楞嚴院、白泉寺廃寺跡の報告。地番・反別・地積等を記載。		状	1	
1259	225	Ⅳ 3	(明治)	(寄進記)	○(智満寺) ●記載なし	はじめに、縄5房 増本林蔵とあり、以下、縄・金銀の奉納者名を記す、明治期の屋根修復に関する資料か、48名の記載。		横半帳	1	
1260	725	Ⅳ 3	(明治)	賦課金御猶豫願	○駿河国諸寺院惣代駿河国花沢村法華寺 住職 試補:山村良快、他に東覚寺、智満寺の住職名 ●記載なし	静岡安倍町慈恵大師堂につき、これを以て本堂とし一寺建立。7ヶ年間賦課金の猶予を願う。		縦帳	1	
1261	1041	Ⅳ 3	(明治)	知命説	○記載なし ●記載なし	もと綴りの書力、はじめに王充論衡云々から説く、部分のみ。他2通あり。		状	3	
1262	952	Ⅳ 3	(明治)	寺合併辞令ニ付御届書	○智満寺住職:千葉昭如 ●記載なし	千葉山元楞嚴院合併願につき聞届け。堂宇・建物・仏像・什器等智満寺へ。	下書き	状	1	
1263	812	Ⅳ 3	(明治)	新寺建立願	○静岡県下駿河国安倍郡静岡安倍町19番地元 三大師堂 ●(静岡県)	末尾に連署をもって願い奉る、とあるが、人名・年月等なし。	下書き	縦帳	1	

通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
1264	599	Ⅳ 3	(明治)	天台宗大教院通達	○天台宗大教院 ●智満寺	宗第4・5号の達の写し。特に教会分社の取説願のヒナ型等をのせる。		状	2	
1265	102	Ⅳ 3	(明治)	名勝旧蹟調	○千葉山智満寺 ●記載なし	「天台宗務院」の用紙に記載。寺の沿革・境内状況等を記す。 「保存法見込」の中に、明治20年内務省下賜金の記述あり。	2頁	縦帳	1	
1266	153	Ⅳ 3	(明治)	本堂屋根普請につき	○(智満寺) ●記載なし	本堂屋根普請に伴う、諸物品奉納連名20名。茅・金銭・縄等の物品を記す。		状	1	
1267	79	Ⅳ 3	(明治)	落合村志	○(智満寺) ●記載なし	落合村よりの寄附。金額・人名50人、計金64銭5厘。	3頁	横帳	1	
1268	82	Ⅳ 3	(明治)	建築物調	○天台宗金光峯寺千葉山清浄刹院智満寺 ●記載なし	智満寺本堂の建築調。はじめに総記、後半に平面図原形(100分の1)を記す。	5頁	縦帳	1	
1269	83	Ⅳ 3	(明治)	(経ニ云信ハ道ノ源功德ノ母)	○(智満寺) ●記載なし	説教所。	3頁	縦帳	1	
1270	155	Ⅳ 3	(明治)	(資料配布の覚)	○(智満寺) ●静岡市尾崎かね、他	尾崎かねの他、静岡市内の各町13名の名を記し、その下に「一冊」などとある。		横帳	1	
1271	130	Ⅳ 3	(明治)	伐木願書	○智満寺 ●記載なし	千葉山堂山立木伐取り、諸堂修繕につき願い。後欠のため、全容不明。		状	1	
1272	9	Ⅳ 3	(明治)	智満寺檀家戸主氏名及家族人員調	○智満寺 ●記載なし	戸主 桜井利平 家族5人、以下、50戸を列記する。		縦帳	1	
1273	7	Ⅳ 3	(明治)	教導職諸君ニ呈スル文	○記載なし ●記載なし	明治政府より教導職となった者に呈する文。本田亀河、香月迁生等の人名あり。		横帳	1	
1274	1255	Ⅳ 3	(明治)	檀信徒戒名	○(智満寺) ●(檀信徒某家)	安永9年4月17日歿の秋月財徳法橋(戒名)以下、明治8年3月22日志説恵光信女まで、全8物故者の戒名を記す。		状	1	
1275	1258	Ⅳ 3	(明治)	寄付簿	○(智満寺世話人) ●(智満寺)	金25銭5厘。村、尾川・犬間・野田・伊久美・山中・瀧沢・長島村の26名を列記。		状	1	
1276	1265	Ⅳ 3	(明治)	金一円寄納	○島田町の内稲荷島中 ●(智満寺)	包紙の内に、寄納金7月26日受取の記、落合 金1円横山弥吉、1円 塚本尽八の名。		状	1	
1277	1268	Ⅳ 3	(明治)	当山由来につき	○(智満寺) ●記載なし	寛永4年丁卯正月当山由来根元記につき記す。	後欠文書	状	1	

通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
1278	1270	Ⅳ 3	(明治)	德音の件につき	○(智満寺) ●記載なし	上京面談できず、面談まとめの趣にてよろしく。清水老師への書状につきやりとり。	下書き	状	1	
1279	1272	Ⅳ 3	(明治)	各村信徒	○(智満寺) ●記載なし	野田村・大草村・尾川村・落合村の信徒名。		状	1	
1280	1273	Ⅳ 3	(明治)	大津村より島田町巡り	○(智満寺) ●記載なし	大津・島田・相賀・瀧沢・長島への大札配布の状況。		状	1	
1281	1353	Ⅳ 3	(明治)	某縣国郡村寺財産区別豫約書	○記載なし ●記載なし	寺の財産や資本金及び収入等の説明書の雛型。		状	1	
1282	1147	Ⅳ 3	(明治)	家康朱印状写等寺歴	○(智満寺) ●記載なし	檀家52戸、將軍家朱印状写・資格・維持法等を記す。		状	2	
1283	1178	Ⅳ 3	(明治)	(人工帳か)	○(智満寺) ●記載なし	はじめに、「北谷 岡村喜一郎」とあり、以下の氏名47人に、○印を記す。		横帳	1	
1284	1130	Ⅳ 3	(明治)	大棟之分細記	○記載なし ●(智満寺)	屋根瓦の見積り。他に、御向拝分記、上大便所の分細記、東則軒分記の記載あり。		状	2	
1285	1138	Ⅳ 3	(明治)	(建物見取図力)	○島田:村松九郎治 ●千葉山	見取図廻りに「財病離義却害吉」とある、京間1間7尺5寸などの記述。		状	1	
1286	1143	Ⅳ 3	(明治)	貴山絵図面送付につき	○千葉昭如 ●智満寺	貴山絵図面20枚程、至急送付を願う。妙法院へ金3円、伝法院へ金1円の寄附を通知。		状	1	
1287	1235	Ⅳ 3	(明治)	枯損木御払下願	○記載なし ●駿河国志太郡大津村千葉山御料林内	杉枯損木36本、樅枯損木2本、代金計49円49銭6厘、智満寺修繕用材。		状	1	
1288	1108	Ⅳ 3	(明治)	天台宗惣持院予約書	○智満寺住職:山村良快、檀家惣代:桜井利平、同:倉橋久右衛門 ●記載なし	本寺今財産不動物なし、単に檀徒の補助により、供養営繕費に充てる。	下書き	横帳	1	
1289	1249	Ⅳ 3	(明治)	記	○記載なし ●(智満寺)	金1円 沢口孫平、以下20名、滝沢上組小前15名、合計5円80銭とある。		状	1	
1290	1354	Ⅳ 3	(明治)	(智満寺住職)	○記載なし ●記載なし	智満寺住職開基廣智菩薩より、52世順海まで記されている。第34世に天海大僧正とある。		状	1	
1291	429	Ⅳ 3	大正3年7月14日 (1914年)	惣持院祠堂金利子取立帳	○惣持院会計部 ●記載なし	大正2年7月より同3年6月迄の1ヶ年、利息計13円58銭、未納多し。惣持院がその祠堂金を地区住民に貸付けた、その利息金未納者を書上げる。	3頁	横帳	1	

通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
1292	452	Ⅳ 3	大正4年7月18日 (1915年)・卯	惣持院祠堂金利子取立帳	○惣持院会計部 ●記載なし	惣持院が祠堂金を地区住民に貸付けた、その利息金の取立帳。	3頁	横帳	1	
1293	442	Ⅳ 3	大正5年7月21日 (1916年)	惣持院祠堂金利子取立帳	○惣持院会計部 ●記載なし	惣持院の祠堂金を借りた、9名の者の利子取立についての記録、合計金額12円74銭5厘とある。	3頁	横帳	1	
1294	349	Ⅳ 3	大正6年1月 (1917年)	大正6年度支払帳	○智満寺 ●記載なし	・大正6年に支払った各種代金を、1月3日から12月31日まで記録した支払帳。当時の生活様式の一端が伺える。・大正3年から同6年迄の収入の実態がわかる収入帳。月毎、年毎の収入金がかかる。支払帳、収入帳を同一に綴じる。		縦帳	1	
1295	428	Ⅳ 3	大正6年7月23日 (1917年)	惣持院畑散田金取立帳	○惣持院会計部 ●記載なし	惣持院の田畑借地料の記録。8名に貸し、その地代金合計1円91銭5厘とある。	3頁	横帳	1	
1296	430	Ⅳ 3	大正6年7月23日 (1917年)	惣持院祠堂金利子取立帳	○惣持院会計部(表紙) ●記載なし	大正3年以降の利子未納分、金1円29銭を納入して計13円28銭5厘。	3頁	横帳	1	
1297	435	Ⅳ 3	大正7年7月25日 (1918年)・午	惣持院祠堂金利子取立帳	○惣持院会計部 ●記載なし	大正6年7月より同7年6月までの1年間の利息、9名。	3頁	横帳	1	
1298	451	Ⅳ 3	大正13年 (1924年)	惣持院祠堂金利息取立帳 惣持院会計部	○惣持院会計部(表紙) ●記載なし	惣持院が祠堂金を地区住民に貸付けた、その利息金の取立帳。	3頁	横帳	1	
1299	1059	Ⅳ 3	大正15年5月10日 (1926年)・寅	証明書	○住職:望月慈円、岡村長太郎 ●大津村々長:曾根忠治代理 増本金作	智満寺住職が助役増本金作氏に届け出た、住職就任の証明書。		状	2	
1300	1052	Ⅳ 3	大正15年5月12日 (1926年)	証明書	○住職:望月慈円 ●大津村々長代理:増本金作	智満寺住職の証明書。住職望月慈円氏が大津村助役増本金作氏に届け出た書類。		状	1	
1301	588	Ⅳ 3	昭和2年4月 (1927年)	副住職任命申請書	○申請人:権僧正:望月慈円、他5名 ●庶務部長 権僧正:関口慈真	智満寺住職望月慈円病気の為、補佐人が必要となり、北川慈映を副住職に任命して欲しいとの申請書。北川慈映の智満寺副住職への推薦承諾書が綴られている。		綴り	1	DVD4
1302	406	Ⅳ 3	昭和2年9月29日 (1927年)	寺院所有物明細帳	○第8教区 智満寺 ●天台座主 大僧正:梅谷孝永	本尊以下、諸仏・画・什物・建物・土地等につき列記、境内建物略図を付す。		縦帳		
1303	598	Ⅳ 3	昭和8年3月26日 (1933年)	昭和8年3月26日 開帳供養料 志納簿 同年同月30日	○記載なし ●記載なし	御開帳の供養料を出した人の名前が記されている。静岡市・藤枝市・島田市・大長地区・伊久美地区・川根町・本川根町など、幅広い地区からの名前がある。	日毎に綴り、5日分、約100枚	横帳	1	
1304	444	Ⅳ 3	昭和8年3月26日 (1933年)	開帳供養(養)料志納者芳 名簿 3月24日ヨリ30日迄	○記載なし ●記載なし	本堂秘仏開帳供養料の奉納者の氏名と金額が記されている。	6頁	横帳	1	

通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
1305	702	Ⅳ 3	昭和8年3月28日 (1933年)	昭和8年3月28日 寺院到着帳	○記載なし ●記載なし	天徳寺・龍雲寺・智徳寺等、近辺7寺からの御年玉紙一献燭料及び御開扉献燭料が記されている。・御年玉紙一献燭料20銭大草天徳寺 ・御開扉献燭料一金1円也 天徳寺 ・御年玉紙一献燭料20銭 野田龍雲寺など。	3頁	横 帳	1	
1306	699	Ⅳ 3	昭和8年3月 (1933年)	昭和8年3月 開帳募縁帳簿並 袋配布覚 第1号	○智満寺 執事 ●記載なし	御開帳に係る募縁する為の帳簿及び袋の配布覚にて、各村毎の該当者氏名と配布品の数値が列記されている。	14頁	横 帳	1	
1307	1005	Ⅳ 3	昭和8年6月12日 (1933年)	明細帳登録を願い置く	○智満寺住職:北川慈映㊤ ●第8教区長:山田全顯㊤	地方官庁公認を得るべく出願の為の申下付願と同時提出、却下。云々。		状	1	
1308	394	Ⅳ 3	昭和15年 (1940年)	寺院台帳	○智満寺 ●記載なし	はじめに住職・総代・世話人等の職員一覧、以下、資産・昭和15年度収支・人件費・修繕費等を記す。		堅 帳	1	
1309	512	Ⅳ 3	昭和16年7月1日 (1941年)	総代名簿	○第11教区 静岡県志太郡大津村千葉 智満寺 ●記載なし	総代の期間・住所・職業・氏名・生年月日・備考の一覧表に、12名の者が記載されている。続いて、「法類総代選定届」が、4枚綴られている。	7頁	綴 り	1	
1310	405	Ⅳ 3	昭和16年11月24日 (1941年)	総代名簿	○第11教区 惣持院 ●記載なし	はじめに、昭和16年11月の岡本仁平、以下、昭和22年11月までの総代を列記。		堅 帳	1	
1311	400	Ⅳ 3	昭和18年1月 (1943年)	本堂屋根後側葺替控	○智満寺 ●記載なし	はじめに葺替に従事した人達の名前・日程、計477人、金209円88銭、一人44銭とあり、後半に諸費一覧を記す。		堅 帳	1	
1312	1298	Ⅳ 3	昭和21年4月17日 (1946年)	寺院所得□□□認定通知	○宗務総長 僧正:三崎良泉㊤ ●大津村 智満寺	寺院所得の認定通知。1,900円82銭減少したことを認めると記す。		状	1	
1313	438	Ⅳ 3	昭和21年8月27日 (1946年)	(連合国占領軍関係書類)	○静岡県教育民生部長 ●志太郡大津村:北川慈映	天台宗延暦寺派全般に出された通知書。占領目的に有害な行為に対する処罰等に関する件の徹底。		堅 帳	1	
1314	401	Ⅳ 3	昭和21年12月 (1946年)	資堂金明細帳	○智満寺世話人 ●記載なし	はじめに、元資金高464円50銭、消減金264円50銭、現在資金200円。		堅 帳	1	
1315	971	Ⅳ 3	昭和22年6月13日 (1947年)	承認書	○天台宗管長 大僧正:渋谷慈鑑㊤ ●静岡県志太郡大津村 天台宗智満寺	昭和22年5月12日付の、智満寺山林立木伐採の承認。		状	1	
1316	1284	Ⅳ 3	昭和22年11月30日 (1947年)	檀徒総代改選届	○智満寺住職:北川慈映、同総代:岡村永治、他3名 ●総務部長 僧正:濱名徳潤	任期満了に伴う、智満寺檀徒総代の改選の届け、岡村永治他3名再選。		状	1	
1317	470	Ⅳ 3	昭和23年9月18日 (1948年)	山林立木伐採承認願及承認書 智満寺寺有林	○志太郡大津村 智満寺 ●天台座主 大僧正:中山玄秀	智満寺寺有林の立木600本を金36,060円にて売却したい旨を、天台座主大僧正中山玄秀に出した願書と、相手からの承認書。他に、各種願書及び伐採売却届、伐採跡地繁殖方法等、別年代届有り。		綴 り	1	

通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
1318	1017	Ⅳ 3	昭和23年 (1948年)	譲与申請書 社寺有林取得 届	○智満寺:北川慈映 ●大蔵大臣	①昭和23年に智満寺の阿修羅坊堂の一部を、国に譲与した際の申請書。実測数量・見込価格・摘要に付いて文字が滲んで不詳。 ②社寺有林取得は大正15年のもの、5ヶ所 計2町8反9畝11歩の山林取得を県知事に届けたもの。	譲与申請書5枚の内、4枚は無記入。	状	5	
1319	1350	Ⅳ 3	昭和24年4月1日 (1949年)	昭和24年度収入	○記載なし ●記載なし	昭和24年度収入 自24年4月1日至25年3月30日 ・1金 信施 仏事冥加料・賽銭・祈祷料 ・1金 29,862円80銭 基本金利子 等記されている。		状	1	
1320	507	Ⅳ 3	昭和24年12月 (1949年)	昭和24年12月 御拝庫裡水鉢 修理控 かや刈人工	○記載なし ●記載なし	略 庫裡水鉢修理に要した延べ人数(名前を記す)を記録したもの。		綴り	1	
1321	990	Ⅳ 3	昭和25年8月7日 (1950年)	昭和25年度 事業収況報告 書	○天台宗惣持院 主管者:北川慈映@ ●記載なし	志太郡大津村千葉161番地 天台宗惣持院に係る昭和25年度事業収況報告書にて、総収入金額1,474円、総支出金額1,450円、差引金額24円(次年度繰越金額)。		綴り	1	
1322	1236	Ⅳ 3	(昭和)	寺院資産台帳異動訂正願 提出について	○天台宗本庁 財務部 ●(智満寺)	願提出について案内。		状	1	
1323	996	Ⅳ 3	(昭和)	領収証	○島田登記所内 司法書士:川村怜三郎@ ●智満寺	金400円、番地変更・主管者住所変更登記の手数料、抄本手数料。		状	1	
1324	1179	Ⅳ 3	4月2日	(智満寺所蔵古書の返還の 件)	○大津村役場 ●智満寺住職:海老原吟満	静岡県に貸し出していた智満寺所蔵の古書を返却、来る23日迄に大津村役場に来て持ち帰って欲しい、とある。(包紙有り)		状	1	DVD4
1325	1212	Ⅳ 3	9月12日	(中堂再営に付き寄附依 頼)	○東叡山惣代 現龍院住職 権訓導:稲葉鈴貫@、 他1名 ●智満寺:昭如	契山中堂の再建に付き寄附依頼、これに早速承引喜捨いただき深謝、の状。		横帳	1	
1326	590	Ⅳ 3	9月17日	観音堂天蓋寄附人名帳 宮 小路区 千葉山智満寺	○千葉山智満寺(表紙) ●記載なし	智満寺観音堂の天蓋を修理する為の寄附人名帳。世話人8名、寄附人数64人、計1円50銭が集まり、後に1名10銭が追加されている。	6頁	縦帳	1	
1327	1127	Ⅳ 3	9月19日	(寄附金五円以上、千葉山 略縁記送付)	○昭如和南 ●順海大上人	過日の暴風雨で各地共に損害甚大、大井・天竜の両河川も堤防が破損、損害があったことを新聞が報じている。本月15日付で通運物が一昨日着いた。保存勸財帳へ記載の上、寄附5円以上を頼み、千葉山略縁記5・6冊お送ってほしい、(以下、略)とある。		状	1	
1328	1347	Ⅳ 3	10月25日	覚	○早川屋左右衛門@ ●智満寺	早川氏が智満寺より、12品を預かった状。早川氏の役職の記載なし、右の通り確かに預った。(刀剣預り)		状	1	
1329	1293	Ⅳ 3	11月3日	(支払の願)	○智満寺 ●長尾宇吉	・一金15銭 安互寺大師講金 ・一金6銭 10月25日安互寺会議食料 ・一金86銭 鑄掛や拂 内訳釜2つ、小花瓶10本等。		状	1	
1330	758	Ⅳ 3	記載なし	緒言	○志太郡大津村 金光峯千葉山智満寺 世話人 ●記載なし	千葉山智満寺本堂の陣天蓋大破、修繕の為の寄附願いにて寄附者及び金額が列記されている。		綴り	2	

通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
1331	941	Ⅳ 3	記載なし	宝物目録	○記載なし ●記載なし	智満寺宝物品名と認めてあり、源頼朝公御公書・豊臣秀吉御朱印・家康公竹木禁伐御制札等、他20点が記されている。	3頁	綴り	1	DVD4
1332	959	Ⅳ 3	記載なし	(信者一覧)	○(智満寺) ●記載なし	智満寺信者一覧と推測できる文書。榛原郡下の名簿で、金谷町・吉田町・相良・御前崎方面の信者が多い、北部では家山まで記入されている。家山は6名記載あり。	7頁	横帳	1	
1333	981	Ⅳ 3	記載なし	奉納記	○記載なし ●記載なし	仲谷 金13円から、合計年間65人、北谷 金10円22人、西谷 金7円南向源三郎等。	2頁	横帳	1	
1334	982	Ⅳ 3	記載なし	(志太地区智満寺檀家の覚)	○記載なし ●記載なし	志太地区29ヶ町村の村名・帳・手・袋・食券の数を書上げている。(法事の際の書上げか)	4頁	横半帳	1	
1335	681	Ⅳ 3	記載なし	千葉女大黒天寄附帳	○世話人:神谷改次 ●記載なし	千葉山の女大黒天を保持する為の寄附帳。橋爪せいを始め、19名の寄付金額と氏名が記されている、女性の名が多い。	5頁	綴り	1	
1336	686	Ⅳ 3	記載なし	新寺建立願或ハ何寺復興願	○(駿河国安部郡静岡安部町19番地 元三大子堂) ●(静岡県)	静岡安部町に新しい寺院を建立したい、本尊は三大師・由緒・堂宇等を書き添えて届ける、とある。以下、関係文書。		綴り	1	
1337	680	Ⅳ 3	記載なし	千葉山千手観世音菩薩 磬子・木魚の蒲団寄附牒 右世話人	○総体世話人:帋岩専蔵、飯田大八 ●記載なし	25名の氏名及び寄附の金額・品名が記されている。 ・蒲団1つ 帋岩専蔵 ・金20銭 大津小路老母中 ・金3銭 杉本寅吉等。		綴り	1	
1338	673	Ⅳ 3	記載なし	湯屋権現堂建築人工帳	○記載なし ●記載なし	湯屋権現堂の建築にあたり、その日当支払いの覚。	7頁	横帳	1	
1339	389	Ⅳ 3	記載なし	寺方	○記載なし ●記載なし	かも居 長さ2間、幅1尺、厚さ4寸等、諸材料の寸法や本数等が記されている。	8頁	横帳	1	
1340	364	Ⅳ 3	記載なし	奉納金員扣帳	○記載なし ●記載なし	東海道近隣各宿村の人々から、寺への奉納金が氏名と共に列記されている。	虫喰い有り (10枚+12枚+32枚=54枚の3束、)	横帳	1	
1341	399	Ⅳ 3	記載なし	念仏扣簿	○智満寺 ●記載なし	はじめに、3月26日渡し分として、金5円10銭島田町3人、高洲村高柳6人組への支払い。以下、29日迄の分を記す。		横帳	1	
1342	526	Ⅳ 3	記載なし	観音堂天蓋寄附人名帳 千葉山智満寺	○志太郡大津村智満寺 世話人:清水正蔵、他7人 ●預り人 日出町下区:丸正	千葉山智満寺本堂内陣天蓋の大破により、これを修復する為有志からの寄付金帳にて、金1銭ずつ23人分 計23銭、惣計金2円38銭。	5頁	綴り	1	
1343	1109	Ⅳ 3	記載なし	官有地社寺境内使用及収益規定	○大津村役場 ●記載なし	大津村役場において、村内社寺境内を使用する際の、使用許可及び収益についての規定書。	2頁	綴り	1	
1344	1116	Ⅳ 3	記載なし	五ヶ所御各地	○島田町:五條甚左衛門 ●記載なし	五條甚左衛門が西国33ヶ寺の内、5ヶ所の寺院に願掛けをした際の記事か。(京都観音寺・六波羅蜜寺・行願寺・丹波国菩提寺・丹後国成相寺)		状	1	

通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
1345	1118	Ⅳ 3	記載なし	総建坪44坪5合6勺	○智満寺住職:海老原順海㊤、檀家惣代:倉橋久右衛門㊤、岩本藤次郎㊤、中村作蔵㊤ ●記載なし	寺の見取図と智満寺住職・檀家惣代の名前が記されている。		綴り	1	
1346	1128	Ⅳ 3	記載なし	実測絵図(下書)	○記載なし ●記載なし	智満寺境内の絵図。広さ1町2反3畝29歩、別紙書面が戸長役場に有り。		状	1	
1347	1135	Ⅳ 3	記載なし	湯屋観音堂表面ノ図 九尺四方	○智満寺住職:海老原順海㊤、檀家惣代:岡本定吉㊤、岡本栄次郎㊤、増田作十㊤ ●記載なし	仏壇の図。総坪数3坪、間口1間3尺、奥行2間、6畳敷。		状	1	
1348	1281	Ⅳ 3	記載なし	御請書	○記載なし ●御料局静岡支社長 御料局理事:桑原茂三郎	御料局への請書の下書。 駿河国志太郡大津村千葉山字堂山御料林内・1、杉古横木 何本 ・1、樅古横木 何本 合計何本 右 何に用材として特買の上…。		状	1	
1349	1349	Ⅳ 3	記載なし	(智満寺由緒下書)	○記載なし ●記載なし	創立・由緒・資格・維持法・檀家・信徒等の書き方説明が記されている。		状	1	
1350	1299	Ⅳ 3	記載なし	(寺建物建立ねん二付)	○記載なし ●記載なし	・開山神護景雲1,263年・当山建立宝亀2年1,259年・現今の本堂建立天正17年・薬師堂建立天正16年 等記されている。		状	1	DVD4
1351	1024	Ⅳ 3	記載なし	寺社絵地図	○記載なし ●記載なし	本堂、ほか、千葉山の絵地図、薬師堂や庫裏まで描かれている。		絵図	1	
1352	1357	Ⅳ 3	記載なし	委任之證	○静岡市人宿町2丁目9番地:和田金次郎 ●記載なし	委任状の下書が朱筆にて記されている、作成者は和田金次郎か。「委任致候間、将来ふつごう無き様、種々宜敷御尽力これありたく、同寺総代並世話人一同調印…」とある。当山本堂修繕につき、云々。		状	1	
1353	1056	Ⅳ 3	記載なし	印符	○駿州千葉山48世法印 権大僧都大阿闍梨:亮湛 ●記載なし	印による御守り札。		状	1	
1354	1079	Ⅳ 3	記載なし	古書類預覚	○記載なし ●記載なし	智満寺古門書12件の預覚。この内4冊が上地に関するものと思われる。(安政元年～天明5年)		状	1	
1355	1010	Ⅳ 3	記載なし	(智満寺の由縁について)	○記載なし ●記載なし	智満寺の由縁が記されている。聖武帝の護持佛なる千手観音ノ詣に宝亀2年に至り始めて本堂を建立…源頼朝は7堂伽藍を建立し…天正17年、徳川家康公は本堂を改造し…等とある。		綴り	1	DVD4

1356	1390	Ⅳ 4	明治11年1月 (1878年)	公私記録簿四	○静岡県下駿河区志太郡千葉山 淨利院智満寺住職:千葉昭如、12番地 岡村勘兵衛、42番地 南向長吉 ●記載なし	明治11年1月より同年12月までの公私に亘る記録のつづり、はじめに、地藏堂合附願い、以下。	虫損甚大 13頁	縦帳	1	
1357	318	Ⅳ 4	明治21年 (1888年)	明治21年略本暦	○神宮司庁 ●海老原氏	明治21年の伊勢神宮暦。		縦帳	1	

通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
1358	793	Ⅳ 4	明治23年6月4日 (1890年)	(古書類返戻しに付)	○大津村々長:長谷川惣四郎 ●千葉智満寺 壇中惣代	昨年中、編年史材料として本部役所を経て県庁へ出した書類を返却に付き、壇中惣代を当役所へ出頭する様に願いたい。追伸、本職が預った書類等も併せて返却する、とある。		状	1	
1359	1218	Ⅳ 4	(明治)8月2日	記	○すやま屋 ●智満寺	暁録新報、先月より代金下落により、金20銭請取。		状	1	
1360	402	Ⅳ 4	(昭和)	蔵書控宝蔵之部	○智満寺 ●記載なし	智満寺の蔵書一覧。		竖帳	1	DVD4
1361	1080	Ⅳ 4	12月25日	記(新聞代請取に付)	○帛岩専蔵㊦ ●智満寺	一金40円也、右毎日新聞代、11月、12月の両月分を請取った、とあり。		状	1	
1362	706	Ⅳ 4	記載なし	論語2冊	○記載なし ●記載なし	論語卷之6、論語卷之8の2冊。		冊子	2	
1363	1034	Ⅳ 4	記載なし	筆者	○記載なし ●記載なし	「役者唯音山作徳認」の筆者、阿願院権少僧都憲宥、天正17年2月4日同□年霜月17日入仏オワヌヌ」とある。		状	1	

1364	876	Ⅳ 5	記載なし	御料林払下願(雛書文)	○記載なし ●記載なし	千葉山堂山に於ける御料林立木の払下願の下書き。他に1通を綴る。	分類Ⅱ-5に相当する	綴り	1	
------	-----	--------	------	-------------	----------------	---------------------------------	------------	----	---	--

1365	1301	Ⅳ 6	明治15年9日 (1882年)	(美術品展覧の為の御達)	○部長:近藤準平 ●記載なし	仏国美術館より来た、同国神社仏閣等の美術品を差支え無く展示出来る様、郡内神社・各寺に達して頂くように取計ってほしい、とある。		状	1	
1366	963	Ⅳ 6	明治27年9月22日 (1894年)	受領証 一刀剣銘宗次	○荻原真三郎 ●智満寺世話人:岡村喜一郎、岡本豊吉	一刀剣銘宗次の刀を、千葉昭如より桜居太三郎へ渡す様、智満寺の宝庫へ預け置いた。この件に付いては種々の事情もあって、今回は双方へ照会の上、私が受取る事になった、貴殿方へ迷惑を掛ける事は一切ない、とある。		状	1	
1367	1237	Ⅳ 6	昭和24年 (1949年)	愛玩鶏展覧会開催の趣旨	○名古屋市東山動物園愛知鶏友クラブ ●(智満寺)	11月22・23日開催案内。規約書1通あり。		状	2	
1368	1300	Ⅳ 6	記載なし	愛玩鶏展覧会	○名古屋市東山動物園愛知鶏友クラブ ●記載なし	鶏の展覧会へ出品の依頼。		葉書	1	

1369	1196	Ⅴ 2	明治13年2月 (1880年)	寄留品	○名古屋区上浅間町63番 平民:平賀源七 ●名古屋区上浅間町 戸長:藤田吉右衛門	長男栄次、寄留いたせたく御届け申上げる、とある。 奥書きあり、一部破損。		状	1	
------	------	--------	--------------------	-----	---	--------------------------------------	--	---	---	--

通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
1370	1226	V 3	(明治)6年10月 (1873年)	智満寺月別支払簿	○(智満寺) ●記載なし	6年10月3日、1人、杉皮・わさびうえ、以下、日毎の人工・仕事内容を記す。9月分・10月分の内容も記載。		横帳	1	
1371	1097	V 3	明治10年4月 (1877年)	差上申一札之事	○三好八蔵㊟、親類:南向長吉㊟、三好清作㊟ ●智満寺:園江盛一郎	三好八蔵の五男伊太郎が、藤枝の斉藤均の養子になるとの人別送り状と、その為に金子など借用しないとの誓約書。		状	1	
1372	788	V 3	明治33年旧正月18日 (1900年)	明治33年旧正月18日 智満寺 諸費支払帳	○智満寺支払部 ●記載なし	測量金・竹の子及び竹代金・戸板代・米売代金等の収入や支出が書かれている。	34頁	横帳	1	
1373	105	V 3	(明治)	(諸支払簿)	○(智満寺) ●記載なし	1月から12月迄の、日毎の支払金銭と相手・物品名を記す。	30頁	縦帳	1	
1374	352	V 3	大正7年1月 (1918年)	入金帳	○智満寺 ●記載なし	はじめに、大正7年1月より12月、次に同8年1月より12月、次に望月家収入帳1月より12月、終りに大正8年1月より12月の収入を記す。		縦帳	1	
1375	353	V 3	大正8年 (1919年)	支払帳	○千葉山執事 ●記載なし	大正8年1月より12月迄の諸支払い、末尾に総計金2,181円79銭6厘とある。		縦帳	1	
1376	365	V 3	大正10年1月 (1921年)	支出帳	○千葉山智満寺 ●記載なし	智満寺に関する支出帳にて、雑貨・食品・娯楽品等、色々な物が記されている。		縦帳	1	
1377	354	V 3	(大正)12年2月 (1923年)	(支払簿)	○智満寺 ●記載なし	表紙欠損。中に挟まれた紙に大正12年とあり、末尾はインクにて昭和7年1月の記録。		縦帳	1	
1378	1225	V 3	(昭和)6年10月 (1931年)	智満寺月毎支払簿	○(智満寺) ●記載なし	6月10日より12月まで、人工49人1分、計金29円46銭。以下、7年1月より5月迄の記録、末尾に昭和6年12月から4月末迄の記録。鉛筆で書れている。		横帳	1	
1379	1228	V 3	(昭和)7年5月 (1932年)	7年5月マデ勘定	○(智満寺) ●記載なし	人工代、総計金83円42銭。以下、7年8月から12月、8年3月から5月までの支出の記録。		横帳	1	
1380	1227	V 3	(昭和)2月20日	記	○(智満寺) ●記載なし	はじめに、2月20日 金10円。以下、日毎の人工賃を記す、末尾に昭和6年1月分以下の内容。		横帳	1	

1381	1197	V 4	明治11年4月8日 (1878年)	誓約書	○萩原真三郎 ●記載なし	今後は、尚一層身を慎み、業務に勉励することを誓う。		状	1	
1382	427	V 4	(明治)21年2月12日 (1888年)	智満寺内日誌	○記載なし ●記載なし	郵便や・太陽暦など、時代の急転に戸惑う様子が窺える。	36頁	横帳	1	

分類: V-4 その他-日記・書簡

No.107

通し番号	文書番号	分類	年号 年 月 日 西暦()・干支	標 題	○差出人(住所・役名・名前) ●受取人(住所・役名・名前)	摘 要	備 考	形態	数量	DVD 番 号
1383	731	V 4	(明治)10月29日	長屋並地面につき	○野崎彦左衛門 ●(智満寺)	後欠、長屋並地面につきやりとり。		状	1	
1384	390	V 4	大正3年 (1914年)	日誌	○智満寺 執事 ●記載なし	大正3年の1月元旦から6月11日までの日記。寺に手伝いに来る人があったり、草取りをしたり、日常が書かれている。	41頁	縦帳	1	
1385	1167	V 4	記載なし	全国展開催	○伊藤栄 ●北川	御雪旨の銘鶏と出品を願う。		状	1	
1386	1211	V 4	記載なし	仕事の覚	○記載なし ●記載なし	22年旧正月14日仕事扣。せんたく、たび5足等。		状	1	

分類: V-6 その他-雑

1387	1356	V 6	(明治)7年8月5日 (1874年)・甲戌	(記)	○高橋 ●智満寺	上野東叡山塔頭からの書か。虫食い甚大、封筒に甲戌とあり。		状	1	
1388	1365	V 6	記載なし	断簡	○記載なし ●記載なし	元横帳だったものが、紐がとれてバラバラになっている。内容は、何かの金銭受取りのものか、講に関係するものの様で金額と氏名が記されているが、中身に統一性がない。	16頁	横帳	1	
1389	1364	V 6	記載なし	断簡	○記載なし ●記載なし	空の封筒など。		封筒	一括	
1390	1352	V 6	記載なし	名簿	○記載なし ●記載なし	大津小路の秋野橋太郎始め、44名の名前が記されている。		状	1	
1391	1344	V 6	記載なし	願書	○記載なし ●記載なし	万治郎改名の義は六ヶ敷、何卒願い……とある、後欠。		状	1	